

令和7年度

優良PTA文部科学大臣表彰 優良事例集



総合教育政策局
地域学習推進課



文部科学省

MEXT

MINISTRY OF EDUCATION,
CULTURE, SPORTS,

SCIENCE AND TECHNOLOGY-JAPAN


※本事例集は、令和7年度の受賞団体のうち、
各都道府県教育委員会の推薦を得た団体の活動を
まとめたものです。

目次

【組織・運営の工夫】	ページ	【組織・運営の工夫】	ページ
北海道 中標津東小学校 P T A	5	長崎県 長崎南山学園 育友会	27
岩手県 好摩幼稚園 P T A	6	大分県 大分県立佐伯豊南高等学校 P T A	28
福島県 田島小学校父母と教師の会	7	宮崎県 穰の杜日南市立日南東郷小中学校 P T A	29
茨城県 茨城県立水戸南高等学校 P T A	8		
栃木県 栃木県立矢板東高等学校・同附属中学校 P T A	9	【地域協働・連携】	ページ
群馬県 みなかみ町立古馬牧小学校 P T A	10	青森県 弘前市立第一中学校父母と教師の会	31
千葉県 四街道市立中央小学校 P T A	11	青森県 青森県立名久井農業高等学校父母と教師の会	32
神奈川県 横浜市立齋藤分小学校 P T A	12	岩手県 宮古小学校父母と教師の会	33
富山県 富山県立大門高等学校 P T A	13	宮城県 仙台市立第一中学校師親会	34
福井県 福井県立福井特別支援学校 P T A	14	宮城県 宮城県東松島高等学校 P T A	35
山梨県 北杜市立高根東小学校 P T A	15	山形県 酒田市立西荒瀬小学校父母と教師の会	36
岐阜県 美濃市立美濃小学校 P T A	16	山形県 山形県立遊佐高等学校 P T A	37
静岡県 藤枝市立大洲中学校 P T A	17	栃木県 茂木町立逆川小学校 P T A	38
三重県 伊勢市立有緝小学校 P T A	18	群馬県 群馬県立あさひ特別支援学校 P T A	39
大阪府 大阪府教育センター附属高等学校 P T A (教センみんなの P T A)	19	埼玉県 三郷市立高州小学校 P T A	40
兵庫県 湊川短期大学附属北摂中央幼稚園保護者の会	20	東京都 八王子市立ひよどり山中学校 P T A	41
和歌山県 紀の川市立安楽川小学校育友会	21	新潟県 新潟市立新通つばさ小学校 P T A	42
島根県 大田市立第一中学校 P T A	22	石川県 白山市立河内小学校 P T A	43
広島県 広島県立安古市高等学校 P T A	23	石川県 石川県立穴水高等学校 P T A	44
広島県 東広島市立川上小学校 P T A	24	長野県 須坂市立須坂小学校・須坂支援学校 P T A	45
徳島県 徳島県立城南高等学校松柏会	25	京都府 乾隆保育会	46
愛媛県 松山市立東雲小学校 P T A	26	京都府 京都市立大宅中学校 P T A	47

目次

【地域協働・連携】	ページ	【学びに関する活動】	ページ
大阪府 大阪市立南小学校 P T A	48	山梨県 山梨県立ろう学校 P T A	67
兵庫県 神戸市立西郷小学校 P T A	49	愛知県 愛知県立岡崎商業高等学校 P T A	68
奈良県 葛城市立新庄北幼・小 P T A	50	三重県 三重県立桑名北高等学校 P T A	69
岡山県 真庭市立川東小学校 P T A	51	愛媛県 北吉井幼稚園 P T A	70
徳島県 石井町藍畑幼稚園 P T A	52	宮崎県 高鍋農業高等学校保護者と教職員の間	71
香川県 宇多津町立宇多津小学校 P T A	53		
福岡県 福岡県立柏陵高等学校 P T A	54	【生活指導活動】	
佐賀県 浜小学校 P T A	55	神奈川県 藤沢市立白浜養護学校 P T A	73
佐賀県 佐賀県立唐津工業高等学校 P T A	56	富山県 高岡市立高陵中学校 P T A	74
長崎県 長崎市立北陽小学校育友会	57	長野県 長野県松本美須ヶヶ丘高等学校 P T A	75
熊本県 熊本県立牛深高等学校育友会	58	岡山県 岡山市立芳田幼稚園 P T A	76
熊本県 宇土市立宇土東小学校 P T A	59	香川県 坂出第一高等学校 P T A	77
鹿児島県 日置市立湯田小学校 P T A	60	福岡県 北九州市立大里柳小学校 P T A	78
【学びに関する活動】	ページ	【その他】	ページ
北海道 北海道南幌養護学校保護者と職員の間	62	福島県 福島県立視覚支援学校・福島県立聴覚支援学校福島校 父母と教師の間	80
秋田県 由利小学校 P T A	63	福井県 坂井市立丸岡中学校 P T A	81
秋田県 大館カトリックこども園 父母の間	64	愛知県 名古屋市立南天白中学校 P T A	82
茨城県 取手市立藤代中学校 P T A	65	和歌山県 和歌山県立新翔高等学校育友会	83
新潟県 新潟県立三条東高等学校 P T A	66		



テーマカテゴリー

組織・運営の工夫

北海道

中標津町立中標津東小学校PTA



基礎情報

所在地

北海道標津郡中標津町

全校生徒数

423名

地域の特徴

中標津町は北海道の東部、根室管内の中部に位置している。道東の空の玄関口である中標津空港を有する広域的な拠点性をはじめ、酪農を中心とした第1次産業が盛んで、豊かな自然環境に恵まれた町である。

学校の特徴

「強く 正しく 逞しく」を校訓として掲げ、自ら学ぶ子どもを育てる授業づくりを実践している。また、学校運営協議会や地域学校協働本部との連携を図りながら、地域住民や関係機関を巻き込んだ地域総がかりの教育を行っている。

組織構成

中標津東小学校PTA会員 359人
(保護者会員 328人、教員会員 28人、
その他会員 3人)

【役員】

会長、副会長、会計監査、事務局長、
事務局次長、会計、書記

【理事】

学級理事、専門理事、教職員理事

【委員会】

運営委員会、専門委員会(情報委員会、
研修委員会、校外生活委員会、施設委員会)、
学年委員会

担当課：北海道教育庁
生涯学習推進局
社会教育課

合言葉は「みんなのために、少しずつ」

キーワード

教師・保護者の負担軽減 / デジタル技術活用 / 東っ子サポーター

取組概要

コロナ禍を契機に持続可能なPTA活動の在り方を模索して、積極的な組織改編や委員会活動の見直しに取り組んでいる。

取り組みの詳細

○デジタル技術の活用による活動方法の見直し

- ・ フォームによる意見集約、SNSを活用した打ち合わせやプラットフォームへの情報掲載等、デジタル技術の活用により、時間や場所にとらわれない柔軟なPTA活動を行っている。

○教師・保護者の負担軽減を図る組織の見直し

- ・ 専門委員会理事には会員の半数が就任することとしており、2年に1度担うようにすることで、家庭の負担軽減を図り、誰でもできるPTA活動を目指している。
- ・ コロナ禍を経て必要な活動の見直しを行い、一委員会一活動制を基本とするよう組織改編を行った。「みんなのために、少しずつ」を合言葉に、大規模PTAのスケールメリットを活かして相互の負担を少なくした。



中標津東小学校
プラットフォームHP

○地域で子どもたちの学びを支える「東っ子サポーター」

- ・ 学校運営協議会との協働で、保護者と地域住民が協力して学習サポートを行う「東っ子サポーター」制度を設け、子どもたちの幅広い学びをサポートしている。
- ・ 施設委員会を中心にグラウンドや花壇等の環境整備、スケートリンクの造成等を行い、教員の負担を軽減しながら、子どもたちの学びを支えている。



家庭科授業のサポート



花壇整備



スケートリンクの造成

成果

- ・ コロナ禍を契機に活動を見直し、参加しやすい仕組みを構築したことで、保護者一人一人の負担が軽減した。
- ・ 学校運営協議会との協働の取組により、学校、家庭、地域のつながりの強化が図られた。

課題や今後の取り組み

- ・ PTAに対する考え方も大きく変わりつつある中で、今後も工夫して負担の少ない、参加しやすいPTA活動を展開していく必要がある。

その他の取り組み紹介

- ・ 研修委員会による、子どもと保護者が一緒に学ぶ研修の実施（「プログラミング教室」、「クマ教室」など）
- ・ 校外生活委員会による、町内で催される祭事を中心とした巡視活動
- ・ 情報委員会による、プラットフォームへの時間割の掲載

支え合いとつながりを大切にしたPTA活動

キーワード

持続可能なPTA活動／一人一役／行事の焦点化／保護者の負担軽減

取組概要

毎年実施しているPTA交流会を通じて会員相互の親睦を深めるとともに、幼稚園行事と連携した「あきまつり」の開催により、持続可能なPTA活動の実現に積極的に取り組んでいる。

取り組みの詳細

【適切な組織づくりと行事の焦点化】

保護者のPTA加入率は100%であり、会員全員が役員となり一人一役の役割を受けもって活動している。PTA活動と幼稚園行事を共同開催した「あきまつり」を中心活動と位置付けている。会員相互の親睦を図るために年度初めに「PTA交流会」を開催している。会員のつながりが、原動力となってPTA活動を円滑に進めることに役立っている。

【あきまつりにおける効果的な運営】

会員の負担を減らすための工夫として「仕事の見える化」に取り組んだ。あきまつりの遊びコーナーの運営に役立てるために、取り組み方の説明書を作成した。また、試作品を実演したり過去の写真を提示したりした。具体物を提示したことにより見通しをもって活動することができた。

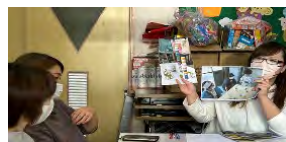
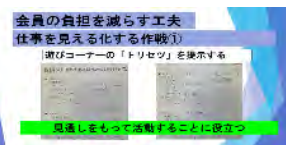
時代や環境の変化に伴う暮らし方の多様化を考慮した工夫として、SNSを活用して連絡を取り合った。仕事の進捗状況がわかり、タイムリーに連絡調整ができた。わざわざ集まらなくてもよくなった。また、気楽に発信・応答できることにも役立っている。



あきまつり



PTA交流会



実物・写真提示

成果

安心して気軽にPTA活動に参加できると感じている保護者が増えた。

取り組みにより達成感や充実感が得られ、次の活動への意欲の高まりにつながることができた。

課題や今後の取り組み

会員の減少に応じた組織運営を心がける。会員を適材適所に配置する。温かみのあるPTA活動を継承していく。あきまつりに関する取組資料を引継ぎ、次年度の財産にする。

その他の取り組み紹介

「PTAぐるぐる文庫」

会員や職員が推薦する図書を読み合う。親子で話題にした後、感想を書いて回覧する活動を行っている。

読書活動や子育ての充実に努めている。



所在地

岩手県盛岡市

全校生徒数

8名

地域の特徴

盛岡市北部に位置する好摩は、岩手山と姫神山を間近に望む自然豊かな地域である。美しい里山の風景が広がり、登山やハイキングを楽しめる。田畑が広がり、のどかな農村風景と調和した静かな住宅地として親しまれている。

学校の特徴

「げんきに なかよく 考える」を教育目標のもと、子どもと教職員の笑顔の中で生き生きと幼児教育を推進している。小規模幼稚園として子ども一人一人に寄り添った保育と特色ある園活動を推進している。

組織構成

◎会長 (年長 あきまつり委員会委員長)

○副会長 (年長 卒園を祝う会委員長)

○副会長 (年中 あきまつり委員会副委員長)

○副会長 (年少 あきまつり委員会副委員長)

○理事 (家庭教育学級主事、交通安全母親推進委員)

○理事 (園長)

○書記 ○監事 ○会計 (教職員)

○あきまつり委員会 (遊びコーナー企画運営)

○卒園を祝う会 (年長保護者全員)

担当課：岩手県教育委員会
生涯学習文化財課

福島県

田島小学校父母と教師の会

より活気あるPTAとするための運営の工夫

キーワード 体力に応じた組織／会員の負担軽減／コロナ禍あけの活動／学び・生活の充実／効果的な予算編成

取組概要

子供たちの健やかな成長を目標に、執行部のリーダーシップのもと、会員数の減少などの課題解決やPTAを活気あるコミュニティとするための運営上の工夫

取り組みの詳細

○ 体力に応じた組織改編

会員数減に伴い5専門委員会を、組織編成のとおり3委員会に改編した。企画審議委員会を、年度をまたぎ計4回開催し、全会員の声をもとに行なった結果、本会の体力に応じた組織となり、運営にあたって会員の負担軽減につながっている。

○ コロナ禍あけの活動再開

活気あるコミュニティに必要なコミュニケーションの充実のため、家族間の絆づくりの事業を実施した。また、コロナ禍で実施できなかった会員相互の絆づくりをねらいとした事業を再開するなど、執行部のリーダーシップのもと取り組んだ。

○ 子供たちの学び・生活の充実のために

子供たちの学びの充実のための意見要望をまとめるため、毎年「地区懇談会」として開催している。PTAの存在意義の一つである要望活動を町教育委員会等へ行い、スクールバス運行の拡充などの成果を得ている。

また、子供たちの夏季休業中の水泳の機会を確保するため町プールの利用料金を予算化したり、各地区の危険箇所を子供たちと確認し、その看板を作成、設置したりするなどし、子供たちの学びの充実や安全安心な生活環境づくりに向けた様々な取組を行っている。



<運動を通して絆づくり>
「家庭教育学級」

<コロナ禍で実施できなかった数十年の伝統をもつ保護者間の絆づくり>



<地区の意見要望を執行部自らが外向き聞き取る>
「地区懇談会」

<子供たちが考え、PTAの予算で作成>
「危険箇所看板」



成果

- ・組織改編にあたり審議過程を明確にし、かつ会員の声をもとに行なったこと、また各種事業のねらいを明確にして実施したことで、コロナ禍で消極的であった会の運営に関心をもつ保護者が多くなった。体力に応じた組織は会員の負担軽減につながった。
- ・児童数減などの状況の変化に伴う諸課題の解決に向け、PTAの積極的な活動が大切であることを確認できた。そしてその結果は子供たちの学び・生活の充実につながっている。

課題や今後の取り組み

- ・子供たちの学び・生活のため、今後も積極的に取り組めるPTAでありたい。そのためにも会員相互、横のつながりができる活動等を計画実施していきたい。
- ・学校とPTAが連携、協力する上で、「学校教育」の部分と「家庭教育」の部分の明確にし、進めていきたい。

その他の取り組み紹介

- ・家庭と連携協力し福島県教育委員会主催「ふくしまっ子ごはんコンテスト」等に積極的に参加し、学校賞や食育推進優秀校の栄誉を受けるなど、食育への意識が高い。
- ・親子等で参加する福島県教育委員会主催、ふくしま絆ふれあい支援事業「ふくしまを十七字で奏でよう」事業に多数応募、受賞している。

基礎情報

所在地

福島県南会津郡南会津町

全校生徒数

201名

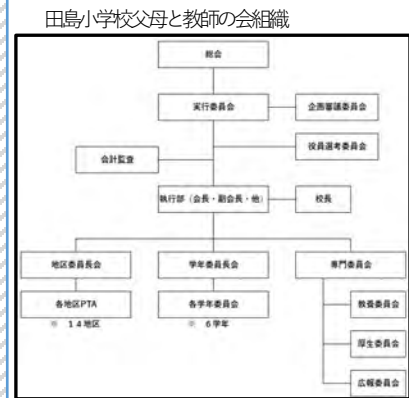
地域の特徴

福島県の南西部に位置し、東北地方の玄関口にあたる。駒止湿原をはじめとする自然豊かな環境に加え、「田島祇園祭」に代表される伝統文化が息づく地域である。他の地域同様、人口減・児童数減が大きな課題である。

学校の特徴

「かんばるぞうさん・まけないぞうさん・みつけるぞうさん」の3匹のぞうさんをキーワードに、児童・保護者・地域として教職員が同じ方向を向き、教育活動に取り組んでいる。また、「子供歌舞伎」など地域の伝統文化を取り入れるなど特色ある教育活動を行っている。

組織構成



担当課：

福島県教育庁社会教育課
(南会津町教育委員会)

ReBORN～多様性の時代のPTA活動～

キーワード

活動の見直し / 外部人材の活用 / 教師・保護者の負担軽減 / 文化祭参加

取組概要

「すべては子ども達のために」本当に必要な活動は何か、多くの保護者や教師が参加できる活動を考える。

取り組みの詳細

【外部人材の活用】

「コーヒーを楽しむ講座」開催。コーヒー専門店の協力を仰ぎ、バリスタを講師として派遣してもらう。



保護者・教員が参加。



【文化祭での出店】

「はぎれリース作り」のワークショップ、「縁日」の企画・運営



【PTA役員会・委員会での意見交換】

役員会・委員会毎にLINEでスムーズな連絡や情報共有を行っている。



成果

- ・外部人材の活用を積極的に行うことで、役員負担を軽減できる。また、会員の情報交換や交流の場となっている。
- ・文化祭では、役員が会員へ協力を呼びかけ、多くの会員が運営に関わっている。
- ・PTA役員会では、積極的な意見交換が行われている。

課題や今後の取り組み

- ・クラウドサービスやデジタルツールなどのICTを活用し、業務の効率化、ペーパーレス化を図る。
- ・会員間の繋がりを保てるようなPTA活動を考える。

その他の取り組み紹介

(1) 健全育成活動

- ・「さわやかマナーアップキャンペーン」における朝のあいさつ運動
- ・「家庭におけるスマホのルール」を学校と家庭で共有

(2) 研修活動

- ・PTA視察研修等の企画・運営及び実施
- ・スクールカウンセラー講演会

(3) 広報活動

- ・PTA会報誌『桜梅桃李』の発行

所在地

茨城県水戸市

全校生徒数

217名

地域の特徴

水戸市は、茨城県のほぼ中央に位置し、県庁所在地として発展を続ける都市である。徳川御三家・水戸藩の城下町として繁栄し、日本三名園の一つである偕楽園や弘道館等の歴史的資源、千波湖などの豊かな自然と都市の魅力を兼ね備えている。

学校の特徴

定時制（昼間・夜間）の課程と通信制の課程があり、どちらの課程も「単位制による教育」である。生徒は、必修科目を除いて、科目を自由選択することができ、特に第2学年以上の生徒は、自分の興味や関心に合わせた時間割を作成して授業を受ける。生徒一人ひとりのニーズやスタイルを尊重する学校である。

組織構成

【PTA役員】

- | | | | |
|----------|----|---------|----|
| (1) 会長 | 1名 | (2) 副会長 | 3名 |
| (3) 書記 | 4名 | (4) 会計 | 2名 |
| (5) 会計監査 | 4名 | | |

【専門委員会】

- | | |
|-------------|-----------|
| (1) 健全育成委員会 | (2) 研修委員会 |
| (3) 広報委員会 | |

「できる人が、できる時に、できることを」を合言葉にボランティア制度を導入

キーワード 教師・保護者の負担軽減 / 運営の工夫 / デジタル技術活用

取組概要

P T A 活動にボランティア制度を導入し、誰もが気軽に活動することができる協力体制を構築している。また、P T A の連絡ツールにビジネスチャットアプリを採用するなど、運営上の工夫・効率化を積極的に行っている。

取り組みの詳細

☆「できる人が、できる時に、できることを」を合言葉に P T A 活動にボランティア制度を導入。一年継続して活動するワンイヤー(One Year)ボランティア、行事の当日だけ活動するワンデー(One Day)ボランティアの参加者を募り、誰もが気軽に活動することができる協力体制を構築している。

☆ P T A の連絡ツールにビジネスチャットアプリを採用。ボランティアの依頼、講演会の案内、学校行事の報告など、積極的に情報交換、情報発信を行っている。P T A 総会は学校の一斉メールを活用して総会資料を提示し、アンケート機能によって回答を得ている。

☆企画部、情報部、学年部を中心に、学校とのコミュニケーションを密にして教育活動に協力・参画している。



学年部会の様子



情報部による学校行事の取材

成果

- 各種行事で P T A ボランティアが活躍。運営面で学校を支援している。
- 各学年の進路説明会、講演会等における保護者の参加率が高い。

課題や今後の取り組み

- 地域と協働する機会を作り、活動の幅を広げていく。
- 保護者同士が交流し、親睦を深める場を増やす。

その他の取り組み紹介

- 情報部が中心となって P T A だより「銀杏」を編集し、全会員に配布。
- 企画部主催の「P T A 視察研修」では県内外の大学を訪問し、キャンパスツアーや説明会等に参加。
- 会員の家庭教育力向上のための各種ワークショップ研修を企画部を中心に運営。

所在地

栃木県矢板市

全校生徒数

666名

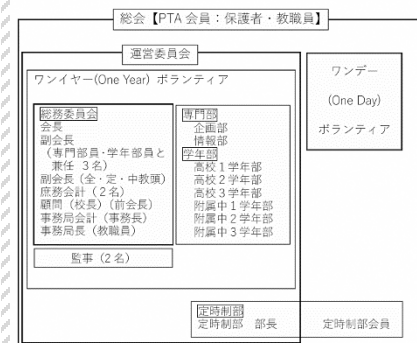
地域の特徴

矢板市は、栃木県北東部に位置する、人口約3万人の自然豊かな都市である。学校付近は J R 矢板駅、国道4号線などがあり、交通の利便性が高い。周辺には住宅地が広がり、落ち着いた雰囲気の中で学びやすい環境が整っている。

学校の特徴

学校の歴史は昭和23年に当時の矢板高等学校に普通科、定時制課程が設置されたことに始まる。昭和47年に矢板東高等学校として分離独立し、平成24年度からは附属中学校を併設。全日制、定時制、附属中の生徒が同じ校舎で学び、地域の中校校として有為な人材を輩出している。

組織構成



担当課：栃木県教育委員会事務局
生涯学習課

所在地

群馬県みなかみ町

全校児童数

139名

地域の特徴

群馬県最北端に位置するみなかみ町の南東部に位置する自然豊かな地域。ユネスコ・エコパークに登録されている。

学校の特徴

ユネスコスクールに係る教育活動において課題解決的な学習を取り入れ、「みなかみふるさと学習」の充実を図っている。

組織構成

【本部役員】

会長1名 副会長2名
書記3名（父母1教職員2）
会計2名（父母1教職員1）

【組織】

・本部役員会
・運営委員会
（広報部、安全部、厚生部）

担当課：群馬県教育委員会生涯学習課

人と人がつながるPTA活動と新しい学校に向けたPTAづくり

キーワード PTA統合 / つながりづくり / 活動の精選 / デジタル活用

取組概要

学校統合に伴って現在のPTA組織・活動の見直しや活動の精選に向けた取組をすすめ、無理なく充実した活動ができるようになった。

取り組みの詳細

(1) キャリア講話

大人になった自分を想像しながら、今を生きることを学ぶ目的で年間3回実施した。講師にはPTAのネットワークを生かし、地域在住のコンサルタントや介護福祉士、実業家を招へいた。



(2) 親子ヒップホップダンス教室

PTA厚生部の発案により、親子で楽しめる行事として実施した。講師の依頼、当日の進行などをPTA厚生部員が行い、親子はもちろん、親同士のつながりができた。



(3) 新しいPTA組織に向けて

令和8年度に月夜野地区の3つの小学校が統合されることから、3校のPTA役員が定期的に会議を行い、新しい組織や会則について話し合うなど、会員が相互に連携・協働しながら活動している。

成果

- ・キャリア講話では、働くことの意義やすばらしさを話すことで、子どもたちは社会とのつながりについて考えることができた。
- ・ヒップホップダンス教室では親子の喜ぶ姿から、PTA活動に「やりがい」を感じる事ができた。

課題や今後の取り組み

- ・閉校に向けての行事等の運営と学校統合に向けての連携・協力

その他の取り組み紹介

- ・安全マップのデジタル化
- ・奉仕作業と安全点検を同時に実施するなどの効率化の推進
- ・親しみやすさを追求した「PTA新聞」づくり
- ・運動会、マラソン大会での協力

学校のフォロー体制の充実（円滑なコミュニケーションを基盤とした連携）

キーワード 学校行事 / 学校運営協議会 / 働き方 / マチコミ / LINE WORKS / コミュニケーション

取組概要

マチコミ（メール・タイムライン）、LINE WORKS等の活用による学校・家庭・地域の連携及び学校行事やイベントの充実。

取り組みの詳細



成果

- ・学校行事、学習サポートの充実
- ・見守り活動、イベントの充実
- ・来校数の減少、業務の効率化

課題や今後の取り組み

充実したPTA活動を継続していくことが課題。会員や地域の声を大切にし、改革を進めながら活動していくことが必要である。

その他の取り組み紹介

- ・アンケートフォームの活用
- ・登下校見守りフォームの活用
- ・オンライン会議の実施
- ・昔の遊び、自然観察会、町探検、星空観察会等への協力
- ・運動部（革バレーボール・ソフトバレーボール・ソフトボール）の活動

基礎情報

所在地

千葉県四街道市

全校生徒数

637名

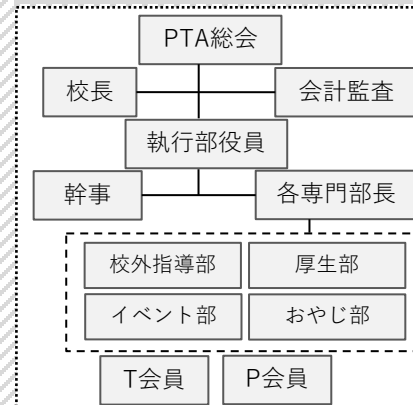
地域の特徴

四街道市は、千葉県北部に位置し、都心へのアクセスが良好なベッドタウンとして発展してきた。市域は、平坦な台地と起伏のある緑豊かな樹林地から構成され、都市機能と自然が調和した町である。

学校の特徴

昭和41年に開校。学校教育目標は「主体的に考え、豊かな心を持ち、たくましく生きる児童の育成」。挨拶・歌声・黙勤に力を入れるとともに、「風っ子」として、愛校心と自己肯定感を育む取組を推進している。

組織構成



担当課：四街道市教育委員会
社会教育課

大人も子どももハッピーに！ICT活用で大人の負担軽減&子どもの機会創出

キーワード

教師・保護者の負担軽減 / 子どもの体験格差の是正 / デジタル技術活用 / 地域連携

取組概要

地域連携×ICT活用により、持続可能で多様なPTA活動へ。
「できる人ができる時に」、子どもの笑顔のためにはまず大人も笑顔に。

取り組みの詳細

地域連携の推進

「ふれあいまつり」や、親地の会の協力による「星空観察会」、神奈川工業高校・神奈川大学の協力で神橋小学校PTAと連携して行ったドリームロケットプロジェクトの「ロケット教室」など、**地域連携**により保護者・教員の負担を最小限にイベントの機会を確保し、子どもたちの**体験格差**の是正に寄与。



ふれあいまつりの様子

イベントチラシ



保護者の参加しやすさの工夫

オープンチャットでのボランティア募集や、イベント委員の新設、IT相談員の設置など、**働きながらでも参加しやすい**仕組みを確保し、参加の自由度UP。口伝に頼りがちなPTA活動をまとめた資料をHPに掲載して見える化し、情報の平準化を図った。なお、地域に見守りを呼びかけ旗当番は10年以上前に廃止、登校班もない。

ICT活用による運営の効率化

SNS・メールでの情報共有、配布文書のアプリ配信、フォームによるアンケートなど、紙文書配布による委員及び教員の負担を軽減。イベント参加者への案内もオープンチャットにすることで当日案内や事後のアンケートもスムーズに。チラシの作成もアプリで手軽に。

成果

- ・単独では難しいようなイベントも、地域の多様な主体の連携により実現。
- ・委員はボランティアに仕事を振る係と割り切ることで、委員負担を軽減。
- ・紙文書の削減により委員だけでなく教職員の負担も軽減。

課題や今後の取り組み

- ・ボランティアの義務制や委員の学年縛りをなくしたため同じ人に役割が偏らないよう、まずは自分たちが楽しく活動することで新たな人材を呼び込む。
- ・入退会自由を説明しつつも加入届等の仕組みがまだ整備されていないことから、整備に向けて調整中。

その他の取り組み紹介

- ・運動会の記念品を児童のイラスト入り冷感タオルに変更したり、法被を新調したり、学校とのコミュニケーションを密にし、臨機応変に活動している。
- ・本部メールアドレスを会員に公開していつでも意見・要望を寄せられるようにし、学校・保護者双方から「あってよかった」と感じてもらえるよう活動している。

所在地

神奈川県横浜市神奈川区

全校生徒数

211名

地域の特徴

横浜の下町エリア。古からの閑静な住宅地で、六角橋商店街が近く、学区内に神奈川大学が立地する。戸建て率が高く、見守り体制もあり、3世代の卒業生も多く、お祭りや運動会など、町内会・自治会の活動も盛んです。

学校の特徴

昭和33年創立。10学級の小規模校で、地域とのつながりや一人ひとりへの温かい教育が特徴です。「ひびきあう心 かかやく笑顔 ふれあいの丘」をテーマに掲げ、教員の目が行き届くアットホームな小学校。異学年交流や地域ボランティアとの交流も盛んです。

組織構成



本部（会長1,副会長2,会計1,書記1
+ 学校側 会計1,書記1）

会計監査委員2
すいせん委員5
事業・保健委員5
広報委員5
イベント委員5
校外委員8

※数字は定数

担当課：神奈川県教育委員会
生涯学習課

保護者の望むPTA活動を目指して（PとTの負担軽減に向けた取り組み）

キーワード 多様な働き方・暮らし方 / 教師・保護者の負担軽減 / デジタル技術活用

取組概要

PTA活動等についての保護者の意識を調査するため、アンケートを実施した。結果を令和7年度のPTA活動および教員の働き方改革に反映させる。

取り組みの詳細

〇コロナ禍後のPTA活動に対する疑問

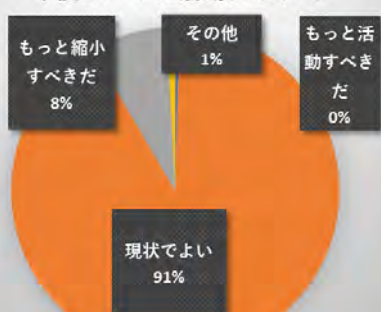
令和6年度、コロナ禍で中止・縮小していたPTA行事を元に戻す形で実施してきたが、コロナ禍を経て、保護者は学校やPTA活動についてどう考えているのか？

〇学校やPTA活動に対する保護者の意識調査を実施（12月）

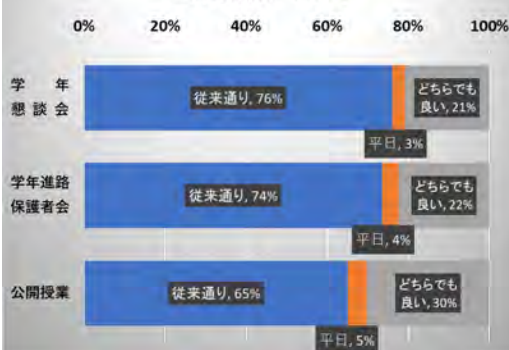
調査項目（抜粋） 回答数269名（回答率76.4%）

- ・学校に関すること：
 - 学校行事への関心度、学校からの課題量について、家庭学習時間の把握について、学校公式SNSの認識度
- ・PTA活動に関すること：
 - PTA行事への参加意思、開催曜日について、今後のPTA活動について

今後のPTA活動について



土曜実施について



成果

保護者の学校への興味関心の高さがうかがえ、特に、進路に直接関わることに関心が高かった。また、現状のPTA活動に満足していることがわかった。令和7年度は「公開授業」を土曜開催から平日複数日開催へと変更することとなった。

課題や今後の取り組み

土曜開催の学年懇談会や進路保護者会などを、平日開催やオンライン開催にすることを検討していく。導入により、保護者と教員の負担の軽減を図る。

その他の取り組み紹介

教員の働き方改革に関して、保護者が協力できること

- ・メールサービスによる朝の欠席連絡システムの浸透を図る。
- ・朝・夕の電話対応（留守番電話機能の導入）について理解を深める。
- ・PTA役員の依頼を、役員主体で行う。
- ・行事開催日を検討し、それについての理解を図る。

所在地

富山県射水市

全校生徒数

352名

地域の特徴

富山県のほぼ中央に位置する射水市には、数多くの魅力ある地域資源がある。その中でも、海や河川・野が育む豊かな「食」、水辺の景観「水」、市民参加・伝統ある「祭り」の3点が特徴である。

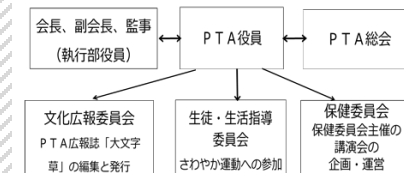
学校の特徴

本校は、昭和61年4月に開校。県内唯一の「情報コース」を設置する普通科単独校であり、令和6、7年度文部科学省高等学校DX加速化推進事業（DXハイスクール）に採択された。令和7年に創立40周年を迎える。

組織構成

構成

- ・会長 1名
- ・副会長 12名
- ・監事 2名
- ・各学年の役員 3名×3学年 計24名



担当課：富山県教育委員会
生涯学習・文化財課

福井県

福井県立福井特別支援学校PTA

基礎情報

所在地

福井県福井市

全校生徒数

49名

地域の特徴

福井市北西部の閑静な住宅街に位置し、東には白山連峰、南には足羽山を望み、九頭竜川と足羽川に囲まれた自然豊かな地域である。また、福井城跡や一乗谷朝倉氏遺跡などが有名な歴史ある城下町でもある。

学校の特徴

福井県で唯一の肢体不自由特別支援学校で、在籍児童生徒は、49名の小規模校。昭和42年の開校以来50年以上の歴史があり、肢体不自由児の学びと暮らしを支える学校づくりを目指している。

組織構成

会員数127名（教職員78名を含む）

【PTA役員】

(保護者)	
会長	1名
副会長	2名
(教職員)	
校長	
教頭	
書記	担当教員
会計	2名
事務長	
担当教員	

【委員会】
第1委員会
第2委員会担当課：福井県教育庁
高校教育課

いろいろな角度からつながるきっかけを – 無理なく参加できるPTA活動 –

キーワード

PTAは在学中の特権 / 情報共有・さまざまな選択肢を広げる / 組織のスリム化・効率化で負担軽減

取組概要

- 特別支援学校における「PTAの在り方」を考える
- 保護者アンケートでブレない活動・できるタイミングでの参加
- いろいろな角度からつながるきっかけの架け橋となるPTA活動

取組みの詳細

「みんなで進める」PTA活動へ
「無理なく参加できるPTA活動」

保護者の声が原動力

Google フォームを活用し
「いつでも」「だれでも」「自由に」
「気兼ねなく」発言できる環境づくり

あらゆる視点から集まった声を基に
活動の方向性を決めていく

現状を把握する



行事運営を担う有志の活動グループ

いろいろな角度からつながるきっかけ「みんなの会」

保護者の視野が広がり、さまざまな面で選択肢が増え支えとなる活動

●卒業生保護者と情報交換会（R6年度福養祭にて）

在校生保護者のニーズに合わせ（卒業後の過ごし方）〈便利なグッズ〉〈医療的ケアや健康に関すること〉のアンケートを実施。卒業生保護者にアドバイザーとしてご参加いただき、カテゴリー別にグループ分けをして、フリートーク形式で情報交換会を開催。体験談や在学中にしておくことなど貴重なお話を聞くことができ、つながりや情報共有ができた。



●福養祭PTA模擬店

企画から募集し、打ち合わせを行い役割分担して準備をした。当日参加できる方が運営を協力し、交流を図った。



●委員会での作業の一部を「みんなの会」で運営

「資源回収」と「奉仕作業」を同日にして参加者を募集。役員と先生の負担軽減。



PTAは在学中の特権 保護者間・学校・地域それぞれの視点から融合できる場

成果

・あらゆる場面でGoogle フォームを活用。いつでも回答可能なため、全保護者の意見が集約しやすく、意思決定などがスピーディーになった。

・アンケート結果をフィードバックしPTA活動の成果と課題を明確に伝えた。参加できるタイミングで小中高の学年学部を解いた主体的な交流ができた。

・母親だけではなく父親、卒業生保護者や先生方がいろいろな角度からつながり、情報共有や共感の場ができた。

課題や今後の取組み

・保護者のスキルや経験を活かした企画や関心のあることなど「みんなの会」を柔軟に活用し、心よく参加できるPTA活動をしていきたい。

・保護者が前向きで楽しい気持ちで参加すると、自然と子供たちの笑顔につながっていく。

その他の取組み紹介

・委員会を3つから2つに統合。役員数、役員会の回数を減らし組織をスリム化。委員会の作業内容の形を変化させ効率化。委員会作業の一部の運営を「みんなの会」発信で行う。

・次期役員の選出は立候補および小6～高1の保護者にアンケートで意思を確認。前向きな返事をいただいた方に、役員をお願いした。

豊かな学びを支えるために～共に学び 共に活動～

キーワード

多様な働き方・暮らし方 / 教師・保護者の負担軽減 / 合理的配慮 / デジタル技術活用

取組概要

令和元年度に3校が統合した高根東小学校の学校応援団として、保護者が学校の教育活動をサポートし、教職員や地域とともに子どもたちの豊かな学びを支えている。

取り組みの詳細



【SDGSの推進】

P T Aが主体となり、年間8回のリユース・リサイクル活動やP T A関係の通知を安心メールで送りペーパーレス化するなどSDGSの推進を図っている。

【P T A奉仕作業（年4回）】

令和5年度から親子でも参加できるようにし、安全面に配慮しながら親子で学校の環境整備を行っている。運動会前に行った第4回奉仕作業では、学校職員で行っていたテント張り（15張）を保護者の方々の力も借りて設営し、教職員の負担軽減を図ることができた。



【P T A親子研修会（1～6年）】

5年生は自分たちで育て、収穫した餅米を使い餅つきを行った。地域の方に道具を貸していただいたり、餅つきの指導もしてもらったりして、思い出に残る研修会となった。

【P T A総会の効率化】

P T A総会資料を事前配付し、保護者アンケート（Forms）であらかじめ質問や意見を入力していただき、P T A総会の時間をより有効に活用できるようにした。



成果

◆親子の絆・保護者間の親睦を深める活動を推進することができた。

◆P T Aが主体となり、リユース・リサイクル活動やペーパーレス化を図りSDGSの推進を図ることができた。

課題や今後の取り組み

◆会員が気軽にP T A活動に関わり本来の目的が達成できるよう、各学年の親子研修会を学年行事とタイアップして行う等して役員の負担軽減を図るようにしていく。

◆報道部の活動は部員、教師の作業負担の観点から、広報誌発行にこだわらず他媒体（ブログ等）での発信も念頭に各年度の活動内容を決定できるように会則を変更した。

その他の取り組み紹介

【教養部】

◆親子芸術鑑賞会の開催

【安全補導部】

◆交通安全教室 ◆春・秋の立哨指導

【報道部】

◆P T A新聞の発行

【保健衛生部】

◆救急法講習会・学校保健講演会の開催

基礎情報

所在地

山梨県北杜市

全校生徒数

243名

地域の特徴

北杜市は美しい山岳景観に加え、国蝶オオムラサキの生息数、ミネラルウォーターの生産量、日照時間がそれぞれ日本一と言われており、自然環境に恵まれた「山紫水明」の地である。

学校の特徴

2019年4月に3校が統合し6年目を迎える。3校の伝統を受け継ぎ、融合させながら新しい伝統と教育文化を創造するために、児童と教職員、そして保護者や地域住民が心を一つに努力を重ねている。

組織構成

【執行部】

会長 1名 副会長 2名
相談役（校長）
事務局・幹事・会計（教頭）

【専門部】

◆教養部 ◆安全補導部
◆報道部 ◆保健衛生部
*部長1名 副部長1～2名
*部員 各学年より1名

【学年委員】

委員長1名 副委員長5名
*各学年副委員長はいずれかの専門部に所属

担当課：山梨県教育庁
社会教育課

持続可能なPTA活動の創造

キーワード 持続可能 / 教師・保護者の負担軽減 =ゆとり/ 効率化 / エントリー制

取組概要

苦しい現状の中、課題を先送りにしないという決意のもと、「持続可能」をキーワードにPTA活動の改善を図ってきた。

取り組みの詳細

【基本方針】

- (1) 多様な価値観が存在する社会の中で、子ども一人一人の成長を温かいまなざしで見届ける。
- (2) 既存事業を見直し、前例踏襲ではなく新たな時代に即したPTA活動を構築する。
- (3) 学校の教育活動を支援する。

⇒学校、先生のゆとりが子どもの笑顔につながる。

【具体的な取組】

- (1) 組織改編
 - 役員数を54名から26名に減少
 - 学級委員会の廃止
 - 地区委員会の活動を厳選
- (2) 形式的から効率的
 - 書面審議での決議
 - 連絡・アンケートはデジタル化
- (3) エントリー制の導入
 - 運動会・授業参観スタッフ
 - 防災教室
- (4) 子育て支援の取組
 - 大学院教授による教育講演会



バッククッキング



避難所用簡易椅子づくり

成果

・児童数、家庭数が減少する中で既存の活動を維持することになかなりの負担感があった。そうした課題を先送りすることなく、学校の流れと連動して、スピード感をもって大きく改善を図ることができた。

・今の実態に即した活動にし、さらにエントリー制を導入したことで、様々な取組に主体性がでてきた。

・学校や先生の負担を軽減しゆとりができたことによって、子どもにとって魅力的な新たな教育活動が創られた。

課題や今後の取り組み

・本部役員は、他団体の宛職に就くなど負担感を感じる現状がある。そうした課題に問題提起をするとともに、子どもの成長を保護者と教師が同じまなざしで見届けられる活動を模索していきたい。

その他の取り組み紹介

- ・本部役員体験談パンフレット作製
- ・登校の見守りボランティア
- ・食育講話と給食試食会
- ・夏休み家族読書
- ・夏休み歯磨きカラーテスト

基礎情報

所在地

岐阜県美濃市

全校生徒数

279名

地域の特徴

美濃市は人口が2万人を下回る小規模都市で、これまで小中学校が何度も統合を繰り返してきた。現在、市内には小学校5校、中学校2校があるが、今後の学校再編が市の大きな課題となっている。

学校の特徴

本校は、明治40年に現在の校名となり、長年、地域と密着につながってきた地区の伝統校である。地域の伝統芸能や、運動会での鼓笛隊などの取組が代々受け継がれてきた。一方で、児童数が減少し、これまでの教育活動の維持が難しく、形式的になっているという課題があった。そこで、ここ数年は、これまでの学校のあたり前や風土・風習を見直し、子どもにとって魅力ある教育活動の創造に力を入れて取り組んでいる。

組織構成

- 本部役員〔5名〕
 - 会長1名 副会長2名
 - 書記・会計1名
 - 地区委員長1名
- 地区委員〔21名〕

担当課：岐阜県教育委員会
義務教育課

PTA会員数減少を見据えた持続可能なPTAへの改革

キーワード 組織のありかた / 本部役員の負担軽減 / 会員のPTA活動への関わり / 地域との関わり

取組概要

持続可能なPTAをめざし、本部役員選考方法と組織改正、広報誌の見直しの実施

取り組みの詳細

- 「組織検討委員会」を設置し活動内容の見直しと組織改編
 - ・会則、規約改定案を全PTA会員へ共有しアンケートを実施
 - ・役員を選考方法の見直しを実施
 - ・専門部組織、活動内容の精選により役員、会員の負担軽減の実現
 - ・常任委員会の開催回数削減
- 「地域とのつながり」を発信できる広報誌の作成
 - ・広報誌発行回数や掲載内容の見直しを実施（年3回発行→年2回）
 - ・教職員と広報部の役割を明確化

成果

- ・役員数の削減による負担軽減。
- ・各専門部の仕事内容や役割の明確化による負担軽減。

課題や今後の取り組み

- ・持続可能な組織となるよう活動内容や組織の継続的な見直しを実施。
- ・学校と地域住民を繋ぐ広報誌の改善の継続的な実施

その他の取り組み紹介

- ・自治会や町内会を巻き込んだ「リサイクル活動」の実施
- ・生徒会が行う「あいさつ運動」へのPTA会員の参加

基礎情報

所在地

静岡県藤枝市

全校生徒数

245名（令和6年度）

地域の特徴

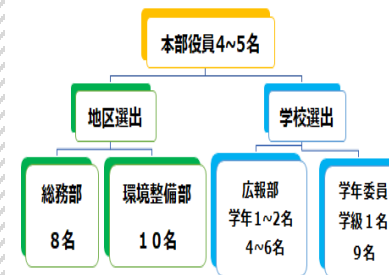
藤枝市の南西部に位置し、良質な地下水に恵まれた農地として開発されてきたが、東名高速道路「大井川绕道藤枝スマートIC」の完成により交通の流れが良くなり、価値観も多様化しつつある。地域における教育への関心が高く、藤枝市大洲地区自治会を中心に、地域のつながりを大切にした組織的な活動を展開している。

学校の特徴

藤枝市で一番新しい校舎と広いグラウンドなど恵まれた環境のもと、学校教育目標「自立 共生 夢 挑戦」の達成に向けて経営目標である「笑顔チャレンジありがとう」を合い言葉に、日々教育活動を推進している。

組織構成

大洲中学校PTA組織



担当課：(社会教育課)

子どもたちの学校生活を支えよう～楽しい・安心を実感できる環境づくり～

キーワード

多様な働き方・暮らし方 / 保護者主体のPTA活動 / デジタル技術活用

所在地

三重県伊勢市

全校生徒数

448名

地域の特徴

市の中心的住宅街。伊勢市の玄関口である伊勢市駅や宇治山田駅と国道23号線を結ぶ主要道路が校区内を南北に走り、一日中交通量が多い。ショッピングセンターや大型マンションもあれば勢田川に沿って古い歴史のある街並みが保存されている地域もある。

学校の特徴

明治16年に河崎・船工両学校を合併して有緝学校と称する。「自他の人格を尊重し、意欲的に活動し、実践力のある子を育てる」を教育目標とし、学ぶ意欲を持ち、自分も仲間も大切にできる子どもたちを育て、教職員・保護者・地域が日々協力して教育に取り組んでいる。

組織構成

<本部役員>

会長	1名	書記	1名
副会長	3名	会計	1名

<総務委員会>

本部役員・顧問、1～6年学年長

<学年理事会> 各学年5名

1年：生活安全	4年：保健体育
2年：交通安全	5年：福利厚生
3年：広報	6年：福利厚生

担当課：(推薦課名)

三重県教育委員会事務局
社会教育・文化財保護課

取組概要

- ①子どもたちの安全を守る：登校と下校のボランティア
- ②子どもたちの笑顔を守る：みんなで楽しむ秋まつり
- ③保護者と子どもの時間を守る：やれる年、やれる時にやれることを精一杯

取り組みの詳細



①子どもたちの安全を守る

約50名の会員が下校ボランティアに立候補し、地域の教育支援ボランティアの方々と一緒に見守り活動を行っている。それ以外の会員は、交通安全協会の方々とともに、登校時に通学路に立ち、子どもたちを見守っている。



②子どもたちの笑顔を守る

20年前に始まった夏まつりが、形を変えながら現在は「秋まつり」として継続している。射的やスーパーボールすくいなどの催しに、その時手伝える会員がスタッフとして協力し、子どもたちにも大人気の行事である。



③保護者と子どもの時間を守る

ベルマークの集計、行事の準備や片付けの協力などに、子どもが小学校に通う6年間の、都合のいいときに1度は協力することをルールとし、多忙な時期に無理することなく、また一人だけの負担とならないように工夫している。

楽しく安心な環境づくり

成果

・PTAに対する負担感が少なく感じられるようで、役員はほぼ立候補で決定した。活動にも主体的に参加する会員が増え、下校ボランティアの人数が年々増加している。

課題や今後の取り組み

- ・これまでの活動や理念を次の世代の会員に引き継ぐこと。
- ・全員がPTA活動に協力したいと思えるような組織づくり。

その他の取り組み紹介

- ・登下校コースを中心に、不安箇所がないか、校区をパトロール。
- ・伊勢市が主催する交通安全等の啓発活動への参加、地域の団体が主催のスポーツや健康のフェスティバルへの参加協力。
- ・業務精選のため、オープンチャットを活用した連絡や情報の共有。

「できる人が・できるときに・できることを」の実現に資する組織づくり

キーワード

組織改革 / 多様な働き方・暮らし方 / 教師・保護者の負担軽減 / 活動の見直し（スリム化・焦点化）

取組概要

多様な働き方の中で、PTAの活動を最大限子どもたちに還元～活動のスリム化と組織変革の両輪から～

取り組みの詳細

組織変革

「できるひとが・できるときに・できることを」の実現に向け、PTA総会で選出される役員範囲と人数を変更した。変更をする以前は、共働き世帯の増加をはじめ、多様な働き方により、PTA役員または学級委員を引き受けてくださる保護者の数は減少の一途を辿り、規約のために候補者をなんとか捻出するような状況であった。そこで、PTA総会で選出される人を最小化し、実態に即して、その他役職を会長がPTA総会后に任命することができるように変更した。

活動のスリム化・焦点化

PTA会費を生徒たちの教育活動により還元できるように従来の取組みを整理・削減し、行事の補助や出店、交流会などは役員を含む全員で起案・運営するように変更した。そのため、年度ごとに実行委員の数に変動が生じて、互いに助け合い、全員で業務を分担しながら活動することが可能となった。さらに、各行事毎に「お手伝い」としての参加を会員に呼び掛け、実行委員会に所属していないPTAにとっても「できる人が・できるときに・できることを」という目標を達成できる素地をつくる取組みを進めている。組織構造においては、専門委員（PTA社会見学担当など）を広報委員会を除いてすべて解体し、実行委員会全体の場で検討を行うものとした。

成果

専門委員会の多くを解体し、全体で協議を行うようになったため、フラットな組織構造となり、学年や経験年数等によらず、積極的に考えを共有し意見を構築することが容易となった。全体での意見構築が容易になったことで過渡期である学校のカリキュラムや行事の運営等に対して全体で理解を深めながらより良い形を毎年協議することが可能となった。

課題や今後の取り組み

今後は、PTA実行委員会自体が負担にならないよう工夫を検討していきたい。また、生徒の教育活動の充実を図るため、生徒たちの成長から「発見」し、よりよいPTA活動を「探究」し、生徒たち、先生方とともに全員の成長に「感動」し、一体となった活動に「自信」を持つことができるよう努めたい。

その他の取り組み紹介

- 広報誌の発行
- 体育祭時の熱中症対策に資するテント設置とドリンクサービス
- 文化祭時の飲食店の出店
- 年末清掃を行う生徒への豚汁提供

基礎情報

所在地

大阪府大阪市

全校生徒数

690名

地域の特徴

平成26年度から府立高校の全日制普通科の通学区域が撤廃され、府内全域から受験できるようになったため、多様な地域から生徒は登校している。PTA活動では近隣の高等学校でブロックを形成し協議会を行っている。また地域の中学校のPTA主催行事にも参加している。

学校の特徴

大阪府教育センターの研究・研修機能と連携し、一体となった教育活動を実践することにより、大阪の教育課題を踏まえた実践・研究を展開して、教員の指導力の向上を図り、府内全体の教育活動の深化・充実をめざしている。また、大阪の次代を担う人材の育成を目標とした、大阪の教育課題の解決に資する「ナビゲーションスクール」である。

組織構成

☆役員

会長	1名
会長補佐	1名
会計	1名
会計監査	3名

※その他役職（書記・会計等）は総会后、必要に応じて会長が委嘱。

☆委員会

実行委員会（全体会議）
広報委員会
会計監査委員会

担当課：大阪府教育庁 市町村教育室
地域教育振興課

所在地

兵庫県三田市すずかけ台2-16

全園児数

239名

地域の特徴

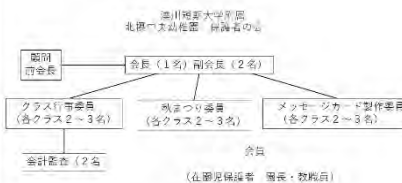
1987年のウッディタウン地区の開発から38年。学校園所の連携が取れており、「あいさつで心もつながる地域の輪」を地域のテーマに掲げた挨拶運動を継続しています。緑豊かな公園が多く、地域住民の「自助・公助・共助」力を高める地域性が高い。

幼稚園の特徴

三田市のニュータウン「ウッディタウン地区」とともに開園し、卒園生は3,600名を越えました。保育目標は「やさしい子・たくましい子・あいさつのできる子」とし、家庭・地域・幼稚園がひとつの輪になり、見守り、学びあい、支えあう環境の中で教育・保育をすすめている。

本園の特色教育としてはお茶のおけいこ・体育あそび・タブレットを活用したあそび等です。

組織構成



担当課：兵庫県教育委員会事務局 社会教育課

負担を減らし、PTA活動のイメージアップ！～みんなでつくる持続可能なPTA活動～

キーワード

SDGs推進 / 個人負担軽減 / 電子連絡帳・動画配信の活用 / 楽しめる活動に工夫

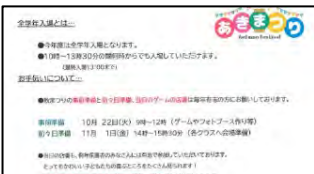
取組概要

- ・業務を分散してPTA活動を身近なイメージに。
- ・ICTの活用で運営を効率化！
- ・参加者の不安をなくし、積極的な関わりへ。

取組みの詳細

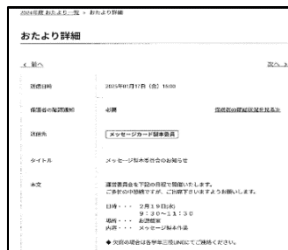
<個人負担の軽減>

- ・委員を増やし、運営委員会の開催を減らすことで、一人の委員にかかる負担を抑えた。
- ・委員はクラス運営、秋まつり、メッセージカード製作の3つに分けて個人の得意な分野で力量が発揮できるようにしている。
- ・印刷物の配布をなくし、役員の事務負担を軽減した。



<ICTの活用>

- ・全員に通知する文書は電子連絡帳のおたより機能にPDFで保存した文書を添付した。
- ・行事の参加有無はアンケート機能を用いた。これにより集計や既読のない方への再通知、確認がスムーズに行えている。



<気軽に活動しやすいイメージづくり>

- ・新入園児保護者でも活動がイメージできる動画を作成、配信している。
- ・就労する保護者でも参加しやすい活動内容や日程(少しの時間・少しの人数でもOK)を計画した。



成果

- ・行事のサポート参加希望者が増加した。特に父親の参加が急増した。
- ・役割参加のアンケートで、「負担が少ない」「これならもう少し手伝えた」「皆で作り上げた感があった」といった前向きな意見が増えた。
- ・保護者の会の積極的な取組みとして、園の特色教育である「お茶のおけいこ」のサポートがはじまり、教員の負担軽減にもつながった。

課題や今後の取組み

- ・園児減少傾向(少子化・待機児童解消による施設の充足等)で会員減少や会費の減収が予想されるため、活動の見直しや行事の取組みを検討したい。

その他の取組み紹介

- ・教職員の紹介記事作成
- ・ゆずりあい活動(卒園生の制服等不用品を寄付し、在園児に譲る)
- ・中学校の「服のチカラプロジェクト」に全面協力

主体的に活動するPTAをめざして

キーワード 専門部／ 教師・保護者の負担軽減 ／ 地域や各団体との連携による教師・保護者の負担軽減

取組概要

「子どもたちのために」を合い言葉に保護者が中心に進めていく育友会活動をめざして意欲的に取り組んでいる。

取り組みの詳細

4つの専門部（安全部・事業部・研修部・広報部）があり、それぞれが独立して主体的に活動している。必要な時は、他の専門部が応援に入る。

【安全部】交通安全教室の企画や警察への依頼を全て行うなど、主体的に活動している。また、通学路の危険箇所について協議し、会員の見守り場所を決定している。

【事業部】子供達に楽しい思い出を作るために、運動場で行う映画鑑賞会や水鉄砲大会、巨大迷路、ランタンナイト、夏祭り等を企画し、地域の方々と連携・協働し運営している。

【研修部】1人でも多くの保護者の参加をめざし、学校・家庭ともに関心の高いテーマを取り上げた保護者学級を年1回開催している。

【広報部】取り上げる内容について協議し、掲載する写真も広報部役員が撮影する育友会広報誌「若木」を年2回、全家庭に配布している。



成果

- ・専門部員の選出では、積極的に立候補する会員が多い。
- ・同じ部会に複数年関わる方がいることで引継ぎがうまく行われている。
- ・違う専門部の活動にも積極的に参加したりと協力的である。

課題や今後の取り組み

- ・各専門部の主体的な活動が持続可能な取組となるよう、活動内容の精選や、SNSの活用などに工夫して取り組んでいきたい。

その他の取り組み紹介

- ・安全部が全家庭の当番表を作り、全家庭の保護者が交代で児童の登校の様子を見守っている。
- ・児童の生活アンケートの結果を育友会員で共有し、今後の活動に取り入れられるようにしている。

基礎情報

所在地

和歌山県紀の川市

全校生徒数

252名

地域の特徴

和歌山県北部に位置し、温暖な気候と豊かな自然に恵まれた地域である。また、全国有数の桃の産地として知られている。

学校の特徴

本校は、明治37年に開校し、平成17年の紀の川市発足に伴い、紀の川市立安楽川小学校として新たなスタートをきった。「地域共生コミュニティ」の取組を実践し、地域の方々の協力を得つつ、教育活動の充実に取り組んでいる。

組織構成

- ◆本部役員会
 - 会長 (1名) 副会長 (3名)
 - 専門部長 (4名)
- ◆専門部 (各学年から1名程度)

- ・安全部
- ・事業部
- ・研修部
- ・広報部

- ※ 会長・副会長もどこかの専門部に所属している
- ※ 教職員も専門部に所属している

担当課：(推薦課名)

活発で主体的なPTA活動・関わる人の負担軽減と持続可能な組織づくり

キーワード 持続可能 / 教職員・保護者の負担軽減 / 研修の充実 / ICT活用

取組概要

PTA組織と保護者の主体的な活動を持続可能なものにするための組織改革と意識改革
保護者や教職員の負担軽減と参加しやすく、興味をもてるPTA活動の推進

取組の詳細

1 持続可能で活発な組織づくり

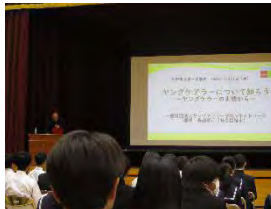
参加は任意であることを確認し、PTAの活動として取り組みたいことがある人が積極的に参画できるように会則を改正し、保護者や教職員の負担軽減を図った。

啓発や研修などについてオンラインやオンラインを活用し、全員が主体的に研修に参加できるように努めた。総会の出欠委任、次年度の役員希望については、会員が回答しやすいよう、Web回答フォームを活用し、意思や意見を表明しやすくした。

2 充実した様々な研修

PTA役員による提案・企画による多様な研修(※)を実施し、参加できる人が参加するようにした。

※[研修の内容] 市教育委員会教育長との対談、救命講習、地震体験車活用による防災研修、保護者交流(子育て相談)、アンガーマネジメント、ヤングケアラーの理解等。



成果

- ・任意であることを理解した上で、ほとんどの会員がPTAに加入している。(加入率99.8%)
- ・やってみたいという意欲のある会員が積極的に活動をリードするようになった。
- ・学校評価においても、保護者、教職員の賛同を得ることができた。

課題や今後の取組

- ・生徒の登下校の安全確保のために、自転車通学のマナーについてPTAと学校がタイアップした取組を行いたい。
- ・PTA広報誌は、保護者や生徒が楽しみにしているため、継続していきたい。

その他の取組紹介

・「学校のためになることをする」との考えから様々な活動を企画、実施している。主な活動内容として、奉仕活動、体育祭における熱中症対策、再資源回収等があり、これらの活動は地域にも広がりを見せている。

・市内外の学校から、取組の様子を聞かれることが増え、市P連事業を活用し、本校PTA組織についての紹介並びに意見交流の場を創設した。

所在地

島根県大田市

全校生徒数

407名

地域の特徴

校区は大田市のほぼ中央に位置し、市内および県西部の交通の拠点となっている。
校区の北西部は比較的平坦で、市の政治、経済文化の中心地になっているほか、道路整備や大規模店舗の進出等都市化が進んでいる。一方、南部は山地が雄大に広がっている。

学校の特徴

昭和22年開校。校区の小学校は4校だが、近年は修学活動等を理由に校区外や市外からの区域外通学生徒が増加している。各地区で子どもと一緒に活動できる地域行事が計画され、生徒も積極的に参加している。

組織構成

【PTA役員】

PTA会長 1名
PTA副会長 4名
研修部 部長 1名 (副部長 堀池長)
保健部 部長 1名 (副部長 堀池長)
広報部 部長 1名 (副部長 堀池長)
福祉部 部長 1名 (副部長 堀池長)
(各部署員は任意参加)

監事 2名

顧問 校長
事務局 教頭 事務職員

「子ども達の青春を親も一緒に応援する」 ～子育て最後のサポートチャンス～

キーワード 教師・保護者間のコミュニケーション／ 保護者の参画／ できる人ができる時に

取組概要

教職員-保護者-地域が一体となり学校づくりに参画する

取組みの詳細

コミュニケーション

- ・年8回執行部会を開催。教職員/役員が密に意見交換をし、目標を明確に活動。(オンライン会議はしない)
- ・個人の負担が重くならないように「できる人ができる時に」をモットーに無理なく、そして親も一緒に楽しむ。
- ・役員募集のチラシについて、PTA組織の必要性と活動をわかりやすく見える化。
- ・「子ども達の教育環境を整えるためにPTAができることは何か」を常に考え、地域と共にサポートしている。

保護者の参画・思い出作り

- ・制服リサイクル、体育祭、文化祭時の保護者来校用貸切バスの手配など、保護者のイベント参加率向上に係る取組み。
- ・撮って楽しい、見て楽しい写真いっぱいのPTAだよりの作成。
- ・親子や友人と思い出作りに、卒業フォトスポットパネルを2枚、美術部在校生とPTA執行部が1枚ずつデザインして制作。



成果

- ・各イベントで保護者に「PTAの必要性」を訴え続け、PTA加入率100%を維持できている。保護者は伝統的にも非常に協力的で円滑に運営できている。
- ・顔を見て対話を繰り返すことで教員/保護者/地域との強い信頼関係ができていく。
- ・学校や生徒が必要とするところにしっかり会費が使われている。

その他の取組み紹介

- ・校内一斉清掃 (保護者・生徒300人)
- ・地域活性化ビジョン「LMO毘沙門台」への参画
- ・地域の病院や町内まつりにダンス部など部活動に参加依頼し地域活性化
- ・読みたくなるPTAだよりの発行
- ・オーストラリア姉妹校から留学生23名受入 (ホストファミリー)
- ・保護者対象の学年別進路説明会開催

基礎情報

所在地

広島県広島市

全校生徒数

954名

地域の特徴

毘沙門台団地は、広島市安佐南区に位置する開発分譲団地で、閑静な住宅地でありながら、広島市中心部へのアクセスにも優れています。この地域では、住民主体の『LMO毘沙門台』を通じて、交流や地域資源を活かした持続可能な町づくりが進められています。また、地域名の由来となった由緒ある『毘沙門天』を祀る寺院が近隣にあり、歴史と文化を感じられる魅力的な場所です。

学校の特徴

生徒が「青春創造」の雰囲気の中で、あらゆることにのびのびと取り組むことができます。安古市生が持つ、学習への積極的な姿勢、メリハリある行動力、出会うものに対する豊かな感性そして仲間への思いやり、それらは創立から半世紀を迎え、本校の文化となっています。「生徒の自治」という校風のもと、学力、人間性、健康・体力が豊かに育まれ、かきかえのない青春時代を過ごすことができます。

組織構成

【役員構成】会長 1名、副会長 若干名、会計 1名、顧問 1名、クラス委員 各学級2名、教職員代表 若干名、監査 3名、参与 若干名

【各部の活動】

- ・広報部は、広報紙を編集発行する。
- ・進路・国際交流部は、生徒の進路について多角的な指導ができる体制の支援を行う。また国際交流に関する業務を行う。
- ・生活部は、生徒の生活に関する諸問題について研究協議する。

担当課：広島県教育委員会
生涯学習課

広島県

東広島市立 川上小学校PTA

「できる人ができることを行う」～活動を見直し、広く理解されることで動き出すPTA～

キーワード 多様な働き方・暮らし方 / 教師・保護者の負担軽減 / PTAホームページ / デジタル技術活用

取組概要

共働き世帯が増える中、PTA活動への負担感を軽減し多くのPTA会員がPTA活動に対して理解し、積極的に関わることができるようデジタル技術を活用した組織運営を行っている。

取組みの詳細

① PTAホームページの開設

共働き世帯が増えるなど保護者の生活の変化から、以前のように集まって年数回の広報誌を作成することが負担となっていた。コロナ禍での活動自粛もありPTA活動を知らない保護者やPTAは不要なのでは？という保護者が増えてきた。



PTA活動について広く知って理解してもらうためにも、広報活動は必要不可欠であると考え、PTA独自のホームページを制作、令和6年11月より運用を開始した。ホームページ内のブログを利用し、素早い情報共有を行っている。

② 電子アンケートの実施

紙でのアンケートは1枚1枚、人の目での確認や集計が必要であり、児童数の多い学校では役員の大きな負担となっていた。



令和4年度後半より、“Googleフォーム”を利用した電子アンケートを導入。活動部会の意思決定をするアンケートや、駐車場利用希望、サポートボランティア募集や行事・講演会後の意見・感想収集目的でのアンケートなど様々な場面で電子アンケートを利用。総会の書面決議を行ったり研修会の感想やPTA活動への意を収集したりすることが、気軽に行えるようになった。

③ ウェブベルマーク

児童数急増のため、回収したベルマークの置き場所や集計作業場所の確保が困難となった。また平日の集計・発送作業に何度も学校に集まることが難しい保護者が増加した。



『ウェブベルマーク』へ移行した。ネットショッピングのついでに好きなタイミングで協力できるため、来校の難しい保護者にも協力していただくことができています。

成果

広報誌・おたよりの作成やアンケートの集計作業の負担が大きく減少し、PTA活動に積極的に参加していない保護者にも、活動の様子を知らせる機会が増えた。

総務会に対する意見・質問へのやり取りも活発になり、PTA活動に対する理解・関心が増した。

課題や今後の取組み

ホームページの認知度がさらに上がるよう、保護者にとって必要な情報を集め内容を工夫する。

PTA活動について理解を深め、この活動なら参加できそう・してみたいという保護者の増加を目指すと同時に、地域との連携をより強固にするためにホームページを使いながらPRする。

その他の取組み紹介

<地域協働・連携>

地域のみまもり隊と一緒に登下校の見守り活動「旗当番」を実施。

学校運営協議会と連携し、川上小の保護者・地域の有志で結成された「川上地域ボランティア」と協力し、学校行事や学習活動・環境整備等の支援。

<学びに関する活動>

PTA教育講演会の開催
市P連・県P連で行われた講演会の情報共有等。



基礎情報

所在地

広島県東広島市

全校生徒数

823名

地域の特徴

東広島市の北西部に位置し、自動車・電気関係を中心とした関連の工業地が混在し、多くの農地が、昨今は住宅地となり人口も増えつつある。

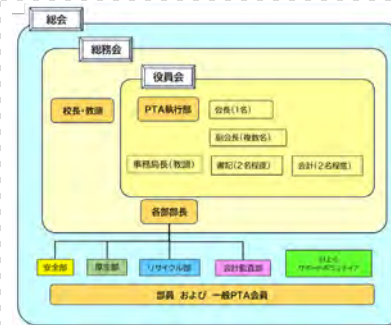
学校の特徴



児童数 823名、学級数30学級
(特別支援学級6学級を含む)

教職員数 74名の、大規模校である。
令和5年度に150周年を迎え、古き良き伝統を受け継ぎ、「自ら学び 共に学び 心豊かで たくましい子」を学校教育目標に、新たな校風を築いている。

組織構成



PTA執行部を中心に、4つの部会とサポートボランティアで、子ども達の健全な育成に向け活動を行っている。

担当課：広島県教育委員会
生涯学習課

「伝統」を継承し、新たな「伝統」を築くPTA活動

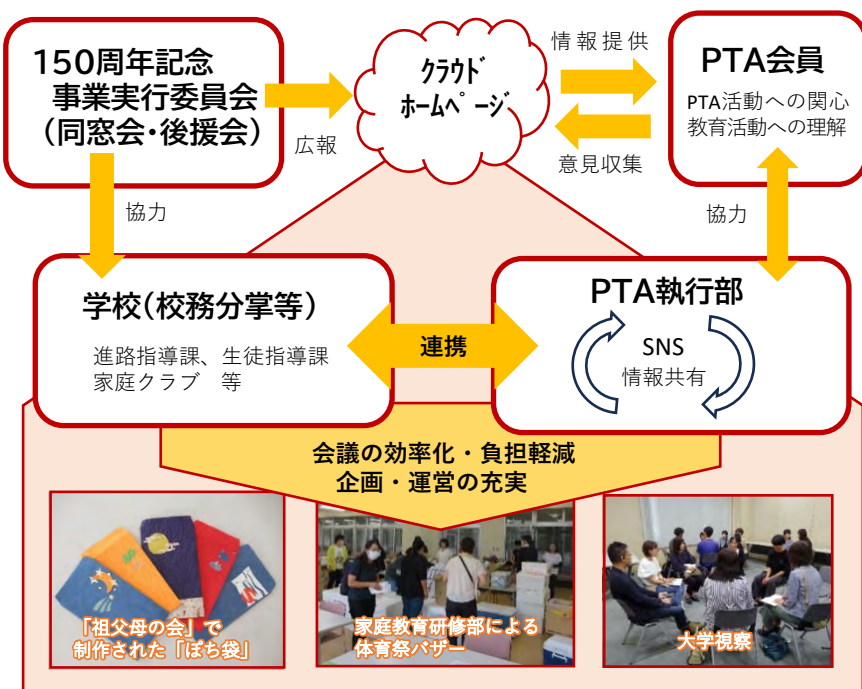
キーワード

ICT活用 / 教員・保護者の負担軽減 / PTA活動の理解促進

取組概要

- ・ICTを効果的に活用し、業務の効率化並びに情報発信及び会員相互の情報共有を積極的に推進
- ・創立150周年記念事業の実施に向けた学校や同窓会、後援会等との連携

取り組みの詳細



ICTを活用して、PTA活動への関心を高めるとともに、活動しやすい環境を構築し、担い手を確保。伝統をつなぎ、新たな活動にも挑戦。

成果

- ・必要な情報を適切なタイミングで、確実に提供することができるため、PTA活動の充実はもとより、教育活動への理解促進につながった。
- ・SNSを活用して事前に情報交換を行うことで、対面での活動が効率化し、内容も充実した。

課題や今後の取り組み

- ・PTAと地域との連携をさらに深め、PTA活動及び教育活動の更なる充実を図る。
- ・良い伝統を引き継ぐとともに、会員のニーズを踏まえた、新たなPTA活動の検討と実施を図る。
- ・社会環境の変化に対応するため、保護者の学ぶ機会の更なる充実を図る。
- ・研修会等のハイブリッド開催など、ICTの活用の更なる充実を目指す。

その他の取り組み紹介

- ・地元警察署や青少年育成補導センター等と連携し、生徒の生活指導の充実に取り組んでいる。
- ・PTAの各種大会や研修等にも積極的に参加し、保護者同士のネットワークづくりに努めている。
- ・PTA活動の効率化を図るため、大学視察における、バス移動中の時間を有効に活用して、人権研修会を開催している。教員が講師を務め、保護者が人権に関する知識や理解を深める良い機会となっている。

所在地

徳島県徳島市城南町

全校生徒数

830名

地域の特徴

徳島市中心部のシンボル「眉山」の麓で、南には一級河川「園瀬川」が流れる。城南町に位置する。近隣には小学校や中学校をはじめ、本県文化の発信拠点である「文化の森総合公園」が位置し、城下町の歴史が香る、教育資源が豊かな地域である。

学校の特徴

1875年に設立。県内で最も古い歴史と伝統の中で培われてきた「自主自立」「文武両道」の精神のもと、高いレベルでの探究的な学習や多彩な部活動をととして、「未来を切り拓くイノベーター（革新者）」として必要となる力を育成する。

組織構成

会則に基づき、保護者及び教職員で構成され、加入率は100%である。会員間及び学校と保護者の連携を緊密に保ち、積極的な組織運営を行う。

本部

- | | |
|-------------|--------|
| ・会員相互の教養の向上 | 会長(1) |
| ・教育に対する理解促進 | 副会長(7) |
| ・学校教育の振興に寄与 | 監事(6) |
| | 顧問(2) |

家庭教育研修部

- | | |
|--------------------|---------|
| ・家庭教育の観点から教育の向上に寄与 | 部長(1) |
| | 副部长(15) |
| | 監事(2) |

担当課：徳島県教育委員会生涯学習課

できる人が、できるときに、できることを楽しんで～子どもの笑顔のために～

キーワード

多様な働き方・暮らし方 / 教師・保護者の負担軽減 / デジタル技術活用

取組概要

学校・家庭・地域が協働し、児童の教育活動の充実を図る。

取り組みの詳細

できる人が、できるときに、できることを楽しんで

全家庭保護者1名が、本部・学校教育部・家庭教育部・調査広報部・社会教育部のいずれかに所属している。各部には担当教員がおり、本部には副会長として教頭が参加している。保護者は、できるときにできる活動に参加している。

＜主な活動＞

各学期1回の登校時の見守り旗当番、学校行事・PTA行事(校内・校外)・地域行事のお手伝いの中から、できそうなものを一つ選び、活動している。

しののめフェスティバル2024

従来のバザーを見直し、児童向けの楽しいイベント「しののめフェスティバル(通称しのフェス)」として再編成・企画運営を行った。希望参加ではあったが、265名の児童が参加する一大イベントとなった。当日は、教職員、19名の保護者ボランティア、10名の本部役員が連携を図り、楽しんで運営することができた。ハンドメイドコーナーやスーパーボールすくい、愛媛大教育サークル考案の工作コーナーなど、各コーナーは大盛況であった。学校オリジナルキャラクター(Pちゃん)が描かれた「しのPカード」を用いてのスタンプラリーは、大好評であった。フィナーレでは、特別ゲストに「みきゃん」を招き、クイズ大会も大いに盛り上がった。児童や、PTA会員相互の親睦を図ることができた。



各部企画の行事

【坊っちゃん学習(年3回)】

- ・片付け講話
- ・皮膚トラブルの講話
- ・校長先生を囲む会

【給食試食会】

- ＜1～5年保護者＞
- ・栄養教諭の講話
- ・試食会

【学校かくれんぼ】

- ＜6年児童・保護者＞
- ・学校かくれんぼ

成果

- ・全PTA会員が参加しやすい企画・運営を心掛けることで、無理なく楽しく活動できている。
- ・PTA本部役員は2年を任期とし、毎年、半数が入れ替わるようにすることで、年度のスムーズな移行と企画のマンネリ化からの脱却を図ることができている。

課題や今後の取り組み

- ・PTA役員(本部・各部長)、会員の負担軽減
- ・手作業と併用しながらのウェブベルマークへのスムーズな移行
- ・図書の購入・登録・整理等を行うサポーター制度の導入

その他の取り組み紹介

- ・スムーズな情報伝達するため、SNS連絡ツールを活用する連絡方法の再検証
- ・運動会や音楽会の受付、誘導等の学校行事への支援
- ・校外学習、縦割り遠足等の見守り活動
- ・朝の見守り活動
- ・ウェブベルマーク活動

所在地

愛媛県松山市

全校生徒数

356名

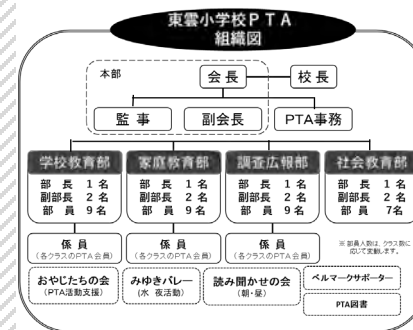
地域の特徴

東雲地区は松山城の東側に位置し、幼稚園から大学までの教育機関等が集まっている。また、東雲神社や明教館などの歴史的・文化的施設も多く、教育と文化が融合した地域である。

学校の特徴

松山市の中心部に位置しており、創立117年になる歴史ある伝統校である。平成23年度より、近隣の小学校三校と中学校は、共通理念「希望をもって自己実現を図る子どもの育成」を掲げ、教育実践に取り組んでいる。また、平成28年2月には、松山市教育研修センターと東雲小学校との一体型の新校舎が完成。開所よりセンター協力校として研究実践を積んでいる。

組織構成



担当課：愛媛県教育委員会
社会教育課

所在地

長崎県長崎市上野町

全校生徒数

中学・高校計724名

地域の特徴

浦上天主堂や平和公園、如己堂など平和に関する施設があり、地域住民だけでなく国内外の観光客で賑わう。長崎大学や附属病院も近く、学生や教育・医療関係者が多い。文教的で、平和と学びの象徴とされる地域である。

学校の特徴

カトリック系の男子校であるミッションスクール。「人間の尊厳のために」を教育目標に掲げ、地域の特色を生かした平和活動やボランティア活動に力を入れている。学業に励むのはもちろん、部活動でも優れた成果を上げている。

組織構成

学校職員および保護者は、全員が育友会の会員となる。保護者からは学年ごとに評議員を選出し、学年の活動などへの協力をお願いしている。さらに、評議員の中から理事を選出し、育友会活動の中心的な役割を担ってもらっている。

○保護者理事から以下の役員を選出：
会長：1名
副会長：中学2年生以上の各学年より1名ずつ
（※学年内での連絡や事務処理も担当）
会計：3名以上 監事：2名以上
○学校職員から以下の役員を選出：
顧問：学校長
会計：事務長およびその他事務職員
庶務：教職員より若干名

「親睦を深め、継承につながる」学年ごとのバザーの運営

キーワード

多様な働き方・暮らし方 / 教師・保護者の負担軽減 / 合理的配慮 / デジタル技術活用 など自由に（できれば複数）

取組概要

コロナ禍での活動自粛により、バザー再開の際に運営に支障をきたした状況を経て、バザーを学年ごとの運営に変更

取り組みの詳細

【育友会の役員の再編】学年での運営がしやすいように各学年に副会長を配置。学年のとりまとめ役として、学年内での連絡や事務処理を担当。ただし、全保護者への連絡は庶務を担当する教職員に、学校で利用している保護者向け連絡ツールを通じて連絡を依頼する。

【バザーの内容の変更】

以前	現在
保護者からの献品は、商品ごとに仕分け	保護者からの献品は、学年ごとに色わけシールを貼って保管
販売時は商品ごとにブースを設置	販売時は学年ごとにブースを設置

【バザーの流れ】

- 献品のお願い（6月末・7月頭頃に全保護者にお願い）
- 献品募集期間（7月～10月末・保管場所は学校）
学校の正面玄関に学年ごとにテーブルを設置し献品を受付
放課後に教職員の会員にも協力を依頼して献品保管場所へ移動
- 8月末にバザーに関する理事会を実施し、係決め等を行う
10月中旬にバザー協力者への全体会（打ち合わせ）を実施
- 販売日の2～3日前に陳列と値付けを行う

【成果】保護者間の結束が深まるなど、当初の目的以外にも良い成果が得られた。また、バザー前の会議時間が削減できたことに加え、販売品を分類しなかったことでブースごとの来客の偏りが減り、売れ残りも少なくすることができた。

成果

- ・バザー前の会議等の時間の減。
- ・保護者がスムーズに交流できた
- ・ブースごとの来客者の偏りが減

課題や今後の取り組み

- ・学年ごとに献品数や協力者に偏りが出た場合の対策を検討
- ・会員以外での運営希望者の募集

その他の取り組み紹介

- ・「Thanks Day」生徒向け花の販売
－ 家族にお花をプレゼント
- ・文化祭での出店依頼
－ 地域の出店で盛り上げる
- ・オープンスクールでの
保護者による相談ブースの設置
－ 保護者の立場で不安を払拭

基礎情報

所在地

大分県佐伯市

全校生徒数

370名

地域の特徴

九州の南東部に位置し、九州で一番広い面積を持つまち。九州山地から広がる山間部、一級河川番匠川下流に広がる平野部、リアス式海岸の続く海岸部をもつ。豊かな自然がもたらす生鮮魚介類を素材とした食のまちとなっている。

学校の特徴

建学の精神は、「地域・社会全体に貢献度の高い学校づくりを推進し、地域産業・福祉を担う有為な人材を輩出する」ことである。全国でも類を見ない4つの大学科「農業科、工業科、福祉科、総合学科」を持つ総合選択制高校。

組織構成

会長 (1名)
副会長 (6名+校長)
学級役員 (26名)
その他 (若干名 監査委員、幹事、会計、書記、顧問)

《委員会》

総務広報委員会
委員長 (1名 副会長)
副委員長 (2名 副会長)
委員 (13名 学級委員)
健全育成委員会
委員長 (1名 副会長)
副委員長 (2名 副会長)
委員 (13名 学級委員)

担当課：大分県教育庁
社会教育課

持続可能なPTA活動を目指して

キーワード コロナ禍からの再出発 / 組織改編 / 負担軽減 / デジタル技術活用

取組概要

子どもたちの笑顔を取り戻すための P T A 活動
会員が参加しやすい・参加してよかったと思える P T A 組織・活動

取り組みの詳細

真心込めた「PTA食品バザー」



凛とした生活を応援する

「マナーアップ運動」

気持ちよく学校生活を送るための

「環境美化活動」

組織改編・業務見直し



成果

- ・学校生活に笑顔が戻ってきた
- ・業務量削減と負担感の軽減
- ・SNS等の利用による会議の削減

課題や今後の取り組み

- ・役員定数の見直し
- ・行事への会員募集の方法の研究
- ・PTAへの抵抗感の払拭

その他の取り組み紹介

- ・横の連携（市内高校の連合会）と縦の連携（小中高の連合会）強化
- ・制服、体操服のリユース活動
- ・Run & walking大会にてゴールでの果物の手渡し
- ・年間3回の広報紙の発行と全世帯への配布

主体的に活動する持続可能なPTAをめざして～子どもたちのために、今できることを求めて～

キーワード 一家庭一役 / 教師・保護者の負担軽減 / 子どもの安全

取組概要

小中学校会員が関わる一世帯ごとの「一家庭一役」を担いながら、子供たちのために行事のサポートや研修、安全面の環境整備等に意欲的に取り組んでいる。保護者の負担軽減を考え、活動の見直しも図っている。

取り組みの詳細

一家庭一役

世帯ごとに1つの役に参加し、PTA活動を行う。内容は、各種講演会及び学校保健委員会、家庭教育学級、読み聞かせ等への参加である。家庭教育委員会が中心となり、世帯ごとの希望をとり、割り振ることで、取り組みやすい環境を作っている。



PTAとの連携による風水害引き渡し訓練

子どもたちを安全に引き渡すための訓練を参観日を活用して実施している。保護者と教職員が連携して引き渡し訓練を行い、誘導について見直しを行っている。実際の線状降水帯による大雨時には、教職員と保護者の連携により、安全に子どもたちを引き渡すことができた。



委員会の見直しと安全面への配慮

広報委員会の活動について、写真撮影や新聞作成等の負担増の反省があがった。そこで、運営委員会にて協議し、今年度はデジタル配信を行い、令和7年度は広報委員会を廃止する方向とした。これまでの広報委員会の予算については、災害時に子供たちが学校で必要となる物品購入にあてることにした。

成果

- ・一家庭一役については、各世帯が意欲的に取り組んでいる。
- ・引き渡し訓練は、課題の見直しにより安全に引き渡すことができています。
- ・広報誌をデジタル配信化することで、印刷費を抑え、必要な購入物にあてる予定である。

課題や今後の取り組み

- ・線状降水帯による引き渡しの実際を通して、防災を意識した取組が必要であることが分かった。
- ・伝統であるキンカン畑の環境整備に取り組んでいく必要がある。

その他の取り組み紹介

- ・一家庭一役による朝の読み聞かせを、年間2回実施している。
- ・年1回、事業部と生徒指導部が協力して、各地区ごとにお助けハウスの協力確認や危険個所の確認を行っている。
- ・学校の安全点検であがった運動場の古タイヤ88本を撤去した。

所在地

宮崎県日南市

全校生徒数

児童164名 生徒90名

地域の特徴

宮崎県の南部に位置し、山と海に囲まれた豊かな自然環境の地である。基幹産業は、温暖な気候を生かした超早場米やみかん等の農業、餌肥による林業、マグロ・カツオの遠洋漁業、製紙会社工場である。餌肥地区には城下町があり、伝統的な祭りや行事が受け継がれている。


学校の特徴

平成25年4月、小中一貫教育校として東郷小と東郷中が東郷小中学校となる。教育目標を、「豊かな心で、自ら学び考え、たくましく生きていくことができる子どもの育成」とし、地域に開かれた学校をめざし、地域や関係機関、行政等と連携を図っている。また、小中一貫校ならではの9年を見通した教育を進めている。

組織構成

- PTA三役
会長1名、副会長6名、監事2名
 - 運営委員会
PTA三役7名、専門委員長4名、教職員
 - 専門部
家庭教育学級委員会、生徒指導委員会、保健体育委員会、事業委員会、広報委員会
 - 専門部以外の一家庭一役
各種講演会への参加、朝の読み聞かせ、家庭教育視察研修
- ※ 令和6年度10月に九州PTA協議会長崎大会で優良PTA団体として表彰された。

担当課：宮崎県教育庁生涯学習課



テーマカテゴリー

地域協働・連携

基礎情報

所在地

青森県弘前市

全校生徒数

562名

地域の特徴

古くからの商店街・近郊農村地域に加え、住宅街を抱える地域である。伝統的に横の連携がしっかりしている町会も多く、地域全体の教育に対する関心は高い。教育活動に対して協力的であるが、価値観の多様化も進みつつある。

学校の特徴

教育目標「GENTLEMANSHIP」のもと、生徒たちは、生徒会活動や部活動に熱心に取り組み多くの成果を上げている。また、挨拶、規律を守る、服装を整えるなどの基本的な生活習慣が身に付いており、明るく素直な生徒が多い。

組織構成

【名誉会長】
【会長・副会長・監事】
【各学年・各専門委員会】
【各委員・一般会員】

担当課：青森県教育庁生涯学習課

中学校区親睦合同球技大会 ～協力体制の強化と地域環境の形成を目指して～

キーワード 地域ネットワーク構築 / 広報活動 / 健全育成

取組概要

中学校区親睦合同球技大会を通して、中学校区内全5校の保護者及び教職員の親睦を図り、PTA活動や学校行事への協力体制の強化や、子どもたちの健全育成を支える地域環境の形成につなげている。

取り組みの詳細

【地域と行う諸活動】

中学校区内の小・中学校5校の保護者、教職員の親睦を目的として合同球技大会を実施している。終了後には懇談会も行い、学校・家庭・地域の連携について意見交換を行っている。この活動を通じて、保護者間及び学校・地域間のつながりが深まり、日頃のPTA活動や学校行事への協力体制が強化されたり、地域住民と学校の関係性が良好に保たれたり、子どもたちの健全育成を支える地域環境の形成につながっている。コロナ禍を経て令和6年度に再開したこの取組は、地域に根差した伝統的行事として定着しており、PTA活動への理解と参加意欲の向上にもつながっている。

【情報公開・広報活動】

PTA広報「桜花」を年間4回発行し、PTA活動や教育活動に関する情報提供を広く行っている。

【生徒指導に関する活動】

いじめや虐待などの防止を目的として「あいさつ運動・ことばをかけて見守る運動」を8月と2月に行っており、子どもたちを地域全体で見守る活動を行っている。健全育成委員会が主催しており、学校運営協議会委員も参加している。

また、校外かつ夜間の生徒の生活安全と犯罪抑止を目的に、「学区内の宵宮及び夜店祭りの巡回活動」を、例年6月から7月にかけて、のべ5回行っている。

成果

- ・PTA活動や学校行事への協力体制の強化
- ・子どもたちの健全育成を支える地域環境の形成

課題や今後の取り組み

- ・負担軽減と教育効果のバランス
- ・後継者育成と持続可能な活動体制

その他の取り組み紹介

- ・文化祭においてPTA食堂を運営し、生徒に昼食を提供している。
- ・3つの学年委員会と、4つの専門委員会で組織され、それぞれに担当教員が配置され、様々な活動の窓口として機能している。
- ・PTA事務員を配置し、役員や担当教員との連絡・調整を図っている。

青森県

青森県立名久井農業高等学校 父母と教師の会

緑育心 地域と歩み80年 学びと伝統 これからも ～地域とともに育て、地域に貢献する人材を育成する～

キーワード P T A 秘伝レシピによる焼き肉のタレづくり／近隣高校 P T A との交流活動／登校時一声運動

取組概要

P T A 秘伝レシピにより製造した焼き肉のタレを学校祭で販売、同地区に所在する高校 P T A との交流活動、P T A 健全育成委員会を中心とした登校時一声運動など、地域や学校の特色を活かした P T A 活動を継続実施。

取り組みの詳細

■ P T A 秘伝レシピによる焼き肉のタレづくり

- 本校で収穫した農作物をふんだんに活用した P T A 秘伝の焼き肉のタレを作り、学校祭の名物として販売している。即完売するほど大人気である。タレの他、P T A 模擬店も学校祭を盛り上げている。



■ 近隣高校 P T A との交流活動

- 近隣の三戸高校及び向陵高校 P T A との3校交流会や八戸水産高校 P T A との交流会といった2種類の交流会を実施してきた。規模拡大による活動の更なる活性化と輪番制による事務局校の負担を軽減するため、本校が中心となり、この2種類の交流会を一本化した「4校交流会」を立ち上げ、次年度から活動することとしている。



■ 登校時一声運動

- 健全育成委員会主催で、毎年5月と9月の年2回、登校時一声運動を実施している。学校の玄関前であいさつと声掛けを行い、生徒の心を支えている。



成果

- 学校行事に参加する機会を意識的に設けたことで、多くの保護者が P T A 活動に参加している。
- 他校 P T A との交流により、広く情報ネットワークが構築された。
- 生徒は全体的に穏やかで、落ち着いた学校生活を送っている。

課題や今後の取り組み

- P T A 活動への参加者が固定化傾向にあるので、粘り強い周知活動が必要である。
- 生徒数減に伴う P T A 予算確保が難しい状況なので、入学者数確保のための広報活動が必要である。

その他の取り組み紹介

- P T A 広報誌で学校行事等の様子を情報発信。
- 体育祭や遠足等の行事における給水活動を実施。

基礎情報

所在地

青森県南部町

全校生徒数

138名

地域の特徴

- 町の南西部に霊峰名久井岳がそびえる。
- 「北のフルーツ王国」とも呼ばれるほど果樹栽培が盛んで、さくらんぼ、桃、梨、ぶどう、りんごなど、一年中ほぼ切れ目なく何らかのフルーツが流通している。

学校の特徴

- 「緑育心」をモットーとし、学校環境緑化活動を継続してきた。
- 生物生産科、環境システム科の2学科を設置。
- 令和6年度に創立80周年を迎えた。
- 地域交流活動と研究活動に力を入れている。特に研究活動では、ストックホルム青少年水大賞でのグランプリをはじめ、国内外で開催されるコンクール・コンテストで、数々の賞に輝いている。

組織構成

- 役員
 - ・会長
 - ・副会長
 - ・監査員
 - ・各委員会の委員長および副委員長
(健全育成委員会、研修母親委員会、調査広報委員会、進路指導委員会)
 - ・常任委員
 - ・事務局
 - ・顧問
- 会員
 - ・保護者、教職員が全員加入している。

担当課：青森県教育庁生涯学習課

岩手県

宮古小学校父母と教師の会

基礎情報

所在地

岩手県宮古市横町

全校生徒数

191名

地域の特徴

岩手県三陸地域の中心地であり、漁業や商業が盛んである。港や自動車道路も整備されており、交通の要所として機能している。学校は市内中心部にあり、官公署、商店街に囲まれた賑わいのある地域である。

学校の特徴

創立151年を迎える伝統ある学校である。宮古市の中心校であり、「未来に向かって自分から」を合言葉に、復興教育を教育活動の根幹に据えた学習を展開している。三大文化「合唱」「プラスバンド」「郷土伝承」に取り組んでおり、子どもたちの主体性を大切に活動が進められている。

組織構成

父母と教師の会会長 1名

父母と教師の会 理事
副会長 2名 監事 2名 総務 3名

父母と教師の会 専門部
○教養委員会 ○環境緑化委員会
○広報委員会 ○厚生委員会
○学年委員会 ○ボランティア委員会

その他支援組織
○地域子ども会 ○学校理事

担当課：岩手県教育委員会
生涯学習文化財課

「未来に向かって自分から」～地域に支えられる学習活動の展開～

キーワード 地域学校協働活動 / コミュニティスクール / 外部人材活用

取組概要

学校と家庭、地域との協働・連携により、地域資源や人材を活かした教育活動が展開されている。また、宮古小学校が目指す「未来に向かって自分から」学ぶ児童を支える取組を充実させるため、PTAや地域の各種団体が積極的に活動へ参加している。

取組みの詳細

学校支援

「図書ボランティアおひさま」や「郷土伝承小沢獅子踊り」「ミシン学習支援」「昔あそび支援」「キャリア教育講話」など、児童の学習に係る支援について、ボランティアとして保護者が参加。住宅地、官公署、商店街など宮古市中心部の特色を生かして児童の指導にあたるなど、学習活動をPTAが支えている。



地域活性



駅前や商店街を花でいっぱいにするハンギングバスケットづくり。また、市内のイベント等に「合唱クラブ」「プラスバンドクラブ」「郷土伝承」の児童が招かれ、活躍の場を提供していただいている。いずれも多くのPTAが、作製や活動支援などのボランティアとして参加しながら、我が子と体験をともしる喜びを感じる場となっている。



復興・防災

東日本大震災、台風による大雨被害などで甚大な被害を受けた宮古市。その記憶を風化させず、未来に向かって防災について学ぶ場をPTAとして企画・運営している。隔年で行っている「ハザードウォークラリー」では市内の防災関連施設を巡り、具体的な避難行動を見直し、親子で防災について考える機会となっている。



成果

- ・地域関係者が関わることで長く続いている活動が多い。
- ・多様な技能、技術を持った保護者、地域の方の協力により、活動の中身が充実している。

課題や今後の取組み

- ・少子化に伴う新入学児童の減少。
- ・高齢化に伴う後継者の育成。
- ・持続可能な活動への見直し。

その他の取組み紹介

- ・歩け歩け運動（地域ごみ拾い）
- ・親子カラーテスター（歯科衛生）
- ・学校花壇整備（花植え）

地域・家庭・学校が一丸となって取り組むPTA活動

キーワード コミュニティ・スクール / 学校教育活動支援 / 地域・家庭・学校の連携 / 子供の健全育成

取組概要

自ら判断し、責任を持って行動できる、心豊かな子どもたちを育てる
師親会活動の実践 ～地域・家庭・学校をつなぐ役割として～

取り組みの詳細

【地域・家庭・学校で創り上げる様々な行事】
大崎八幡宮での「どんとロード八幡」の雀踊り、裸参り等にも積極的に協力・参加している。
また、仙台一中校区児童生徒善導協力会の企画運営を行い、地域・家庭・学校をつないでいる。



【生徒・保護者・地域住民対象の魅力的な講演会の企画】
令和6年度は、師親会企画による講演会を開催した。「より良い生き方」「自然と人間のつながり」をテーマに、自然写真家を招いて講演を行い、大盛況であった。



【師親会と校友会（生徒会執行部）の座談会の実施】
年に1回、座談会を開催し、テーマを設け、生徒と意見交換を行っている。生徒の意見・要望を受けて、師親会から学校運営協議会に提案し、「熟議」で「地域とともに何ができるか」をテーマに話し合っている。



【紙面に工夫を凝らした広報誌「仙台一中」の発行】
広報委員の入念な引継ぎのもと、毎年見やすく美しい紙面で、興味・関心を引く内容となっており、その完成度の高さから、令和3年度には全国PTA広報誌コンクールで日本教育新聞社社長賞を受賞した。

成果

- ・師親会が「つなぐ」ことで、地域・家庭・学校が一体化。
- ・生徒と地域との連携した行事、取組の実施。

課題や今後の取り組み

- ・地域の人的・物的資源の活用。
- ・コミュニティ・スクールとの連携・協働の強化（生徒の参加も含めて）。

その他の取り組み紹介

- ・ペーパーレス化を図り、文書の配信にアプリを活用。
- ・役員、委員、学校間の連絡や文書のデジタル化を図り、連絡用アプリやメールでやり取り。
- ・善導一斉声掛けパトロールや地区巡視への参加。環境整備作業等の実施。

基礎情報

所在地

宮城県仙台市

全校生徒数

632名

地域の特徴

仙台市のほぼ中央に位置し、南に広瀬川の清流を望み、国宝大崎八幡宮、龍宝寺に連接した高台にある。歴史的な名所旧跡や伝説に恵まれ、美しい自然に包まれた文教地域である。保護者や地域協力的であり、見守り体制も整っている。

学校の特徴

昭和22年4月1日に創立し、79年目を迎える伝統ある学校である。学校目標に「自律」「連帯」「向上」を掲げ、「確かな学力」「ゆたかな社会性」の育成を目指し、「チーム一中」として日々の教育活動に取り組んでいる。生徒は皆、切磋琢磨し、学習・部活動等において優秀な成績を収めている。

組織構成

- ◎師親会組織
- 本部役員会（会長、副会長、会計、幹事、監事、顧問）
 - 協議会（本部役員、各委員長・副委員長、学年主任、担当教諭）
 - 常置委員会（各学年委員会、広報委員会、環境育成委員会、役員候補者選考委員会）
 - 仙台一中校区児童・生徒善導協力会

※登録制の活動及び地域連携活動
（開校80周年記念式典準備委員会）

担当課：仙台市生涯学習課

地域の支援団体と連携した P T C A 活動の試み

キーワード P T C A 活動 / 協力体制 / 学校・地域への貢献 / 居場所づくり

取組概要

より魅力ある P T A 活動を行うため、外部との連携・協働をとおして、新たな P T A 活動を模索し、実践した。

取り組みの詳細

◆研修会の実施（上写真）

- ・地域のボランティア団体の取組を理解する。
- ・ P T A が地域団体と協力し、学校・地域の発展にどのように貢献できるかを考える。



◆居場所カフェの出店（中写真）

- ・文化祭において、 P T A とボランティア団体が合同で居場所カフェを開催。
- ・生徒のみならず、地域の方々にも来場いただき、盛況を博した。



◆冬の温か豚汁提供（下写真）

- ・12月に行われた全校行事に合わせて、 P T A とボランティア団体が豚汁を調理して、子供たちに振る舞った。



成果

- ・協働により P T A 役員の負担軽減につながった。
- ・学校・保護者・地域の三者間で目標をひとつにして子供たちの成長に関わることができた。
- ・継続した活動が、よりスムーズな連携につながった。

課題や今後の取り組み

- ・代替わりしていく P T A と、地域団体の継続的な連携、関係づくり。

その他の取り組み紹介

- ・保護者・教職員による登校時一声運動とマナーアップ運動、「あったかいね、ひがまつ」カード入りのティッシュ配りを実施している。
- ・ P T A 編集委員による会報（東風）を年に2回発行している。

所在地

宮城県東松島市

全校生徒数

218名

地域の特徴

東松島市は、東日本大震災で市の面積の36%が浸水という甚大な被害を受けた。奥松島や日本三大溪のひとつ、嵯峨溪などの自然環境、航空自衛隊松島基地のブルーインパルス等が有名。

学校の特徴

平成17年に、本県初の昼夜間開講型の三部制・単位制の定時制普通科高等学校として開校。「人に優しい人づくり」を教育コンセプトに教育活動を展開している。生徒は、I部（午前）、II部（午後）、III部（夜間）のいずれかに所属し、その部で必修科目を受講する。その他の選択必修科目、選択科目は、所属する部以外の部の時間帯でも受講でき、3年での卒業も可能となっている。将来を見据えて、自分だけの時間割に沿って学習していくことが大きな特徴である。

組織構成

- ・組織は、会長、副会長、幹事、会計、監事、顧問、参与、事務局長、事務局の20名程度の役員。
- ・会員は、学校に在籍する生徒の保護者等と教職員で構成され、加入率は100%である。

担当課：宮城県教育委員会
生涯学習課

ふるさとを知る・愛する・守る ～学校を核とした地域づくり～

キーワード

地域素材・外部人材活用 / ボランティア活動 / 公益／企業連携／地域連携／自助・公助・共助

取組概要

- ・地域や社会の資源等を生かしたキャリア発達を促進する取り組みの展開
- ・様々な緊急事態に対する力を育む安全教育の充実・深化
- ・公益性を考慮した取り組みの展開

取り組みの詳細

地域と連携した鮭学習

- 「日向川鮭漁業生産組合」を中心とする地域の支援のもと、豪雨災害で継続が危ぶまれた鮭学習を実施し、子どもたちが校内孵化施設で育てた鮭の稚魚を日向川に放流した。
- 食生活改善推進協議会や西荒瀬コミュニティ振興会の協力を得て、6年生が「鮭料理教室」を体験し、いのちの循環についての理解と感謝の気持ちを深めた。



自治会や行政、企業と連携した活動

- PTA総務委員会及び文化生活部は、各自治会と連携し、毎年資源回収を行っている。収益金を、市避難所や社会団体の活動で利用されている体育館の窓の網戸設置に活用した。
- PTA環境整備部が、西荒瀬コミュニティ振興会の協力を得ながら「花いっぱいフレンドリー事業」を実施し、校舎敷地内への花植え、水やり及び草取り等の整備活動を行っている。
- 市交流観光課の協力のもと、自治会や西荒瀬コミュニティ振興会、近隣企業、保護者と共に児童が「宮海クリーン作戦」の活動に参加し、海辺の清掃活動を実施した。

学校・家庭・地域と連携した緊急事態における体制づくり

- 令和6年7月末の豪雨災害の経験から、学校・家庭・地域・関係機関等から意見を募り、連携の在り方等の見直しや改善を行い、集まった意見をもとに年度内に引き渡し訓練を再度実施。酒田市で設定している「安否確認」を送信するところまでを訓練と位置づけて行った。

成果

- ・地域への理解・関心が深まると共に、様々な場面で賞賛されることで、児童の自己肯定感が高まっている。
- ・地域に支えられているということを教職員も再認識するきっかけとなっている。

課題や今後の取り組み

- ・どのような資質を育むのかという目標の共有が必要である。

その他の取り組み紹介

地域ブランドづくり学習

- ◇6学年...オリジナルおにぎりの考案と販売（地元企業「おにまる」や学年PTAの協力）
- ◇5学年...稲作体験及びオリジナルせんべいの考案と仙台でのPR活動（地元企業「酒田米菓」や学年PTAの協力）

基礎情報

所在地

山形県酒田市

全校児童数

117名

地域の特徴

酒田市の北西部に位置し、西に日本海、北に鳥海山や日向川、周囲には庄内銘産米「はえぬぎ」を生産する水田や砂丘畑、松林が広がる自然環境に恵まれた地域である。日向川を利用した鮭の孵化事業が特徴的な産業である。一方、酒田北港取囲は、工場用地が造成されている。

学校の特徴

明治7年開校、150年の歴史を持つ。日向川鮭漁業生産組合を中心とする地域人材の支援による鮭の学習、先人の努力により整えられたクロマツ林に関わる学習等、生活科や総合的な学習を中心に、豊かな自然環境をフィールドにした教育活動が長きにわたって実践されている。

組織構成

◇R6年度家庭数 94家庭

PTA本部・事務局

専門部・委員会	各学年PTA
○総務委員会	○6学年PTA
○文化生活部	○5学年PTA
○保健体育部	○4学年PTA
○広報部	○3学年PTA
○環境整備部	○2学年PTA
○母親委員会	○1学年PTA
地区評議員（10地区）	

担当課：山形県教育局
生涯教育・学習振興課

基礎情報

所在地

山形県飽海郡遊佐町

全校生徒数

70名

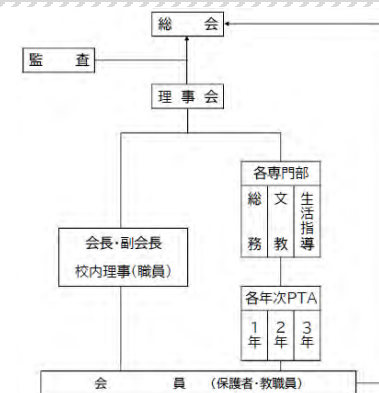
地域の特徴

山形県の北部に位置し、鳥海山や日本海に囲まれた自然豊かな町。豊富な湧水や豊かな食文化も魅力。山形県を人の横顔に見立てると、遊佐町がおでこの位置に当たることから、「山形のおでこ」とも呼ばれている。

学校の特徴

総合学科で、2年次生からは自分の興味関心に合わせた授業が選べる。地域との連携を重視し、地域資源を活用した授業や活動、長期インターンシップなどを通じて、地域に学び、地域を元気にする人材育成を目指している。

組織構成



地域を元気にする～垣根を超えた連携による取り組みでみんなで笑顔～

キーワード コミュニティ・スクール / 外部人材活用 / 入学者増加

取組概要

地域に学び、地域を元気にする、小規模校ならではの同窓会・保護者・教職員・コーディネーター・地域住民で連携・協働しながら、学校の特徴を活かした P T A 活動に取り組んでいる。

取り組みの詳細

< P T A 総会にオンラインで参加 >

県外からの入学者の保護者が参加しやすいように、P T A 総会や年次 P T A の会議はオンラインで参加してもらっている。これにより保護者間の心理的距離が縮まり連携しやすくなっている。

< オープンスクール保護者カフェ >

中学3年生・保護者向けのオープンスクールで、本校保護者と参加中学生の保護者が、飲み物を飲みながら話ができるカフェ風スペースを校内に設けた。本校保護者と中学生の保護者が実際に話をすることで不安感を解消し、入学者数増加の一助となった。



< P T A バーベキュー大会 >

P T A 主催で教職員・コーディネーター・地域住民が協働して、校庭でバーベキュー大会を行った。美味しいものを皆で調理して食べるという活動は、皆を笑顔にさせると共に、今後の人間関係を円滑に継続する源となった。



成果

- ・学校への関心度が高まった。
- ・入学者数が増加した。
- ・P T A 同士の連携が円滑になった。

課題や今後の取り組み

- ・保護者間の円滑な交流の継続。
- ・地域との連携の継続。
- ・創立100周年に向けた活動。

その他の取り組み紹介

- ・P T A 総会での「保護者と生徒で学ぶ進路講話」
- ・同窓会と連携して学校祭で餅つきを実施
- ・学校運営協議会（コミュニティスクール）への参加
- ・朝のあいさつ運動

栃木県

茂木町立逆川小学校PTA

基礎情報

所在地

栃木県芳賀郡茂木町

全校生徒数

56名

地域の特徴

茂木町の南部に位置し、八溝山地の山間地帯にあり中央部を逆川が流れ、その周囲に田畑が広がる自然豊かな環境である。また、学区内にあるミツマタ群生地は、3月から4月にかけて多くの観光客が訪れる。

教育に対する関心は高く、労力奉仕やボランティアなど、学校への協力は惜しまない。

学校の特徴

昭和62年に旧逆川小学校、小貫小学校、深沢小学校が統合し(平成18年4月には、木幡小学校と統合)、新生逆川小学校としてスタートした。

ふるさと学習における地域との連携に力を入れ、保護者や地域の方々との交流を大切にしている。開校以来、PTA、後援会、地域団体等が協力し、緑化活動に力を入れている。グリーンウォークラリー等、特色ある活動を行っている。

組織構成

(PTA)

会長	1名
副会長	2名(保護者・教職員)
幹事	4名(保護者・教職員)
監事	2名(保護者)
学年部会	5名
総務部会	6名
広報部会	6名
地区代表委員	3名

担当課：栃木県教育委員会
生涯学習課

学校・家庭・地域の連携・協働による児童の育成

キーワード 地域との連携 / 郷土愛 / 外部人材活用

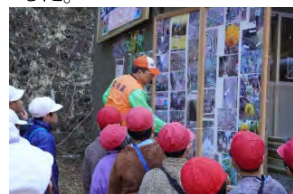
取組概要

家庭・地域がふるさと学習へ参画、地域団体との連携・協働により、児童の意欲が高まる学習支援・環境整備支援を推進している。

取り組みの詳細

【子供たちとともにふるさとを学ぶ】

- ・「ふるさと学習」の一環として、観光資源であるミツマタ群生地見学をミツマタ保全協議会と連携して行っています。児童が企画したミツマタ群生地PR看板の制作・設置の協力や、児童の「ふるさとめぐり」に参画しています。
- ・学区のシンボルともいえる焼森山登山の安全サポートとして協力しています。また、保護者の意識調査をもとに、ふるさと学習の資料「さかがわマップ」も作成しました。

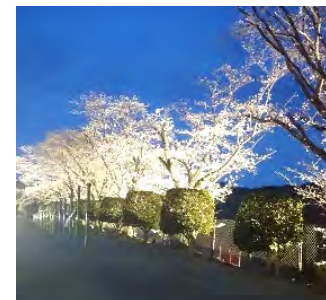


【学校環境整備支援】

- ・全児童の家庭がPTAに加入しています。奉仕活動の参加率も100%です。除草や側溝清掃、樹木の剪定を行い、5月、10月には校庭の除草や落葉掃きなどの環境整備支援を行っています。

【地域の拠点としての学校づくり】

- ・地域の拠点としての学校づくりの一環として、PTAが中心となり、桜の開花期に「逆小桜プロジェクト実行委員会」を立ち上げました。後援会の協力も得て、夜桜のライトアップを行いました。



成果

- ・PTAと地域との連携により「ふるさと学習」の活動内容が充実し、児童の興味・関心が高まった。
- ・会員数が減少する中でも、組織を見直し、保護者と学校が連携した運営を行うことができた。

課題や今後の取り組み

- ・会員数の減少に伴う、個人負担の軽減を図る取組
- ・PTAと学校が連携して、地域に貢献できる活動の企画

その他の取り組み紹介

- ・運動会等、学校行事への協力
- ・交通安全保護者の会による交通安全教室への協力、危険箇所の確認・点検、スクールガードと連携した防犯活動
- ・年2回の広報紙「やけもりが丘」の発行

焼森精神

やさしく助け合い
勉強にはげむ子
勉強にはげむ子
けんめいに働き、
進んで運動する子
ものを大切にすま子
りばなふるまを
うけつぐ子

子供たちと地域のつながりを支えるPTA活動

キーワード PTA奉仕活動 / 作業製品販売 / みんなのマルシェ / 花植え交流

取組概要

キャリア教育や地域とのつながりを深めるため、教育課程に作業学習を取り入れている高等部の生徒たちの作業製品販売学習や、学校と地域をつなぐ活動に積極的に参加、協力している。

取り組みの詳細

《 資源回収 》

桐生市再生資源回収事業に登録し、PTA奉仕作業として年3回実施。資源ゴミの活用・ゴミの減量や地域住民のコミュニケーションの場の提供を目指して地域への連携協力を行っている。

また活動後には、生徒が地域で行う作業製品販売の事前学習に客となり協力している。

《 生徒の販売学習 》

生徒が休日に、地域の「みんなのマルシェ」や桐生駅前の「えきなか市」に出店し、作業学習で栽培した苗やくるみボタン製品を販売する際に来場し、地域の方々との交流を盛り上げている。

《 花の苗植えで地域交流 》

交流及び共同学習として、高等部生徒が作業学習で栽培した花の苗を町内会の方々と一緒に地域にある花壇に植えたり、管理したりしていく活動に協賛している。

製品販売学習への協力 みんなのマルシェ 地域の方々と花の苗植え



成果

- ・本校の学習活動に対する、会員、地域の方々の理解促進につながり、PTA活動への関心も高められている。
- ・子供たちが地域の方とつながるきっかけとなっている。

課題や今後の取り組み

- ・PTA活動として共生社会の実現に向けた取組の推進。
- ・子供たちの将来につながる地域との連携の推進。

その他の取り組み紹介

- ・PTA実行委員会組織の再編成による保護者負担の軽減。
- ・情報交換の場としてPTA通信を活用。
- ・アンケートによる会員の意見集約と総意の反映。
- ・進路や福祉制度・サービスに関する勉強会や施設見学会の企画・実施。
- ・家庭での安全な介助方法等の研修会実施。

基礎情報

所在地

群馬県桐生市

全校生徒数

78名

地域の特徴

本校は、かつて「西の西陣、東の桐生」と称された桐生織で有名な桐生市にある。古くから工業・商業が栄えた一方で、渡良瀬川と山々に囲まれ、産業と自然との融和を感じる街で、子供たちはのびのびと学んでいる。

学校の特徴

群馬県唯一の小・中・高の3学部がある肢体不自由特別支援学校。児童生徒会役員を中心に学部を越えた縦割りの児童生徒会活動を積極的に行っている。
eスポーツやボッチャを授業に取り入れ、交流及び共同学習やボッチャ甲子園への挑戦等、活動の機会を広げている。

組織構成

【本部役員】

会長1名
副会長3名(含教頭1)
書記4名(含教員2)
会計3名(含事務長1)
会計監査3名(含教員1)
顧問1名(校長)

【実行委員】

学部代表・副代表6名(小中高各2)
研習部長・副部長3名(含教員1)
広報部長・副部長3名(含教員1)
文化部長・副部長3名(含教員1)

専門部(研修・広報・文化)には本部役員以外全員が所属。

担当課：群馬県教育委員会生涯学習課

子どもたちの体験格差をなくしたい！地域と共に歩むその先にあるもの

キーワード 地域学校協働活動 / アフタースクール / 参加自由型のPTA / 市との連携

取組概要

「体験格差」について考え、改善する。学校・地域・保護者のつながりを最大限に活かした、子どもたちのためのPTA企画体験プラン。教育委員会や他校とも連携し、たどり着いたのは「高州小PTA アフタースクール」！！

取り組みの詳細

高州小PTA アフタースクール

▼スケジュール▼

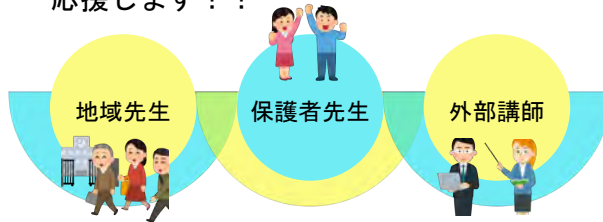
下校
↓
PTA会議室
(宿題30分)
↓
体育館
(体験60分)

◎開催日
学校施設利用が可能な日

◎参加費
無料(PTA保険あり)

子どもたちの体験格差をなくしたい
その思いが「アフタースクール」に！

放課後だけの特別な先生による、個性や創造力、自主性や社交性など、未来への力をつけるための多種多様な体験プランで、子どもたちの遊びと学びを応援します！！



放課後も安心できる居場所づくり

児童クラブの子どもたちも一緒に体験できる

時代に合わせた新しい家庭教育の場

未来を生きる力をつける多種多様な体験

成果

PTA全体を見直したことで、「学校図書館リニューアル」「SDGsプロジェクト」「アフタースクール」など、学校・地域・保護者・教育委員会・他校とも連携した活動ができるようになった。

課題や今後の取り組み

アフタースクールだけでなく、親子で地域の企業や農園などを訪問し体験できるような企画も進行中。この活動をするためのPR活動や円滑に運営するためのマニュアル作成を進めています。

その他の取り組み紹介

◎地域みんなでパトロール

PTAだけでなく、地域みんなで自転車にパトロールプレートをつけて安全活動。

◎個人情報を使用しないPTAツール

LINeworksを活用し、役員用IDを発行。問い合わせはQRコードで簡単に。

◎リサイクル&SDGsプロジェクト

ペットボトルキャップで世界の子どものワクチンを寄付しています。

所在地

埼玉県三郷市

全校生徒数

270名

地域の特徴

三郷市南部にある高州地区は、三郷市最大のみさと公園と東京都最大の水元公園に囲まれた自然豊かな地域ですが、三郷市の一番端のため、お店や病院、習い事やイベントが少ない地域。

学校の特徴

昭和44年設立。目指す学校像は「豊かな心を育み、地域とともに歩む学校」。その名のとおり、学校・地域・PTAが協力し合い、子どもたちのための活動を行っている。

組織構成

継続可能なPTAを目指し、専門委員会などをすべて休止して組織をスリム化。学校と保護者と地域をつなぐ相談窓口としてPTA事務局のみに。

【PTA事務局】

- ・会長
- ・副会長
- ・会計
- ・事務（うち数名が地区担当）
- ・監事

担当課：埼玉県教育局
教育総務部
生涯学習推進課

東京都

八王子市立ひよどり山中学校PTA

学校と生徒と保護者がつながる、学び合いの輪

キーワード 地域学校協働活動 / ジョブトーク / SPTA / 社会教育活動

取組概要

学校・生徒・保護者が連携し、相互に学びを深める機会として、「保護者によるキャリア教育授業」や「生徒と保護者の協働活動」に取り組みました。

取組みの詳細

保護者によるキャリア教育授業【ジョブトーク】

学校からの依頼を受け、毎年1回総合的な学習の時間において、「ジョブトーク」を実施している。様々な職業に就いている自校の保護者6~7名を講師とし、働くことの意義や考え方に加え、人生観・家族観なども交えた講義を行っている。

この授業は、生徒のキャリア形成の一助となるだけでなく、講師自身も人生の振り返りや今後の生き方の気づきを得られている。



生徒と保護者の協働活動【SPTA(Student+PTA)】

指導ではなく、生徒が自主性・主体性をもって学校環境をより良く変える努力をすることや、生徒の内発的な行動変革の促進にPTAが主体となって支援・協力している。この取組みを「SPTA」と呼んでおり、生徒会主体のイベントや卒業式に向けた制作などの協働活動をしている。

(例)ブックバザー・ペットボトルキャップ回収・あいさつ運動



成果

学校・生徒・保護者の三者が風通しの良い、近しい関係性を構築することができた。その結果、学校教育と社会教育の双方の面で充実した取組みとなった。

課題や今後の取組み

学校・生徒・保護者がともに活動することで「自ら愉しむ」文化を、さらなる取組みの発展につなげていく。

その他の取組み紹介

◆PTA運営適正化の取組みを進めており、その動きや仕組みを八王子市立中学校PTA連合会内の加盟校など他校へ情報提供しアドバイスすることで、他校の運営適正化を支援している。

◆近隣小学校でのイベント実施に対して、中学生の力がが必要な場合は積極的に呼びかけ、支援を依頼している。(運動会の低学年フォロー、逃走中イベントのハンター役など)

基礎情報

所在地

東京都八王子市

全校生徒数

288名

地域の特徴

八王子駅および京王八王子駅周辺の利便性と浅川や都立小宮公園などの自然の豊かさが共存した落ち着いた住環境が魅力のエリアで、国道16号や中央自動車道へのアクセスも良い。

学校の特徴

都立小宮公園に隣接し、自然豊かな環境で、総合的な学習の時間の農業体験学習を特色とする。地域と連携したコミュニティスクールとして、第十小学校との小中一貫教育にも注力している。

組織構成

会長1名・副会長7名・書記2名・会計2名・会計監査2名・相談役1名の計15名(女性9名・男性6名)。組織形態としては、「小さなPTA」を目的として、本部役員のみで組織を運営している。社会教育に関わる任意団体であることを意識して、行事やイベントの際には、その都度協力者を募集するサポーター制(任意参加制)を導入している。

担当課：東京都教育庁
地域教育支援部生涯学習課

基礎情報

所在地

新潟県新潟市

全校生徒数

346名

地域の特徴

新潟市西区にあり、住宅街に位置する。近年の開発により、新興住宅地が増え、商業施設も充実している。今なお開発がすすめられ、誰もが住みよいまちづくりがなされている。

学校の特徴

2020年4月1日児童数の増加により、大規模化した新通小学校から分離新設し、「新潟市立新通つばさ小学校」として開校した。新潟市では一番新しい学校であり、校舎も最新の設備が施されている。

組織構成

<PTA三役> 会長 1名
副会長 2名
会計監事 2名

<幹事> 2名

<会計監査> 3名

<活動係> *各学年から選出 48名

<外部活動> ふれあいスクール

<PTA事務局> *学校職員 2名

担当課：新潟県教育庁
生涯学習推進課

子どもの笑顔をみんなでつくる！わくわく・ドキドキ「つばさの日」

キーワード 地域学校協働活動 / 外部人材活用

取組概要

PTAと学校がともに知恵を出し合い、地域の未来を創る子どもたちへの期待と願いを込めて企画した新イベント「つばさの日」。子どもたちの笑顔で、保護者、卒業生、地域がつながり、年々学校を核としたネットワークが広がっている。

取組みの詳細

感染症流行により開校式典及び開校にまつわるイベントの実施が叶わなかった子どもたち。子どもたちが新設校である新通つばさ小学校を誇りに思い、子どもたちの笑顔が輝くイベントをしたいという願いから、令和5年にPTAと学校が共同で新イベント「つばさの日」を企画した。学校が中心となって企画する作品展、PTAと学校が共同で企画する学校ゆかりの方々の講演会（校歌の作詞者、校章のデザイナー）、PTA主催のおまつり縁日が3本の柱となり、つばさの日を盛り上げた。さらに、地域の方々によるワークショップやミニ演奏会、近隣の大学の学生サークルの作品展、グラウンドには近隣地域のキッチンカーも出店し、子どもたちだけでなく、保護者、地域の方々とともに楽しく過ごし、つながりを深める機会となった。

2年目となる令和6年のつばさの日には、卒業生を中心とする中学校の生徒たちも、おまつり縁日ボランティアとして参加し、PTA役員とともに活躍した。令和7年も、中学生、有志、青少年育成協議会のコラボ企画が計画されており、年々輪が広がっている。



成果

- ・ 児童、卒業生、保護者、地域が楽しみにする一大イベントに育っている。参加者も年々増加している。
- ・ PTA、学校、地域が協働してイベントを実施することでのネットワークが広がった。

課題や今後の取組み

- ・ 社会情勢に合わせて、持続可能な組織の在り方を検討していく。
- ・ 地域のつながりを更に広げ、深めていく。

その他の取組み紹介

- ・ 全校縦割り遠足「わくわくあおぞらアドベンチャー」にて、プロジェクトアドベンチャーの見守りをしたり、会場設営をしたりしている。
- ・ まちづくり協議会と連携して、中学校区4校と共同のあいさつ運動に取り組んでいる。

石川県

白山市立河内小学校PTA

家庭・地域と学校の協力による、笑顔でチャレンジするかわちっ子の育成

キーワード 地域学校協働活動 / コミュニティスクール / 子ども会 / 外部人材活用

取組概要

学校と家庭・地域が連携し、持続可能な学習支援体制を構築する。豊かな自然や伝統文化等、地域の特色を生かした教育活動を推進する。

取り組みの詳細

川遊び体験



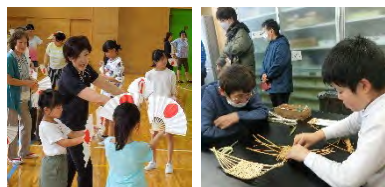
地域学校協働活動推進員のプロデュースにて、直海谷川上流の沢登り体験をした。児童への自然体験を指導している方を講師に、子ども会役員やPTA会員が児童の安全を見守り、活動を支えた。

スキー授業



地域のスキー競技経験者をコーチとして招聘し、1～2月の金曜午後にスキー授業を7回実施した。1年生にはマンツーマンで指導した。毎年実施しているため、児童のスキー技能は学年が上がるごとに上達している。

伝統文化の継承



河内地区の伝統芸能「扇踊り」を全校で踊った。扇踊り保存会メンバーが講師となり、児童やPTA会員が伝統を継承している。また、伝統工芸「こつら細工」を地域住民が児童と一緒に作ることで、郷土愛を育んでいる。

成果

- ・学校運営協議会（コミュニティスクール）との連携、コーディネーター活用が本格的に始動した。
- ・白山手取川ジオパークの特性を活かし、既存の学校の教育活動、PTA活動の連携を強化することができた。

課題や今後の取り組み

- ・新規の人材を地域と連携して育成し、活用していく。

その他の取り組み紹介



児童や保護者、教職員、河内町民が一体となって運動場の草刈りをする。長年続く地域全体での愛校活動となっている。

基礎情報

所在地

石川県白山市

全校児童数

30名

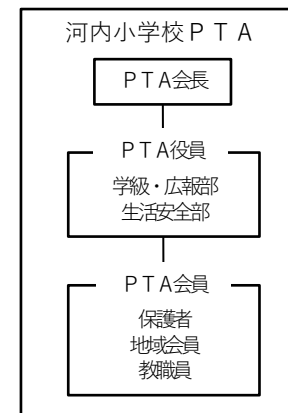
地域の特徴

白山市は、石川県の中央部に位置し、南の白山連峰から北の日本海までの県内で最も広い市である。手取川の扇状地の恵みを活かした農業が盛んである。

学校の特徴

白山に源を発する手取川の支流直海谷川流域付近の14集落よりなる複式学級の学校。令和5年に新生河内小学校として10周年を迎えた。

組織構成



担当課：石川県教育委員会
生涯学習課

『創造的復興』を目指して ～小さくてもキラリと光る穴水高校～

キーワード 地域人材／パネルディスカッション／里山里海／PTA広報誌（はぐくみ）／穴高祭

取組概要

PTAが活動の主体となって、学校・保護者・地域が連携できる協力体制の構築に努める

取り組みの詳細

地域の諸先輩による意見交換会（パネルディスカッション）

様々な分野で活躍する同窓生より、能登半島地震で体験したことや考えたことをふまえ、自身の今後の地域の将来について高校生に向けたメッセージを聴き、質問や意見を交わした。



能登半島地震後の学校祭に向けて

校舎、体育館、グラウンドなど令和6年能登半島地震により大きな損壊が見られる中、例年PTA企画として実施していた調理販売が調理室の床が傾き危険であることと、加えて水が出ないという問題に直面した。

それでもPTAの皆で意見を出し合い、あえて穴水高校で実施することを選択し、これまでになかったキッチンカーを誘致する取組を行った。

また、PTAサプライズ企画として、子どもたちに「青春応援団 我武者羅」の皆さんから復興に向けての熱いエールをいただいた。



この日は一般公開されており、隣接する仮設住宅の方も含め多くの地域住民が足を運んだ。震災で多くの人が傷を負ったが、今までにない取組によって、生徒・保護者・教職員・地域が一体となった瞬間を創り上げることができた。

成果

- ・PTAが主体となっている活動
- ・PTA、同窓会、地域の連携
- ・子どもの安心・安全に向けた教育活動

課題や今後の取り組み

まだまだ震災から復旧、復興したとは到底言えず、子どもたちと大人が共に穴水町の将来を真剣に考えながら、持続的な取組を展開していくこと。

その他の取り組み紹介

- ・里山里海講演会

「震災とこれから

～ふるさとの価値・自分の価値を知ること～

- ・PTA生活指導

「通学路安全点検」

- ・PTA広報誌

「はぐくみ」の発行



所在地

石川県鳳珠郡穴水町

全校生徒数

87名

地域の特徴

穴水町は日本海に突き出した能登半島の懐に位置し、日本海に面しており、美しい海岸線と穏やかな内海が広がります。町の周辺には緑豊かな里山が四季折々の美しさを楽しませてくれます。牡蠣の産地、能登ワイン、本校も栽培するシイタケ「のと115」など「まいもん（美味しい物）の里」がキャッチフレーズです。

学校の特徴

令和8年度に創立80周年を迎える穴水高校は自然豊かな環境の中で学習はもちろん、人間性を育み、地域との結びつきを大切にしてきました。「良識・勤勉・心身鍛錬」の校訓のもと、人としての生き方を学び、卒業後は様々な分野で活躍しています。

組織構成

石川県立穴水高等学校PTA

役員

会長 1名
副会長 4名（女性代表1名を含む）
書記 若干名
会計 2名
理事 若干名（各委員会委員長3名含む）
監事 2名

委員会

◎企画委員会 ◎生活指導委員会 ◎学習委員会

担当課：石川県教育委員会
生涯学習課

基礎情報

所在地

長野県須坂市

全校児童生徒数

257名(両校の合計)

地域の特徴

県都・長野市の東側に位置する須坂市は、米子大瀑布や千曲川などの雄大な自然に囲まれている。憩いの場である臥竜公園は校の名所として有名。シーズン中は多くの観光客で賑わっている。

学校の特徴

須坂小学校は明治六年に創立。校区にはかつて養蚕業で栄えた頃の街並みが今も残っている。小学校の隣に中学校や高校、市立図書館があり閑静な文教地区である。平成23年、須坂小学校内に須坂支援学校小学部、25年に中学部が開校した。校舎や施設を共用し、運動会などの学校行事を共催で行う他、学年学級間で交流、両校の卒や学年を超えた縦割り班での交流が盛んに行われている。小学校と支援学校の併設や市立の支援学校は県下唯一である。

組織構成

・参与(校長)	1名
・顧問	2名
・会長	1名
・副会長	5名
・監事	2名
・幹事(会計)	3名
・事務局	4名
・理事	12名
・評議員	35名

担当課：長野県教育委員会
事務局生涯学習課

インクルーシブなPTAを目指して ～異校種・異年齢・地域のつながりを大事に～

キーワード 地域学校協働活動 / コミュニティスクール / 外部人材活用

取組概要

小学校と支援学校の両校でひとつのPTAを組織して、両校の保護者、子どもたち、地域のみなさんとの連携を深めながらインクルーシブなPTA活動を目指す取り組みをしている。

取り組みの詳細

子ども・PTA・地域でつながる「くぬぎの時間体験フェスティバル」

PTA祭りに代わる行事としてPTAと学校が共催で実施した。授業では体験できないことを、地域の方を講師に迎えて教えていただいた。両校の子どもが主体的に参加できるよう多様な活動内容を準備し、3年生以上は参加したい講座を自分で選択した(全14講座)。支援学校も同様に活動できる講座を選んで参加した。(写真は2年生の土鈴づくり、3年生以上のフラワーアレンジメント)



PTA会員同士がつながるPTA作業・親睦会・PTAコーラス

PTA作業は事前に参加募集をかけ、校舎内外の整美作業を実施した。親睦会は、誰でも参加しやすいポッチャを両校のクラス対抗戦で実施した。PTAコーラスは両校合同音楽会で子どもと一緒に「ふるさと」を歌った。より多くの人が参加できるよう運営等を工夫している。



成果

活動に際してPTA・学校・地域が綿密な連絡を取り合い、「地域の子どもは地域で育てる」という須坂市の理念のもと、両校の子どもが共に主体的に参加する活動を実現することができている。

課題や今後の取り組み

今後も両校の児童生徒や地域の方々とPTAが参加できるよう、計画細部の見直しを図り、来年度へつなげていく。

その他の取り組み紹介

- ・PTA講演会(人権教育)
- ・登校時の見守り活動
- ・町別子ども会への参加
- ・資源回収
- ・PTAだより発行 など

PTAがつなぐ家庭・幼稚園・地域

キーワード

コミュニティスクール / 幼稚園・家庭・地域との連携

取組概要

豊かな子どもの育ちを願い、家庭・幼稚園・地域とつながる！

取り組みの詳細

～子どもをまんなかに人と人とのあたたかい結びつきを～

保育会主催の幼稚園なつまつり

幼稚園なつまつりでは、魚釣りや畚（ふご）おろし（くじ引きの景品が2階からかごに乗って降ろされる京都の地蔵盆の伝統行事）をはじめとする、その年度の園児たちが楽しめる遊びやコーナーを保護者が協力し、役割担当して準備をしている。祭りという伝統文化に親しみ、園内で友達と非日常を感じる機会となるよう企画・運営している。また、地域の女性会の方もお手伝いに来てくださる等、家庭・地域・園をつなぐ行事となっている。



地域の乾隆まつり

地域の乾隆まつりでは、当日までの地域の打ち合わせ会等に保育会が出席する。当日は、1つのブースを幼稚園が運営し、地域の祭りを盛り上げる。地域の思いを聞きながら子どもたちが楽しめる企画を考え、地域と園をつなぎ、園児も保護者も地域への愛着を深めている。



成果

- ・学校運営協議会や地域の自治連合会とも連携し、地域とのかかわりや協力体制が高まった。
- ・幼稚園なつまつりのイベントでは、地域の未就園児と幼稚園のつながりももてた。

課題や今後の取り組み

- ・保護者と話し合いながら柔軟なPTA活動を目指し、社会環境の変化に対応したふさわしい活動のあり方を保護者・地域・教員で知恵を出し合いながら考えていきたい。

その他の取り組み紹介

- ・保育会主催のミニバザー、譲ります会（子どもの衣類や玩具等をリユース）、茶話会
- ・講師を招いての家庭教育講座開催
- ・園内清掃
- ・未就園児クラスへの行事の取組等

基礎情報

所在地

京都府京都市上京区

全校生徒数

21名

地域の特徴

京都市の上京区に位置する。周辺は、歴史ある西陣地域の住宅地であり、近隣には釘貫地蔵がある。地域住民は園や小学校に協力的で地域活動が盛んである。隣接する乾隆小学校とは積極的に連携や交流を行っている。

学校の特徴

西陣織をはじめ伝統が受け継がれたまちにある乾隆幼稚園は、明治23年1月創立の歴史ある市立幼稚園である。伝統工芸の機織り体験ができるのは魅力の一つ。園庭にはふんだんに採れるぶどうの木があり、旬の野菜・果物にもふれあえる。悠久の歴史の中で地域の方、また隣接した小学校にもたくさんかかわっていただきながら、子どもたちは生き生きと育っている。

組織構成

乾隆幼稚園保育会の組織

会長1名 副会長2名
 会計2名 内1名は園から
 書記2名 内1名は園から
 会計監査 1名
 クラス委員 各学級 1名

担当課：京都市教育委員会
 生涯学習部
 学校地域協働推進担当

基礎情報

所在地

京都府京都市山科区

全校生徒数

296名

地域の特徴

本校のある京都市山科区は、京都市の東側にある山科盆地の北部と周辺の山地を区の範囲としており桜や紅葉などの四季折々の豊かな自然と、古くから南山城、大和、近江につながる交通の要衝の地として脈々と受け継がれてきた歴史と伝統のまちです。

学校の特徴

昭和62年に勤修中学校東分校から大宅中学校が独立、開校し、現在は名実ともに充実した1小1中の小中一貫校となっています。地域の活動としては、「向こう三軒両隣」「遠くの親戚より近くの他人」「子どもは地域のかすがい」をスローガン三本柱とし、餅つき大会や流しそうめん、グランドゴルフなど、大宅学区自治連合会をはじめ各種団体がそれぞれの分野において地域の子どもを地域全体で育てています。

組織構成

会長	1名
副会長	1名
庶務	1名
会計	1名

担当課：京都市教育委員会
生涯学習部
学校地域協働推進担当

地域・保護者とともに行う学校づくり

キーワード 地域学校協働活動 / コミュニティスクール / 外部人材活用

取組概要

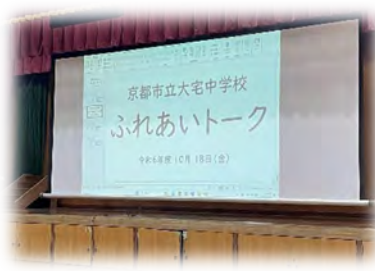
地域と連携し、PTAも積極的に関わることでより良い学びを実現する。

取組みの詳細

ふれあいトーク大宅

私たちは「子どもたちのため」という本来の目的に立ち返り、行事ではボランティア制を導入し、任意参加という形をとることで保護者の家庭環境や価値観に応じた柔軟な参加を可能にしました。一定の負担軽減を図る一方で、「ふれあいトーク」という取組は、今年から再開することを決めました。

この活動は生徒と地域の方々が様々なテーマで語り合う場であり、PTA・自治連の関係の皆様、自治体からも参加します。学校での話、大人への質問など、和気あいあいとした雰囲気の中で話し合いが進みました。最終的には、将来の夢や就きたい仕事について話し合っていました。生徒の話に大人が耳を傾け、経験や体験を踏まえた話をするすることで、上下関係だけでなく横の関係も生まれます。このような安心安全な「対話」の場を通じて、生徒たちが地域の一員としての意識を高め、地域での挨拶が増えることを期待しています。



成果

- 積極的に保護者が学校行事に関わり、教職員と保護者に一体感が生まれる。
- 卒業後も、地域の一員としての意識が高まる。地域での防犯意識の向上。
- 地域の各諸団体と連携するための基盤となるものである。

課題や今後の取組み

- 学校の教職員の負担の増加
- より参加しやすい役割分担の検討が必要である。
- 2時間程度の授業時間の確保

その他の取組み紹介

近隣学校(高校・大学)との連携

- 東稜高校 共同で避難訓練の実施
- 京都橘大学 心肺蘇生講習の受講

基礎情報

所在地

大阪府大阪市

全校生徒数

148名

地域の特徴

大阪「ミナミ」の中心に位置しており、4つの小学校が統合してできたことにより、歴史ある学校である。地域もとても協力的で、夏祭りや地域防災訓練や餅つき大会等の地域行事も盛んで、学校教育へも協力的である。

学校の特徴

教育目標を「みな、それぞれの個性と感性を磨く中で、なりたい自分となれる自分を拡大し、未来の共生社会を似合う力を育む」とし、「自己相互にエンパワーし、ちがったままお互いのもつよさを生かしあって、新しいものや価値を生み出す子ども」をめざして取り組んでいる。

組織構成

☆本部役員

会長	1名
副会長	2名
書記	1名
総務	1名
会計	1名

☆会計監査委員長 1名

☆実行委員

成人人権	1名	保健給食	1名
広報委員	1名	体育委員	1名
図書委員	1名	校外委員	1名
学年委員	各学年1名		

担当課：大阪府教育庁 市町村教育室
地域教育振興課

学校、家庭、地域社会が一体となったミナミ子どもファースト教育

キーワード 地域学校協働活動 / 地域・学校・行政との連携 / 防災体験

取組概要

学校、家庭、地域社会の3者が協働しあうことで実現する子どもファースト教育に、時代とニーズに合わせてながら取り組んだ。

取り組みの詳細

①地域防災教育

地域・区役所・消防署と連携し、「けむり体験」「段ボールベット設置」「炊き出し体験」等の体験的活動に取り組んだ。土曜参観として実施することで、保護者も参加しやすい環境を構築した。



②納涼祭

地域主催の夏祭りにPTAも協力して取り組んだ。地域・PTAで「射的」「わなげ」等を出店した。児童も保護者も夏の風物詩としてたくさん参加することができた。ラストには打ち上げ花火もあがり、大盛り上がりだった。

③風の子フェスティバル

地域主催活動にPTAも協力して、学年末に児童を遠足に連れていった。今年は「神戸須磨シーワールド」へ。参加人数は130名とたくさんの児童と保護者が参加した。来年はどこに行くのか楽しみと学校の代表的な行事の一つになっている。

成果

- ・3者が協働しあうことで、規模が大きく魅力的な行事が実現可能になる。そして、参加する保護者同士のつながりができる。

課題や今後の取り組み

- ・規模が大きな行事のため、スタッフもたくさん必要になる。協力できるスタッフが固定化されており、後世への引継ぎを強固なものにしたい。

その他の取り組み紹介

- ・PTA広報誌 年4回発行
- ・学校行事（入学式・卒業式・発表会・参観懇談会）の受付
- ・読書貸出、制服リサイクル 年2回
- ・学校行事「南こどもまつり」での出店協力

地域とともにある学校～PTAと連携した学びの場づくり～

キーワード 地域学校協働活動 / 外部人材活用 / PTA親子イベント開催 / 学校・保護者・地域の連携

取組概要

学校・PTA・地域が連携し、保護者や子どもたちに多様な学びの機会を提供。子どもたちの教育活動を支える取り組みを行っている。

取り組みの詳細

6月22日 見守り活動講習会を開催しました。

水難事故で夫を亡くされた岡 真裕美さん。「ランニングに行ってくる」と言って出かけた夫は20分後には、川で溺れている人を助けようとして亡くなったそうです。家族の[救助死]の体験談と、事故後、大学院で学ばれた事故防止の知識を講演いただきました。岡先生、ありがとうございました。



【見守り活動講習会】

水難事故で夫を亡くされた岡 真裕美さんを招いて、見守り活動講習会を開催した。学校のすぐ隣には都賀川があるため、川での身の守り方やライフジャケットの使用方法などの話に真剣に耳を傾ける保護者の方の姿が見られた。



PTA親子イベント開催!!

神戸市民交響楽団による演奏会

2024年9月21日(土)
開場13:30～
開演14:00～
終演15:00頃
西郷小学校体育館

保護者の皆さま

神戸市民交響楽団をお招きし、演奏会を開催いたします。この演奏会は、子どもたちがオーケストラ音楽に触れる貴重な機会になると信じております。皆さまにもぜひご参加いただき、一緒に素晴らしい時間を共有できれば幸いです。どうぞよろしくお願いいたします。

成果

・安心して学べる環境があることを知ってもらい、PTA活動を身近に感じてもらうことで、保護者のPTA活動への理解が深まった。

課題や今後の取り組み

・PTA活動の中には、人手不足のため継続が難しい活動もある。みんなが無理なく関われるような工夫や仕組みづくりが今後の課題と言える。

その他の取り組み紹介

・1日サポーターズという、単発で活動をサポートする仕組みづくり
・地域中学校と合同で川の清掃活動
・本部役員と健全委員による、あいさつ運動の実施

所在地

兵庫県神戸市灘区大石東町

全校生徒数

502名

地域の特徴

西郷小学校は灘区にあり、校区の南には灘五郷の一つである酒蔵がある。学校の隣には都賀川が流れており、北には六甲山系が望める。街中にありながらも、自然を感じられる地域である。

学校の特徴

1893年(明治26年)創立。今年で133年目を迎える伝統のある学校である。下町の子供らしく、元気で明るく児童が多い。地域の協力もあり、学校を支えようという思いをもってくださっている方がたくさんいる。

組織構成

- ・会長1名
- ・副会長1名
- ・会計2名
- ・庶務1名
- ・会計監査2名

担当課：兵庫県教育委員会事務局
社会教育課

「強力な協力」で「安心・安全」に、そして「感動」「感謝」につなげよう！

キーワード 地域学校協働活動 / 学校運営協議会 / 学校支援ボランティア

取組概要

子どもたちが健やかに成長し、未来にはばたくために、地域とPTAの「強力な協力」で、子どもたちの安心・安全を守り、豊かな学びと感動体験など、様々な活動に取り組んでいる。

取り組みの詳細

子どもと大人がともに感動を味わう

運動会や校内音楽会等の学校行事において、受付や記録写真の撮影等を行い、PTA広報誌「智進」において、学校やPTA活動の様子を写真を多く用いて伝えている。また、卒業式の退場時にはサプライズムービーを作成し、上映することで、児童も保護者も感動的な卒業式となった。



地域と学校の連携強化！学校支援ボランティアが大幅増

PTA、学校運営協議会、学校地域・パートナーシップ事業との連携・協働を強化することで、地域の方、保護者、学生等の学校支援ボランティアが約40名になり、大幅に増加した。

ボランティアによる学習支援例

- ・高学年：家庭科実習（ミシン実習、調理実習や菜の花の種取り・油絞）などのサポート
- ・低学年：町探検などの校外学習の引率・付き添いや図画工作の授業支援
- ・その他：苗植え、芋掘りなどの農作業支援、琴体験、園芸活動などのサポート



保護者と教員で連携協力して安心・安全

児童の安全確保と健やかな成長を見守るため、全家庭年間1回以上の立哨を行い、交通安全指導と挨拶運動を行っている。校内マラソン大会においても、立哨場所を増やし、児童の安心・安全を確保することができた。



成果

- ・行事や授業等において、安心・安全を提供することができた。
- ・写真や映像の活用で、子どもも大人も感動を共有することができた。
- ・感謝の心から校内外での挨拶も活性化した。
- ・教職員の負担軽減にもつながった。

課題や今後の取り組み

- ・創立50周年事業の企画・立案。
- ・楽しいPTA活動にするための取組。

上記の取組により、PTA活動の更なる推進と、地域との連携強化を図りたい。

その他の取り組み紹介

- ・夜間のPTA活動は学校を利用せずに、地域の公民館を利用している。
- ・通学路の点検を行っている。
- ・PTA会長が保護者代表として学校運営協議会に参加し、また授業参観時に全保護者が学校保健委員会に参加できる体制を構築している。

所在地

奈良県葛城市

全園児・児童数

222名

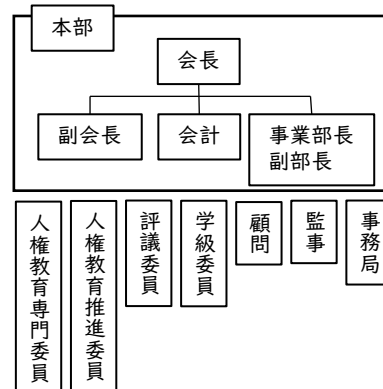
地域の特徴

本校は、奈良県の北西部、葛城山の北東の田園地帯の中に位置し、北方500mにはカルガモの親子連れがみられる調田坐一事尼古神社、西方には疋田池公園があり、生き物の観察が可能な自然もたくさん残っている地域である。

学校の特徴

本校は、1977年4月に開校し、令和8年度には創立50周年を迎える。地域の方が学校支援ボランティアにたくさん登録してくださり、学校の環境整備や授業支援をいただいている。

組織構成



担当課：奈良県立教育研究所
教育企画部社会教育係

基礎情報

所在地

岡山県真庭市

全校生徒数

105名

地域の特徴

真庭市古見地区は、市南部の盆地の一角に位置し、岡山県を南北に縦断する旭川に面した、水田の広がる地域である。日照も良く、古くから開けた場所で、学区内には弥生時代の遺跡や古墳群、中世山城の篠向城など、史跡も多い。

学校の特徴

明治7年(1874)、前身となる迦川小学校が開設されて以降、合併・分離を経て同41年に川東尋常小学校となり、高等科を併設。同44年に現在地へ移転したのち、戦時中の川東国民学校を経て昭和22年(1947)に川東小学校と改称して現在に至る。『5つの大好き「友達」「自分」「勉強」「運動」「川東』を合い言葉に、心豊かで実践力のある児童の育成をめざした学校教育活動を進めている。

組織構成

会長：1名(保護者)
副会長：3名(保護者2名、学校長)
幹事：1名(保護者)
専門部長：3名(〃)
監事：2名(〃)
書記：1名(〃)
会計：1名(〃)

・他の保護者、学校職員は役員会へ出席し、意見提出を行う。
・専門部長は広報部と保健安全部、学年委員部に保護者各6名及び教職員若干名が所属し、PTA活動や学校行事の企画運営に関わる。

地域ぐるみで子ども達の健やかな成長を支える

キーワード 地域との連携

取組概要

学校支援ボランティアと協力し、環境整備や読み聞かせを行ったり、放課後サポート事業を行うなど、地域と連携した取り組みを意欲的に行っている。

取り組みの詳細

○ 地域と連携した教育支援と環境整備

学校支援ボランティアと協力し、学校周辺の環境整備、読み聞かせ、登下校時の見守りを行っている。また、放課後サポート事業として算数の補充学習や丸付けなど、学習支援にも力を入れており、さらに、米作り支援(総合的な学習)、まちたんけん見守り(生活科)、ミシン補助(家庭科)といった各学年の学習活動もサポートしている。

○ 地域団体との協働による教育活動

地域青少年育成団体「みんなで育む川東の会」と連携し、人権教育講演会や各地区での環境保全活動を積極的に行っている。加えて、地区の自治団体や老人会と共催で子ども会活動や人権に関するミニ集会などを行い、地域全体で子どもたちを育む取り組みを進めている。



成果

- ・学校支援ボランティアと連携することで、学校と地域住民のつながりが深くなっている。
- ・子どもたちが地域住民と関わる機会を通じて、大切にされていることを感じ郷土愛の育成に資することができている。

課題や今後の取り組み

- ・会員数減少により、さらに地域との連携が必要。
- ・地域と保護者、また保護者同士が交流できる機会を設ける。

その他の取り組み紹介

- ・子どもたちの自己肯定感の向上を意識した「お手伝いがんばりカード」や「スキンシップ大作戦」といった取組を行っている。
- ・年3回の資源回収を開催。地域全戸に協力を仰ぎ、大きな収益につながっている。
- ・年3回広報誌を発行している。

担当課：岡山県教育庁生涯学習課

深まる絆と高まる関心！ P T A活動が織りなす豊かな学び！

キーワード 地域活性化 / 地域貢献 / 地域・保護者同士の信頼関係 / 教育活動の充実

取組概要

P T A活動を通じて、地域と学校（園）がWin-Winの関係を構築し、それぞれの教育力を結集して、子どもたちを育む

取り組みの詳細

地域行事で大活躍！！



地域の行事は、園児が歌や踊りを披露するなど、教育活動の成果を発表する場であるが、保護者が主体的に運営に参加することで、地域との信頼関係の構築につながっている。地域の行事では園児も保護者も大活躍である。

深まる「絆」

地域貢献を通じて育まれた信頼関係は教育活動の充実という形で還元される。



保護者の学びへの参画



子どもの成長を実感

高まる関心

地域での学びにより、子どもの成長を実感した保護者は、地域への関心を高める。



地域の資源を生かした豊かな体験活動

農業地域であること存分に生かし、「とうもろこし狩り」や「ごぼう掘り」などの体験学習も充実している。地域の協力によって実現しているものであり、子どもたちの貴重な学びの場となっている。

成果

- 豊かな自然など、地域資源の効果的活用が進み、教育活動がより充実した。
- 地域行事等への保護者の主体的な参画によって、地域活性化にもつながっている。
- 地域との信頼関係を構築し、地域全体で子どもたちを見守る体制が整っている。

課題や今後の取り組み

- 多様な家庭環境を念頭に、誰もが参加しやすい P T A 活動の環境を構築していく。
- 伝統を守りながら、時代の要請に応じた新たな P T A 活動に取り組んでいく。
- P T A 活動を通じて、地域、保護者につながりが育まれるよう、創意工夫を図っていく。

その他の取り組み紹介

- 行事ごとにアンケートを実施し、その結果を行事の内容や運営の改善に生かしている。
- 総会や役員会等を参観日と同日に開催するなど、教職員と保護者の負担軽減に努めている。
- 地元自治体が実施する研修会や講演会等に積極的に参加するなど、学びの機会を充実するとともに、地域でのネットワークづくりに努めている。
- 園が発行する「あいあい通信」や自治体広報紙を活用し、行事の様子や子どもの成長した姿を地域に向けて発信している。

所在地

徳島県名西郡石井町

全校生徒数

29名

地域の特徴

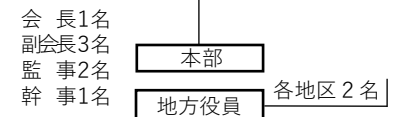
四国三郎吉野川をのぞむ、徳島県東部の石井町北部に位置し、県内屈指の畑作地域である。藍畑とはその名のとおり、古くは「藍」の産地として知られ、伝統文化財である「田中家住宅」など、豊かな歴史と自然に育まれた地域である。

学校の特徴

昭和25年に藍畑保育所として小学校に併設され、昭和31年に藍畑幼稚園となった。74年になる伝統のある幼稚園である。少人数園ならではの特長を生かし、地域全体で子どもたちの成長を見守っている。

組織構成

全保護者が加加入しており、本部役員、地方役員、会員、教職員で構成される。全保護者が家庭教育部、保体部、交通安全部に分かれて活動に取り組んでおり、相互の緊密な連携を図るとともに、小学校 P T A とも連携体制を構築している。



全ての保護者がいずれかの部に所属
※監事が部長を兼任

担当課：徳島県教育委員会生涯学習課

地域と学校を結ぶPTAの実践

キーワード 学校運営協議会／地域学校協働活動／地域の見守り活動／学校応援プロジェクト

取組概要

学校・家庭・地域が連携し、教育活動・地域交流・安全体制を通して子どもたちの成長を支え、地域を愛する心を育てている。

取り組みの詳細

地域と連携した学校運営の推進

学校運営協議会や地域学校協働本部の運営にPTA役員が担い手として参加している。会議への参加や地域活動への協力を通して、学校の教育活動に地域の声を反映する仕組みが構築されている。地域の教育力と家庭の子育て力、学校の専門性が連携し合う「三者協働」が機能している。



地域行事を通じた交流と協働

地域の行事である「うたづの町家とおひなさん」や「福祉っ子セミナー」などに積極的に参画し、地域とPTAが一体となって地域行事を盛り上げている。また、町社会福祉協議会と連携し、「学校応援プロジェクト」として募金活動を実施するなど、学校と地域が相互に支援し合う関係を築いている。

登下校時の見守りと防犯体制の強化

PTAが中心に登校班を編成し、地域住民と協力して毎朝の見守り活動を継続している。また、通学路の安全点検を定期的に行い、地域の危険箇所をまとめた「安全マップ」の作成にも取り組んでいる。子どもの安全を守るだけでなく、地域の大人たちのつながりを深める契機ともなっており、PTAを起点とした防犯ネットワークとして機能している。



成果

- 学校と地域の信頼関係が深まり、日常的な協働体制が根づいている。
- 子どもたちの社会性や地域に対する愛着が育まれている。

課題や今後の取り組み

- PTA役員への負担が大きく、活動の持続可能性に課題がある。
- 元役員にアドバイザー協力を依頼するなど、現役員の負担軽減を図る。

その他の取り組み紹介

- アンケートを実施し、子どものニーズや実態に応じた活動を企画・運営。希望の多かった逃走ゲームを実施。
- 学校生活や子どもたちの取り組みの様子を伝える広報誌を定期的な作成・発行。第34回 香川県PTA連絡協議会広報紙コンクール 小学校の部 最優秀賞受賞。

所在地

香川県綾歌郡宇多津町

全校児童数

479名

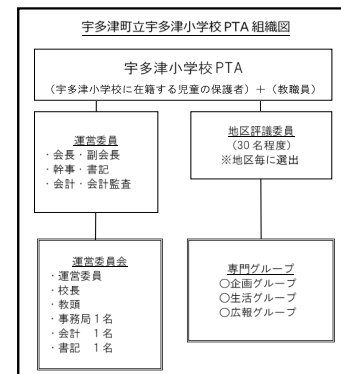
地域の特徴

宇多津町は香川県のほぼ中央に位置し、子育て支援に積極的に取り組む町である。交通の便も良く、近年は住宅地の整備が進む中で若い世代の転入も増え、地域全体に子どもを温かく見守る文化が根づいている。

学校の特徴

児童が自ら考え行動する学びを大切にしており、学級活動や委員会活動を通じて主体性や協働性を育てている。地域の清掃や福祉団体との交流などボランティア活動にも積極的に、実践的な学びが広がっている。

組織構成



担当課：香川県教育委員会
生涯学習・文化財課

基礎情報

所在地

福岡県福岡市（南区）

全校生徒数

1,073名

地域の特徴

福岡県立柏陵高等学校が位置する福岡市南区は、令和7年5月現在で人口約26万人、区域の南側で春日市及び翔岡川市と境を接しています。本校の周辺は1980年代以降開発された住宅地で、油山及び片縄山の北麓に位置する緑豊かな地域です。

学校の特徴

中学校卒業者の急増に対応するため昭和58年（1983年）4月に開校した福岡県内では比較的新しい全日制普通科高校です。平成9年4月から環境科学コースを設置し地域と連携した環境教育を推進しています。部活動が活発で、アーチェリー部は全国大会常連校、水球部、フェンシング部等も優秀な実績を重ねています。

組織構成

・ 会長 1名
・ 副会長 3名
・ 書記 2名
・ 会計 2名

・ 学年委員 6名
・ 広報委員 5名
・ 研修委員 5名
・ 会計監査 2名

※ その他校長が役員として参画

担当課：(福岡県教育庁
教育振興部社会教育課)

■ 結ぶ。語る。高める。PTAがハブとなり地域、生徒、学校をサポート

キーワード 他団体との連携 / 主体的なPTA活動 /

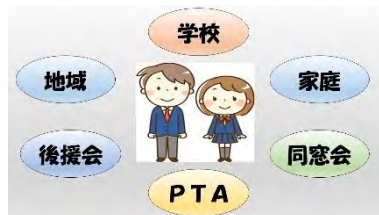
取組概要

様々な学校関係団体と連携し、教育環境の充実を図る活動の推進
地域と学校の相互理解を促進する活動の推進

取組みの詳細

◆ 後援会、同窓会等との連携

後援会（保護者、PTAのOB・OG及びその他関係者で構成）、同窓会、学校と組織する「四者協議」において学校運営に関する意見交換を行い、様々な面で教育環境の整備をサポート



◆ 登下校時の見守り活動

学校から住宅地に沿って下っていく通称「柏陵坂」において、自転車を漕がずに歩くルールを定着させ、地域の方々と生徒の安全をサポート



◆ 県内を中心とした大学見学

保護者間の情報交換を活発にし、大学における研究及び授業の現状と課題への理解を深めることで、生徒の進路実現をサポート



成果

- ・ 部活動に必要な物品等の充実
- ・ 自転車通学安全モデル校に指定
- ・ 大学進学後の具体像をイメージ

課題や今後の取組み

- ・ 業務過多と日程調整の困難化
- ・ 継続的な取組とするための工夫
- ・ 入試制度の変化への意識変革

その他の取組み紹介

- ・ 文化祭での食バザー出店
- ・ PTA総会のWeb発信型開催
- ・ 合格者説明時に会長から活動を説明
- ・ 保護者が主体的に役員会を運営
- ・ 保護者が取材してPTA会報を発行
- ・ 積極的に全国大会等に参加

ふるさと愛する 光の子の育成～地域の特色・人材を活かした地域学校協働活動～

キーワード 学社連携 / 地域の環境及び人材バンクの活用（「光の子応援隊」） / 地域学習を発信

取組概要

「浜小でよかった」「浜小の校区でよかった」ことを児童・保護者・地域・職員が実感できるよう連携・協力し、一般的な活動に加えて、浜小だからこその特色ある活動をしている。

取り組みの詳細

【ロードレース大会】：地域主催
「浜地区子ども会連絡協議会」の主催で全児童が出場する大会。土曜日の開催で公民館職員やPTAで安全管理や運営を担当。多くの地域住民の方も沿道で応援された。

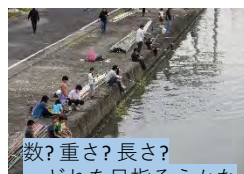
【はぜつり大会】：PTA主催
箒や表彰の準備から当日の運営までPTA主催で、休日に開催。児童及び教職員は任意の参加、親子で楽しみにしている家庭が多い。

【凧作り・凧あげ】：PTA親子行事
地区老人会や公民館職員を講師として1年生親子で凧を製作。後日、潮風の吹く浜川河口で行う「親子凧あげ大会」でも指導。風によって舞い上がる凧に親子で歓声があがる。

【酒蔵通りのまちなみガイド】：4年生総合
「肥前浜宿水とまちなみの会」の方の案内で、国の伝統的建造物群に指定されている地区や酒蔵について訪問して学習し、「秋の蔵々まつり」で児童が観光客の方にまちなみガイドを実施。4年生保護者が見守りや応援を行った。



声援を受けてゴール！



数？重さ？長さ？
どれを目指そうかな



バランスのコツを伝授



酒蔵の太い柱に驚き！

成果

学校評価において「浜が好き」と回答した児童は92%、「学校は浜への愛情と理解を深める活動に積極的である」と回答した保護者は100%であった。この結果から、学校の教育活動により、子ども、保護者、地域の笑顔づくりに貢献できていると、職員が自信を深めている。また、人権集会等の学校行事にも地域の方に協力いただき、連携の成果が、直接児童の指導にも生かされている。

課題や今後の取り組み

PTA役員は1年で交代のため、活動については前年度の踏襲になりがちである。また「光の子応援隊」会員の高齢化に伴い、新たな会員の発掘が必要である。活動を見直し、アップグレードしていく必要がある。

その他の取り組み紹介

【光の子見守り隊】 集団下校において全家庭から保護者が1回は参加し、通学路危険箇所や「子ども110番の家」の確認を兼ねて一緒に歩いて下校。

【光の子応援隊】 ものづくりマイスターによる自画像銅版レリーフ制作指導（6年生卒業制作）、木彫彫刻師による浮立制作・地元面浮立保存会による面浮立の指導、日本伝統工芸展入賞者による絵画指導等、43名登録の人材バンクを活用。

【150周年記念事業】 直近3年間のPTA会長が実行委員長等として立案・運営に携わる。二次元コードを使って川柳・俳句を募集。地域・卒業生など全国から55句が集まった。思い出ムービーは親子三世代に渡る写真や学校の歴史を振り返る内容で作成。また、2年前から150周年記念シャツをPTAで販売し、記念事業運営資金として活用。

所在地

佐賀県鹿島市

全校生徒数

127名

地域の特徴

本校学区は、鹿島市の南東部に位置し、東は有明海に面している。古来酒造業が盛んで、県外・海外にも出荷され、学校近くの「酒蔵通り」へは多くの観光客が訪れる。児童・生徒を「ふるさとの宝」として見守り、学校への協力を惜しまない地域である。

学校の特徴

本校は、令和7年に創立150周年を迎えた歴史と伝統ある学校である。全家庭がPTAに加入しており、授業参観や学校行事への参加率が高い。地域住民や関係団体と連携しながら、地域や人材を活用した様々な活動を行っている。

組織構成

【本部役員】 10名
会長1名、副会長3名、専門部長3名、渉外1名、庶務・会計1名、地区代表委員長1名

【専門部役員】
父親部・広報部・母親部 各3名

【地区委員長会】
8地区 各1名
※地区からそれぞれ選出

【学級役員】 18名（専門部役員を兼ねる）
6学級 各3名
※前年度の役員候補者推薦委員会で選出し、4月のPTA総会で決定

担当課：佐賀県教育委員会
事務局学校教育課

地域や保護者、学校が一丸となって生徒をサポート

キーワード 地域学校協働活動 / 学校教育支援 / 広報活動

取組概要

- ・文化祭、マラソン大会で出店を行い、生徒へ笑顔をお届け
- ・卒業前の生徒へ応援の思いを込めて、ぼたもちを提供
- ・学校活動や後援会活動取材し、広報誌に掲載

取り組みの詳細

〈文化祭、マラソン大会での企画出店〉

文化祭では、400食に及ぶカレーライス調理、販売している。また、マラソン大会では肉うどんを調理し、全校生徒、全教職員に提供している。20年以上継続している取り組みで、多くの保護者の協力により運営している。



〈卒業激励会〉

3年生を対象とし、最終登校日に激励会を実施している。激励会では、ぼた餅を調理して心を込めてふるまい、3年生一人ひとりの門出を祝うとともに卒業後の活躍を応援する会となっている。



〈後援会だより『まつなみ』の作成〉

年2回発行している『まつなみ』では、県高P連総会や、研修、各大会に参加して学んだことを全会員に周知すると共に、学校祭や部活動での生徒の活躍を伝えるものとして、写真を多数取り入れたり、構成を工夫したりして作成している。



成果

・学校行事の取り組みを通して、学校での生徒の様子を知る機会となると共に、会員同士のコミュニケーションの場となっている。

・生徒の間近で学校行事の取り組みを行い、一緒に盛上げていくことで、社会性や協調性、協働性について考えたり、様々な大人に支えられていることに気づいたりするなど、生徒にとって多面的な学びの機会となっている。

課題や今後の取り組み

・文化祭やマラソン大会、激励会などの活動をより活発に行っていく計画を立てている。代議員だけでなく、会員にも多く参加してもらえたい。

その他の取り組み紹介

・過去には、文化祭の企画としてバザーを実施したこともある。行事の時期や、企画運営の状況等により、年度ごとに可能な取り組みを検討し、柔軟に対応できるようにしている。

・進路講演会や、近隣地域の企業訪問研修会を実施している。

・工業高校ならではの「ものづくり」を活かして、田畑水路の水車復元制作、通学JR駅の看板補修などを行い、材料費の一部や交通費を援助をしている。

所在地

佐賀県唐津市石志字中ノ尾3072-1

全校生徒数

407名

地域の特徴

霧差山麓の、なだらかな丘陵地と田園風景が広がる自然豊かな地域である。工業が盛んであり、「唐津焼」をはじめ、ユネスコ無形文化遺産に登録された「唐津くんち」などの文化も根付く、産業と伝統が調和した活気あふれる町である。

学校の特徴

機械・電気・土木・建築の4学科を設置している。「起て・察よ・邁力」を校訓とし、実習を重視した教育で、様々な資格取得を支援しており、技術と人間力を兼ね備え、地域の産業を支える人材の育成を目指している。

組織構成

会長1名、副会長3名、幹事4名、前年度会長が務める顧問1名による計9名を執行部とし、活動の企画運営を行っている。また、各クラスから2名ずつ選出されたクラス委員を執行部に加え、代議員を構成し、学校行事における取り組みや企画を盛り上げられるよう連携に努めている。

担当課：佐賀県教育委員会
事務局学校教育課

基礎情報

所在地

長崎県長崎市

全校生徒数

313名

地域の特徴

本校は、長崎市北部に位置し、住宅や市営団地等が多くある地域で、近隣にも幼保小中の教育機関や公民館等の社会教育施設がある人口密集地である。多世代の住民がおり、子どもの健全育成に熱心に関わる地域環境がある。

学校の特徴

本校は、昭和45年開設である。「北風のように強くたくましく、太陽のように明るくあたたかく」を学校教育目標として、全児童教職員をはじめ保護者・地域が一体となって連携・協働するコミュニティスクールに移行し、地域学校協働活動の充実を図っているところである。

組織構成

執行部

(会長・副会長・庶務・会計)※立候補

専門部

広報部

※立候補

・広報誌発行
(取材・制作・印刷)
・広報誌コンクール応募

生活指導部

※2人/学年

・朝の見守り
・校外巡視
(4回/年)
・たより発行

保健体育文化部

※4人/学年

・運動会サポート、家庭教育学級企画 etc
・地域祭りの出店、地域行事サポート etc

育友会は地域の応援団、地域は子どもと保護者の応援団!

キーワード

地域学校協働活動 / コミュニティスクール / 青少年健全育成協議会 / 地域コミュニティ連絡協議会 など

取組概要

充実した地域行事と連携・協働して子どもを育む育友会活動

～学校をプラットフォームにし、地域の社会教育関係機関と連携した取組～

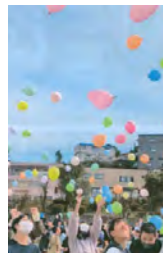
取り組みの詳細

【地域と連携したまつり・イベントへの参画・参加】

(北陽夏まつり・滑石地区ふれあいセンターまつり・北陽ホクホクまつり、etc)



- ・イベントでの進行やスタッフとしての活動の手伝い
(巨大段ボール迷路、防災体験教室、健康づくりetc)
- ・出店による楽しい活動の提供
(射的、くじ引き、ドリンク早飲みetc)
- ・ステージ出演の際の育友会活動の周知
- ・餅つき企画やうどん、豚汁の仕出し、蒸かし芋等のふるまい
- ・デイキャンプでの食事作りの見守り
- ・卒業生の思い出づくりのための全校児童によるバルーンリリースのお世話



【こども食堂&学習会】



- ・夏休み等の期間を活用してのこども食堂での食事づくり(学校の家庭科室)の手伝い
- ・自分で片付けまで行う際の見守り
- ・学校の図書室を活用しての学習の見守り(夏休みの課題、読書活動etc)
- ・大学生のボランティア等の人材との連携



成果

- ・子どもたちへの多様な学びの場や体験活動の提供が充実した。
- ・活動に参加した会員の資質やスキル、意識が高まった。
- ・参画参加した大人のつながりが深まった。

課題や今後の取り組み

- ・持続可能な取組にするための体制の簡素化等の工夫改善。
- ・次世代の活動の担い手づくり、人材育成。
- ・役員担当の負担減や取組の見直しを通しての育友会組織の再構築。

その他の取り組み紹介

- ・年末の親子門松づくり。
 - ・ながさきファミリープログラムによる会員の学びと対話の場の設定。
 - ・1年生時の交通安全教室の企画。(学校や警察関係と連携)
- ※青少年育成協議会や校区コミュニティ連絡協議会、公民館等の社会教育関連機関との連携・協働による取組の充実を図る。

担当課：長崎県教育庁生涯学習課

学校や地域とともに子供たちの郷土愛を育む育友会活動

キーワード コミュニティスクール

取組概要

地域のイベントに子供たちとともに参画し、地域の担い手としての態度を率先垂範することにより、持続可能な地域づくりに貢献するとともに、子供たちの郷土愛を育む。

取組みの詳細

「牛深ハイヤ祭り」への参画

地域最大のイベントとして毎年4月に開催される「牛深ハイヤ祭り」に、全校生徒・職員・育友会をあげて参画した。

かつて、祭りのメインである「道中総踊り」には、約5,500人もの参加者があったが、コロナ禍の影響もあり、令和6年度は約1,200人へと落ち込んでいた。

そこで、イベントの活性化やイベントを持続可能なものとするための未来の担い手づくりなどをねらいに、まずは保護者が率先垂範して祭りに参画する姿を示すこととした。

令和7年度の祭りに向けて、道中総踊りへの保護者の参加者を募るとともに、参加団体を先導する「花車」を制作した。

花車制作には、令和6年度卒業生と令和7年度新入生も関わるよう工夫した。そして、祭りの表彰式では、花車部門で最優秀賞を受賞することができた。また、令和6年度熊本県公立高等学校PTA活動実践発表大会において、育友会の取組が最優秀賞を獲得し、県代表として九州地区大会で発表することとなった。



成果

- ・地域イベント等にボランティアとして協力する生徒の増加。
- ・高校卒業後、地元就職を志望する生徒の増加。

課題や今後の取組み

- ・小中学校のPTA等との連携。
- ・高校の生徒募集への協力。
- ・地域活性化に向けた更なる協力。

その他の取組み紹介

- ・「新生活応援ブック」発行
就職や進学のため親元を離れる卒業生に向けて、新生活の指針となる内容を盛り込んだハンドブックを贈る。



- ・「育友会会長講話」実施
生徒会主催の全校朝礼で、保護者代表として育友会会長が講話を行った。

所在地

熊本県天草市

全校生徒数

97名

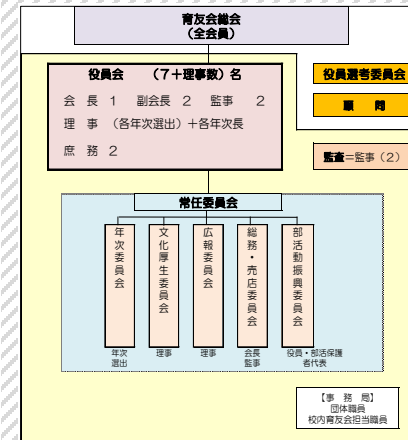
地域の特徴

天草下島の最南端に位置し、美しい海に代表される豊かな自然環境が残っている。県内最大の漁業基地を抱えており、江戸時代から受け継がれる「牛深ハイヤ祭り」は、地域住民のアイデンティティの源として心の絆となっている。

学校の特徴

県立高等学校再編整備等後期実施計画に基づき、旧牛深高等学校と河浦高等学校（普通科）の再編・統合により、県内唯一の単位制普通総合学科高校として平成27年4月に開校。令和7年度には創立10周年記念行事を実施。

組織構成



担当課：熊本県教育委員会
社会教育課

地域とともに学校と保護者が力を合わせ「こどもまんなか」教育を推進

キーワード

地域学校協働活動 / コミュニティスクール / 学校教育支援 / P T A 活動 / 外部人材活用

取組概要

「こどもまんなか」との想いで、子供をど真ん中に見据えた支援を行っている。創立40周年を迎えるにあたり、宇土東小をもっと輝かせるため、P T A と学校、地域が連携して更なる発展を目指している。

取り組みの詳細

(1) P T A 活動の連携づくり

P T A 役員会では先生を交えて意見交換や運営について協議を行い、学校との情報共有を図っている。各委員会では、LINE グループを活用した保護者間の円滑なコミュニケーションと迅速な対応が実現できた。



(2) 児童主体の学校行事

児童会が中心となって親子奉仕作業を企画・運営し、P T A と学校が連携して子供たちの自主性を育む活動を実施した。P T A 主催のしめ縄づくりでは地域の方々と子供たちが交流し、地域とのつながりをつくったり、感謝の心を育んだりすることができた。



(3) 学校と保護者との連携

P T A は、授業見回りや学校開放日を通じて、保護者が日常的に学校と関わる機会をつくり、開かれた学校づくりと子供たちの見守りを実現している。また、学校の課題に対して、P T A が支援・協力し、保護者と学校の橋渡し役として連携強化と学校活性化に貢献している。



(4) P T A 行事の復活

コロナ禍で中止されていた「夜のお話会」や「ふれあい餅つき」を復活させた。各委員会の工夫や地域との連携により、多くの参加者を迎えて大成功を収めた。年間の行事を通じて保護者同士の交流が深まり、P T A 活動への前向きな関わりや信頼関係の構築が進んでいる。今後も学校・保護者・地域が一体となり子供たちの育成に取り組んでいく。



成果

- ・組織的な運営の実現と共同参画。
- ・地域との連携強化による開かれた学校づくり。
- ・子供と親が共に成長できる行事の開催。

課題や今後の取り組み

- 課題・P T A 活動の継続と発展。
- ・少子化に伴うP T A 会員の減少。
- 改善・P T A 活動の改善と地域や外部機関との連携強化。

その他の取り組み紹介

- ・朝の読み聞かせを通じた本と人のつながりづくり。
- ・読書週間による読書力UPイベント開催。
- ・広報誌の発行（年3回で学校PR）。
- ・学校運営協議会を通じた地域との連携。
- ・39運動（創立40周年に向けてのPR活動）。

基礎情報

所在地

熊本県宇土市

全校生徒数

261名

地域の特徴

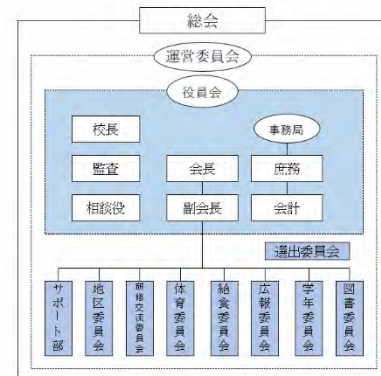
熊本県の中央に位置しており、宇土東小学校周辺は、交通アクセスに優れた住宅地で、田園風景が広がる自然豊かな環境がある。公園や公共施設が整備されており、安全面にも配慮された、子育てしやすい落ち着いた地域である。

学校の特徴

来年初40周年を迎える小学校で、地域との連携を重視した教育活動が特徴である。開放的な校舎設計により、自然と調和した学びの空間が広がり、少人数授業や多様な教育スタイルに対応しており活気がある。

組織構成

宇土東小学校PTAの組織図



担当課：熊本県教育委員会
社会教育課

郷土に誇りを～地域と連携したふれあい達志塾～

キーワード 地域学校協働活動 / コミュニティスクール / 外部人材活用 / ふれあい活動 / 郷土教育

取組概要

「湯田校区子どもを育てる会」とPTAが連携して行う年2回の『ふれあい達志塾』を中心としたコミュニティスクールの推進

取り組みの詳細

○ 「湯田校区子どもを育てる会」による『ふれあい達志塾』

夏と冬の年2回企画し「湯田校区子どもを育てる会」に所属する地域住民約40名を指導者に子供たちの体験活動を実施している。

夏のふれあい達志塾 <7つの塾を開催、参加者120名>



水鉄砲作り

川遊び

手芸細工

昔のおやつ作り

冬のふれあい達志塾 <8つの塾を開催、参加者127名>



湯の町温泉体験

将棋

正月飾り作り

カルタ・ウクレレ遊び

本会は、令和6年度で、創立25周年を迎え、コミュニティスクールの推進に一役を担っている。

成果

- ・ 地域の方々と触れ合いながら、普段できない体験活動ができ、教育的風土が醸成されている。
- ・ 登下校の見守りや学校の教育活動への協力でも連携を図りやすい雰囲気を作られている。

課題や今後の取り組み

- ・ 「子どもを育てる会」の会員の高齢化に伴う退会が目立つ。新規会員を募集し、持続可能な会の継続を目指していく。
- ・ ちち親倶楽部(おやじの会)の要望で、次回の達志塾では門松作りの体験活動を実施予定である。

その他の取り組み紹介

- ・ デジタル技術を活用した負担軽減のための工夫改善
- ・ メディアとの付き合い方や睡眠時間の確保について考える学校保健委員会による学級対抗「ナインオフレース」の実施

所在地

鹿児島県日置市

全校生徒数

224名

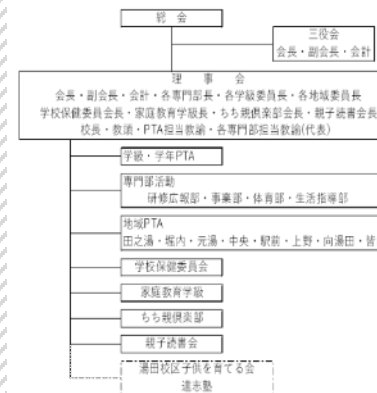
地域の特徴

日置市(旧東市来町)の西端に位置し、校区には、昔から湯治場として有名な「湯之元温泉」や「ヤッコソウ」の自生地「稲荷神社」を有し、交通の便にも恵まれている。創立25周年を迎えた「湯田校区子どもを育てる会」には、多くの地域住民が参加し、児童の健全育成に取り組んでいる。


学校の特徴

本校は、JR湯之元駅近くの閑静な住宅地に位置し、温泉地湯之元を中心に湯田地区と皆田地区で構成されている。郷土の教育的風土、創立155周年の伝統を生かし、コミュニティスクールとして、保護者や地域と共に子供を育てる開かれた学校づくりを推進している。(国格ある教育の推進)

組織構成



担当課：(鹿児島県教育庁社会教育課)



テーマカテゴリー

学びに関する活動

主体的、対話的で深いPTA活動～会員同士が学び合う取組～



キーワード 各種研修・広報活動 / 持続可能な取組 / 協働 / 学び合い

開校40周年記念
南幌養護学校スクールキャラクター
こんぼろちゃん

取組概要

PTA役員を中心に研修会の企画運営や学校環境の整備に関する活動、給食試食会を行っている。また、年2回のPTA会報誌発行、ホームページ等でのPTA活動の様子の発信を行っている。

取り組みの詳細



＜冬囲い外し、窓ガラス清掃：厚生部＞
校地内にたくさんある木々の冬囲い外しと冬期間の風雪で汚れた窓の清掃を行った。体を動かしたあとは茶話会を開催し、共に汗をかいた者同士での交流の場を設け、深い学び合いの場となった。

＜PTA学習会：研修部＞
校区を大きく2つに分けて、2回実施。「卒業後の進路決定に向けて、小中高各時期に何をしてきたか」「卒業後、その後の生活」をテーマに、経験談を聞いて、情報交流を行い、学びを深めた。



＜PTA給食試食会：研修部＞
栄養教諭から、学校給食の目標や食育、本校の給食について説明後、実食。子供たちが食べている給食を、初めて食べてみて「おいしい」「子供たちがうらやましい」などの声があがっていた。

＜PTA会報誌「いなほ」年2回：広報部＞
年2回、夏と冬に発行した。今年度着任した教職員や学級担任からの学級紹介、PTA役員、PTA活動の紹介やPTA行事の様子の紹介、卒業生保護者からのメッセージなどの情報を取り上げ、発信した。



成果

- PTA学習会は保護者にとって、先輩保護者との質疑をとおして、見通しをつつことや、自分の事として考えることができる貴重な機会となった。
- 広報誌による書面での情報提供や給食試食会などの様々な情報交換の場をとおして、会員同士の親睦や、学びを深められる機会となっている。

課題や今後の取り組み

- 共働きの家庭や、遠方から参加する家庭も多く、役員のなり手不足や役員会の参加が難しいという課題があるが、これまでの活動を継続していけるよう、工夫して取り組んでいきたい。
- 学習会や各種PTA行事の推進について、ICTの活用をさらに進め、参加のしやすさなどを目標とした取組を進めていきたい。

その他の取り組み紹介

- ウェブベルマークの取組。
- 事前にアンケートで様々な観点から疑問や質問などを収集し、Q&A形式で回答を記載する、紙面での学習会を実施。

基礎情報

所在地

北海道空知郡南幌町

全校児童生徒数

156名

地域の特徴

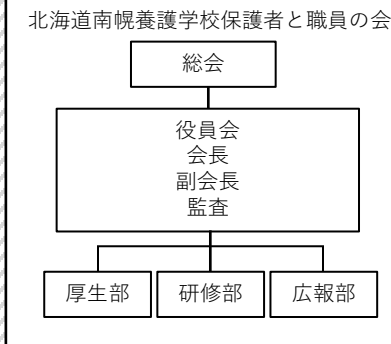
南幌町は、水稻を中心とした農業が基幹産業で、小麦、豆類、キャベツやトウモロコシなどの生産が盛んである。

札幌や新千歳空港からのアクセスも良好で、令和5、6年度と2年連続で人口増加率が日本一となっている。

学校の特徴

「健康・協力・努力」を校訓とし、昭和60年に開校した知的障がいのある生徒を対象とした特別支援学校である。生徒一人一人の発達の状態や障がいの特性、課題等を踏まえ、そのもてる能力や可能性を最大限に伸ばし、将来につながる基礎的・基本的な力を身に付けることを目標としている。令和6年度で開校40周年を迎えた。

組織構成



担当課：北海道教育庁
生涯学習推進局
社会教育課

会員の学びを高める校内三行詩コンクール

キーワード

学校教育支援 / 家庭教育支援 / 楽しい子育て / 三行詩コンクール /

取組概要

日本 P T A 全国協議会が行っている三行詩コンクールに、「ゆりっこ推進委員会」が中心となって参加している。家庭の協力の下、全児童が応募するとともに、全 P T A 会員で審査を行い、優秀作品を表彰している。

取り組みの詳細

○ 「ゆりっこ推進委員会」による運営

前年度の会長（P T A 会長は毎年 5 年生の保護者が担うため、現 6 年生の保護者）が中心となり、今年度の P T A 三役が常任委員として加わり「ゆりっこ推進委員会」を組織している。校内三行詩コンクールは、この「ゆりっこ推進委員会」が運営している。

○ 校内三行詩コンクールの詳細

年度当初に募集がある「楽しい子育て全国キャンペーン」三行詩コンクールに、家族と児童とが一緒に考えた作品を、全児童分応募する。全作品を一覧にまとめたものを各家庭に配付して紹介し、各学年から 1 作品ずつ選んで投票してもらっている。全ての投票をゆりっこ推進委員会で集計し、各学年の優秀賞を選出している。他に、特別賞として、P T A 会長賞、校長賞、ゆりっこ推進委員長賞を選出し、P T A 授業参観時に合わせて表彰を行っている。



成果

- ・三行詩作りや作品鑑賞をととして、家族の絆や基本的な生活習慣作りなどを考える契機となっている。
- ・子どもや家庭の取り組みについて知る機会となっており、子どもにも大人にも学びの多い取組となっている。

課題や今後の取り組み

- ・コンクール審査の投票を、紙媒体に頼らないオンライン形式での投票を実施。
- ・マンネリ化を避け、新たな試みを企画・協議する場や機会の検討

その他の取り組み紹介

- ・危険箇所への看板設置と街頭指導の実施
- ・マラソン大会における交通係の配置
- ・早朝草刈りや窓拭き等奉仕作業の実施
- ・開校 20 周年記念事業式典の実施
- ・開校 20 周年記念誌の発行
- ・長期休業中の「返事・あいさつ・後始末運動カード」による生活習慣の意識付け

所在地

秋田県由利本荘市

全校生徒数

144名

地域の特徴

由利本荘市のほぼ中央に位置し、田園風景が広がる。秀嶺鳥海山、悠久の時を経て流れる子吉川、四季折々の美を織りなす野山など、眺望に優れ、豊かな自然環境に恵まれている。

学校の特徴

旧西滝沢小、旧前郷小、旧鮎川小の 3 校が統合され、平成 16 年 4 月に開校した。新校舎は、木のぬくもりと明るさに満ち、子どもたちに夢や希望、生きる喜びを抱かせる空間作りがなされ、快適な学校生活に寄与している。

組織構成

P T A 役員組織一覧 (P 会員数 106 名)

- 会長・・・1 名 (5 年生から)
- 副会長・・・2 名 (4 年生から)
- 監事・・・3 名 (5 年生から)
- 顧問・・・1 名 (校長)
- 幹事・・・2 名 (教頭・教務)
- 総務部・・・8 名 (教諭 2 名)
- 文化部・・・8 名 (教諭 3 名)
- 保体整備部・・・8 名 (教諭 3 名)
- 校外指導部・・・4 名 (教諭 3 名)
- 学年委員・・・各学年 4 名
- ゆりっこ推進委員 (前会長・常任委員)

担当課：秋田県教育庁
生涯学習課

こども園・保護者で子どもたちの「楽しい！」をいっぱい！

キーワード

会員同士の学び/会員同士の交流/制服リサイクル/ものづくり体験/

取組概要

「父母の会バザー」や「廃品回収」などの取組を通して、子どもたちの「楽しい！」を引き出すとともに、会員同士の学びや繋がりを生み出す活動を行っている。

取り組みの詳細

【父母の会バザー】

- ・父母の会で最も大きな行事である父母の会バザーでは、手作り品の販売や体験コーナーを設け、子どもたちを楽しませている。
- ・会員がそれぞれ得意なことを生かしながら、一人一役を担って企画・運営に当たっている。
- ・リユースを推進するため、販売コーナーではおさがりの服や制服の出品を募っている。
- ・準備から当日の運営、片付けまでみんなで行うことで、会員同士のつながりが生まれ、相互の信頼関係を築くことにもつながっている。

【廃品回収】

- ・廃品回収を行うことによって、会員も子どももリサイクルやリユースについての考えを深め、各家庭において環境を大切にする意識を育てることにつながっている。



成果

- ・できるところの協力をよびかけたため、準備も早く、親同士の繋がりも見られ、楽しく作業することができた。

課題や今後の取り組み

- ・共働き家庭が多いため、協力できる人が、協力できる時に参加できるように体制を作っていくこと。

その他の取り組み紹介

- ・幼保小の連携による防災訓練やメディアコントロールへの取組。
- ・クリスマス会「聖誕劇」のコーラスへの参加。

所在地

秋田県大館市

全校生徒数

102名

地域の特徴

大館市は秋田県北部の経済・文化活動の中心地である。かつては鉱山の町として栄えた。伝統工芸品の「曲げわっぱ」や郷土料理「きりたんぼ」、忠犬ハチ公で有名な「秋田犬」の本場として知られている。

学校の特徴

昭和32年「宗教法人大館カトリック幼稚園」として開園。平成31年に「大館カトリックこども園」と園名を変更。キリスト教の精神に基づき、命を大切に、感謝の心、正しい心を育み、子ども達もつ一人一人の力を認め、導き、子どもが自ら生きていく力の基礎を作っていくことを目的としている。

組織構成

- ・会長・・・・・・・・・・1名
- ・執行役員・・・・・・・・2名
- ・会計・・・・・・・・・・1名
- ・会計監査・・・・・・・・1名
- ・幹事・・・・・・・・各クラス2名以上

担当課：秋田県教育庁
生涯学習課

生徒・教員・保護者が一緒に心を耕すPTA活動

キーワード

学校教育支援 / 家庭教育支援

取組概要

PTA本部・運営委員会主催のイベントで親子で学べる機会を提供

取り組みの詳細

◎PTA本部・運営委員会が主催

子どもと一緒に楽しみ、学べる時間にとしようとして、毎年PTA本部役員と運営委員会が中心となってイベントを企画運営している。



◎親子で学べる機会の提供

親子で一緒に学ぶことで、コミュニケーションが増え、子どもの成長を間近で見守ることができ、親も子育ての喜びを再認識できる。また、親同士の交流の場となり、悩みや情報を共有することもできる。



また、学校の体育館で行うことで、普段の学校生活の様子が分かり、先生方と交流する貴重な機会となっている。



- R 3 : 県警音楽隊演奏
- R 4 : 科学実験ショー
- R 5 : 和太鼓演奏、お笑いライブ
- R 6 : 牛久栄進高校吹奏楽演奏



成果

「親子で楽しむことができるPTA活動」を行うことで、常時活動の参加も積極的になった。奉仕作業等に協力する会員も多い。

課題や今後の取り組み

- ・ 創立50周年に向けたイベント企画
- ・ 生徒が地域のお祭り等の準備運営を手伝う地域学校協働活動の支援

その他の取り組み紹介

- ・ PTA主導の新制服選定
- ・ 学校行事の補助（駐車場誘導等）
- ・ 登下校見守り
- ・ 奉仕作業

所在地

茨城県取手市

全校生徒数

330名

地域の特徴

取手市は茨城県の南端に位置し、都心へ40kmとアクセスがよいながらも、利根川や小貝川などの豊かな自然に囲まれた子育てしやすい環境である。東京芸術大学のキャンパスが市内にあり、アートにあふれる街でもある。

学校の特徴

自然豊かな場所に位置する藤代中学校は、令和8年度に創立50周年を迎える。全員担任制や地域学校連携活動を通して生徒の主体性を育てている。また、授業の中で伝え合う活動を大切に、表現力の育成を図っている。

組織構成

【本部役員会】

会長	1名
副会長	2名
書記	2名
会計	2名
会計監査	2名

【学年PTA】

学年委員 (各学年)	5名
------------	----

【専門委員会】

広報委員会 (学年委員が兼任)	6名
環境委員会 (学年委員が兼任)	9名
校外指導委員会	18名

担当課：茨城県教育庁
総務企画部生涯学習課



生徒、保護者、教員が共に学び成長するPTA活動を目指して

キーワード

学校教育支援 / 家庭教育支援 / 教育相談体制支援 / 各種講演会共催 / 文化祭PTA企画

取組概要

講演会等の P T A ・学校共催、教育相談体制の拡充、「地域の声を聞く会」への参画により、生徒と共に学び、生徒の問題を共に考え、地域に学ぶ。学校教育、家庭教育の充実に取り組む P T A 活動を展開しています。

取り組みの詳細

生徒と共に学ぶ講演会

がん教育講演会、人権同和教育講演会等を P T A ・学校共催とし、生徒、保護者、教員が共に学び成長する好機とすることにより、家庭教育の充実を図っている。



教育相談体制の充実

予算の見直しにより、県配置のスクールカウンセラー（男性）に加えて、臨床心理士資格を持つスクールカウンセラー（女性）を招聘し、男女1名ずつの教育相談体制とすることで、増加、多様化する生徒の様々な問題に即時に対応している。



保護者が地域に学ぶ

「地域の声を聞く会」開催においては、地域の警察、J R 駅、市内中学校、同窓会関係者、学校評議員と共に P T A 役員及び教員が連携を深め、情報共有、意見交換を行うことにより、教育活動を支えている。保護者が地域を知り、地域に学ぶ好機となっている。



成果

- ・ P T A 会員が後援会に加入し、部活動を始め生徒の諸活動を支援する体制が確立されている。
- ・ さくら連絡網の導入支援により、学校と家庭との連絡が円滑に行われている。

課題や今後の取り組み

- ・ 登下校時における立哨指導等、生徒指導、交通安全指導への P T A の積極的な関わりを推進する。
- ・ 少子化による学級減、会員数の減少が見込まれるため、予算立案に工夫が必要である。

その他の取り組み紹介

- ・ 親子で大学等オープンキャンパスに参加し、レポートを広報誌かけはし誌面に掲載。
- ・ 年2回発行の広報誌かけはし編集会議で会員の投稿や紙面構成を検討。
- ・ 東高祭（文化祭）では P T A 役員が店頭販売。P T A 企画「校章入りパン」が好評。



基礎情報

所在地

新潟県三条市

全校生徒数

669名

地域の特徴

三条市は、新潟県のほぼ中央に位置し、信濃川の恵みによる自然豊かな町である。隣接の燕市とともに燕三条として「ものづくり」の伝統が全国的に知られている。当校は、市街地から少し離れ、粟ヶ岳を遥かに望む、田園に囲まれた閑静な環境の中で教育活動を行っている。

学校の特徴

明治43年に誕生した三条町立女子工芸学校が前身であり、令和7年度に創立115年目を迎える全日制普通科の進学校である。部活動が盛んであり、文武両道、生徒は実りある高校生活を謳歌している。医療系人材の育成を目指した医療専攻、地域探究学習など特徴的な学びを推進している。

組織構成

【役員】

会長 1名
副会長 若干名（令和6年度は5名）
会計監事 2名
理事 若干名（令和6年度は23名）
校外指導員 1名
権総役 1名（校長）

【理事会】

上記役員及び教頭、事務長、渉外担当教員

【専門委員会】

権総役を除く役員が以下の委員会に分かれそれぞれ担当教員と協力して業務を行う
大学委員会 大学等オープンキャンパス参加及び報告
広報委員会 広報誌かけはし年2回発行

担当課：新潟県教育庁
生涯学習推進課

デフリンピックがつなぐ学びの輪～選手という言葉にふれて考える～

キーワード

デフリンピック 選手との交流/ろうスポーツの理解・普及促進/保護者間の連携・協働

取組概要

デフリンピック出場予定の本校卒業生などの関係者を招いての交流会やスポーツ体験会、座談会を実施。選手・保護者・幼児児童生徒は、ろうスポーツやコミュニケーションへの理解を深めている。ポスターの掲示等を通じデフリンピックについて地域にも情報発信している。

取り組みの詳細

- ①デフリンピックに出場予定の卒業生・選手を招き、幼児児童生徒との交流会やスポーツ体験会の企画運営に協力した。



- ②選手の講話や座談会を通して、保護者や幼児児童生徒がろう者の生き方や競技への理解を深めた。



- ③校内外にデフリンピックの応援旗やポスターを掲示し、聴覚障害を理解してもらうため、地域への情報発信と啓発活動を行った。



成果

- ・デフリンピックへの理解と関心を高めた。
- ・卒業生や選手との交流を通じて、幼児児童生徒が障害を乗り越えた将来への希望や目標をもつ良いきっかけとなった。
- ・保護者同士や地域とのつながりが広がり、協力体制が強化された。

課題や今後の取り組み

- ・地域やより多くの人たちに聴覚障害の理解促進に向けた発信の強化。
- ・保護者が参加しやすいPTA活動の環境づくりと活動内容の更なる工夫。
- ・卒業生との継続的な交流を通じた学びの機会づくり。

その他の取り組み紹介

- ・PTA主催の地域住民への手話講習会の開催。
- ・聴覚障害や発達支援に関する理解を深めるためのPTA主催の研修会の開催。
- ・PTAとして地域を巻き込んだフードドライブへの参加と運営協力。

基礎情報

所在地

山梨県山梨市

全校生徒数

36名

地域の特徴

山梨市は山梨県の北東部に位置し、自然豊かな環境で、桃やブドウなどの果樹栽培が盛んな地域である。近くには笛吹川が流れ、学校が所在する大野地区は自治会と地域団体の連携が深く、地域コミュニティの活動も活発である。

学校の特徴

聴覚に障害がある幼児から高校生が通う特設支援学校で、「自立する力と豊かな言葉を育む」ことを教育理念としている。聴覚障害教育の専門性を活かし、地域や関係機関と連携しながら、地域のセンター的機能を担い、子どもたちの成長と自立を支援している。

組織構成

(山梨県立ろう学校PTA組織)

○会長 1名

○副会長 2名

○監事 2名

○系活動

手話講習会 研修会 地域手話講習会

フードドライブ 新聞

担当課：山梨県教育庁
社会教育課

基礎情報

所在地

愛知県岡崎市

全校生徒数

946名

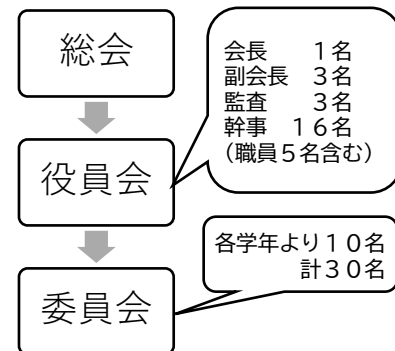
地域の特徴

岡崎市は、徳川家康生誕の地であり、歴史と文化が息づくまちである。教育面では地域と連携した特色ある学習を展開し、未来を担う子供の育成力を入れている。自然豊かな環境でもあり、子供の教育の多角的なサポートにつながっている。

学校の特徴

本校は、今年で創立123年を迎える伝統校である。伝統を引き継ぎながらも、常に変化し続ける社会で、一歩先を行く人材を育てるために新しいことに挑戦している。

組織構成



生徒、保護者、教員が共に学ぶ研修活動

キーワード 学校教育支援 / 家庭教育支援 / 社会教育支援

取組概要

学校内で行われる生徒を対象にした講話に保護者も一緒に参加し、学びを共有することで、学校や家庭、地域が連携して教育支援が行えるようにしています。

取り組みの詳細

学校内で行われているグループワークを取り入れた講話等に、生徒・教員だけでなく、保護者も一緒に参加する取り組みをしています。現在の高校生が学んでいることを保護者も一緒に研修することで、学校と家庭で情報が共有でき、連携して生徒を支援する体制づくりにもつながっています。

また、グループワークでは、保護者もグループに入って、生徒の意見に耳を傾けることで、現在の高校生の考え方や悩みなどを知る機会としています。

その他にも地域の方を招いてお話を聞く機会もあり、地域の問題を共有し、改善策と一緒に考えることもあります。

刻々と変化していく現代社会の中で教員と保護者が連携し、生徒の学びや生活を支えています。



成果

保護者も生徒と同じ内容の講話を受けることで共通の話題ができ、家庭で一緒に問題を考えたり、コミュニケーションをとったりする機会となっています。また、現在の高校生の悩み等を直接聞くことで、家庭での接し方について考えるきっかけとなっています。

課題や今後の取り組み

より活動を充実させるためには、参加できなかった保護者とも情報共有できる手段を用意する必要があると感じています。ICTを活用して情報共有・連携できる体制づくりを進めていきます。

その他の取り組み紹介

- 文化祭でのPTAバザー出店
- 年2回のPTA広報誌の発行
- PTA社会見学の実施
- 部活動遠征費の支援

など

担当課：(あいちの学び推進課)

生徒とともに考える災害への備えや取組

キーワード 学校教育支援 / 防災教育支援 / 環境整備支援 / 協働活動

取組概要

防災への意識を高めるため、文化祭「北高祭（文化の部）」では、備蓄食料の試食や備蓄品の展示を行い、学校行事を盛り上げるとともに、防災学習において災害への対応について協働して学ぶ。

取り組みの詳細

【文化祭（北高祭）での取組】

- 学校で被災した場合、非常時の食事について学習するため、防災備蓄食料について試食を行い、シールで貼って感想を取りまとめた。
- 家庭用非常防災グッズを展示し、在宅時の被災について学習するため、展示を行い、啓発を行った。



【防災研修への協働活動】

- 2学年では、令和6年度から修学旅行の訪問先を東北方面に変更し、震災学習に取り組んでいる。防災教育の一環として、探究の時間で開催されたHUGセミナー（hinanjo:H,unei:U,game:G）では、PTAからの意見を取り入れる形で大学教授による講演と避難所運営ゲームが行われ、地域自治会やPTAからも参加があった。

【災害支援】

- 令和6年8月に発生した学校敷地の法面崩落では、生徒の駐輪場への乗り入れができないため、近隣住民から土地を借り受け臨時的駐輪場として使用した。加えて、防災備蓄品の購入を支援するとともに、臨時に設けた通用口にセンサーライトを設置して生徒が安心して学校生活を送れるようにした。

成果

- ・学校とPTAが連携した防災学習を行うことにより、防災への意識が高まった。
- ・学校行事への参画する機会が増え、協働した学習機会が生徒の学習効果を高めた。

課題や今後の取り組み

- ・学校と家庭が一体となった防災教育のさらなる推進。
- ・保護者への継続的な情報発信と取組。
- ・備蓄の点検や更新

その他の取り組み紹介

- ・PTAで作った花束を卒業生一人ひとりに贈り、卒業を祝う。
- ・北高祭への参加（模擬店やゲーム）
- ・PTA広報誌の発行（年2回）

所在地

三重県桑名市

全校生徒数

451名

地域の特徴

三重県北部にある桑名市郊外に位置し、学校周辺は森や田畑に囲まれた自然豊かな地域である。学校は小高い丘の上であり、木曾川から濃尾平野、伊勢湾を一望できる風光明媚な地域である。

学校の特徴

校訓である「自律・誠実・協働」の心を持った生徒の育成に努めています。育成を目指す資質・能力としての「7つの力」①聴く力②話す力③書く力④読み取る力⑤考える力⑥前に踏み出す力⑦協働する力を育てます。

組織構成

常任委員

本部役員
 ・会長（1名）
 ・副会長（2名）
 ・書記（3名）
 ・会計（2名）
 ・監査（2名）
 ・企画運営部
 部長（1名）
 副部長（2名）

委員（各学年12～15名）

担当課：三重県教育委員会
 社会教育・文化財保護課

保護者同士が学び合い支え合う P T A 活動

キーワード

保護者同士のつながりの場 自由度の高い P T A 活動

取組概要

子どもの成長を願い、保護者同士が学び合い支え合う P T A 活動

取り組みの詳細

○きたようCAFÉ

令和5年度から開始。コロナ禍を機に保護者同士のつながりが希薄化したことが課題となり、企画された保護者交流イベント。参加自由で、お茶やお菓子を用意した和やかな雰囲気の中で、幼稚園のこと、子育てのこと、P T A 活動のことなど気軽に情報交換する場として実施している。



○おはなしかあさん

平成25年から続く、P T A 会員による絵本の読み聞かせ活動。男性の参加も見られる。月に1回、降園前のひとときに一人一冊好きな絵本を読んでいる。リラックスした和やかな雰囲気での読み聞かせである。幼稚園での日常の子どもたちの様子や、成長を感じることができる時間となっている。



成果

- ・ P T A 会員誰もが自由に参加できる主体的な活動として定着してきている。会員同士が交流できる時間として貴重な機会となっている。

課題や今後の取り組み

- ・ 隣接する北吉井小学校とのつながりを大切にし、子どもたちが安心して成長していける環境作りに取り組んでいく。

その他の取り組み紹介

- ・ P T A 会報「ひまわり通信」、家庭教育学級通信の配信・救急救命法講習、給食センター見学、多肉植物寄せ植え講座開催
- ・ ベルマーク、古紙・アルミ缶回収
- ・ P T A 研修会、健全育成の会参加

基礎情報

所在地

愛媛県東温市

全校生徒数

102名

地域の特徴

県都松山市の隣に位置する東温市の中央部にあり、小学校、子ども館と隣接している。住宅地開発の影響で地域の人口は増加している。周囲には田畑や公園なども点在し、自然豊かな環境である。

学校の特徴

令和4年度より認定こども園となり、保育時間が長くなり保護者の就業率も高くなった。P T A 活動を見直し、就業していても参加しやすく無理のない活動へとシフトしてきた。

組織構成

<三役>

PTA会長 1名
副会長 1名
会計 1名

<厚生部>

部長 1名
会計 1名
部員 1名

<家庭教育学部>

部長 1名
会計 1名
部員 1名

<クラスサポーター>

3名

<事務局>

1名 幼稚園主任

担当課：愛媛県教育委員会
社会教育課

生徒の成長の一助となるP T A活動

キーワード 朝の挨拶運動 / 寄宿舎の生活改善 / 学びのアウトプット / 大学・企業訪問 / P T A新聞で活動紹介

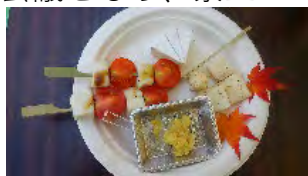
取組概要

生徒の学びを様々な形でサポートするという考えをモットーに「寮の環境整備」「朝の挨拶運動」「生徒を教師に見立てた保護者研修会」など様々な取組を行った。

取り組みの詳細

寮協力委員会の活動

「園芸科学科」「畜産科学科」は寄宿舎「明倫寮」で3年間の寮生活を送る。そのあり方について会議をもち、寮生の生活の質の向上に寄与している。



生徒を先生役とした役員研修会

P T A役員を対象として、生徒が先生役を務めて学校での学びを体験する実習を行っている。今年度はチーズやヨーグルトの製造体験会を食品科学科の応用微生物研究班の生徒の指導で開催した。学習活動の一端を体験することは保護者にとっても学校理解に繋がると思われる。



朝の挨拶運動（立ち番指導）

4月と9月、1月の年3回（いずれも3日間）を児湯地区の保護者を中心に活動している。早朝にもかかわらず主要な通学路のポイントになる場所に立ってもらって、交通安全の重要性を生徒に再認識させている。



成果

- 寮協力委員会の働きかけによって部屋の空調設備の改善がなされた。
- 生徒を先生役に見立てて各学科の実習を体験してもらう事は、生徒にとっても学習内容をアウトプットする良い機会になり、相互にとって理解が深まった。
- 朝の挨拶運動では、普段、寮生活をしている生徒にとって保護者から見守られていると感じる良い機会になった。

課題や今後の取り組み

- コロナ禍以前に行っていた文化祭などでの保護者によるカレーの配膳などを再開したい。

その他の取り組み紹介

- 県内大学や企業の視察研修等、生徒の進路実現に向けた取組
- P T A新聞で学校行事などを中心に生徒の活動を紹介（年2回）

基礎情報

所在地

宮崎県高鍋町

全校生徒数

231名

地域の特徴

高鍋町は、宮崎県の海沿いのほぼ中央にある「歴史と文教のまち」であり、史跡や文化遺産が多くある。また、宮崎県で一番面積が小さいまちだが、商業施設が集まり、とても便利なまちである。


学校の特徴

本校は高鍋藩の藩校「明倫堂」に由来し、創立120年を超える歴史と伝統がある。4つの農業系学科からなり、寄宿舎「明倫寮」で3年間の寮生活を送ることができる。

組織構成

会長	1名
副会長	4～5名（職員1名を含む）
理事	10名
会計	1名
書記	1名
監事	3名
母親委員長	1名
学級委員長	12名
顧問	1名
寮協力委員	18名

担当課：宮崎県教育庁生涯学習課



テーマカテゴリー

生活指導活動

みんなが輝く「しらはまーと」～白浜祭のP T A活動を通して～

キーワード

生活力の向上 / 保護者参加 / 事業所参加 / 進路を見据えて

取組概要

本校の文化祭「白浜祭」では、P T Aの委員が企画をしたお店「しらはまーと」を実施している。「しらはまーと」を通して、互いの親睦を深めるとともに、児童生徒の生活力を育てている。

取り組みの詳細

PTA企画 しらはまーと

- ・児童生徒は決まった予算で買い物をする。
- ・お店の商品はPTAで準備を行う。
- ・福祉事業所で作ったクッキー等の販売をする。



成果

- ・学校、保護者、事業所との相互理解が深まった。
- ・買い物やお金の計算など、子どもたちの生活体験が広がった。

課題や今後の取り組み

- ・予算をいくりに設定するか。
- ・児童生徒が興味関心のある商品を決めるか。
- ・事業所への周知方法 など

その他の取り組み紹介

- ・進路学習会の開催
- ・広報誌による支援方法の紹介や卒業お祝い号の作成
- ・学校HPにP T Aだよりを掲載など

所在地

神奈川県藤沢市

全校生徒数

171名

地域の特徴

本校は、神奈川県藤沢市の南部に位置している。南は相模湾に面し、平坦な地形で、穏やかな気候である。JR東海道線で東京まで50分、横浜まで20分程の位置にある。近隣には、小・中・高・大学が隣接しており、交流を継続している。

学校の特徴

1962年に設立された藤沢市唯一の市立の特別支援学校である。小学部・中学部・高等部を有しており、知的障がいの特別支援学校である。市内小中学校との交流や市民センターでの販売会や作品展など地域との連携がなされている。

組織構成

保護者および教職員ともに95%以上の組織率を有し、参加しやすい環境および運営がなされている。保護者は市内全域からの参加にも関わらず、高い組織率となっている。学年や学部・横のつながり、他学部との縦のつながりが形成されており、保護者同士のつながりを深めている。課題の有無に応じて運営委員会が開催されるため、現状に即した運営となっている。また、県知P連にも属し、県立特別支援学校との情報共有も行っている。

- ・本部（外部 内部 会計 書記 県知P連 選出管理委員）
- ・常任委員会（学級 企画 広報）
- ・会計監査

担当課：神奈川県教育委員会
生涯学習課

生徒と共に学校生活について考える活動

キーワード 校則見直し委員会 / 環境整備 / 小中連携

取組概要

生徒と共に考え、活動する P T A 活動

取り組みの詳細

○生徒と共に考える「校則見直し委員会」

・生徒会主催の「校則見直し委員会」に P T A も参加し、生徒・教師・保護者それぞれの視点や想いを踏まえて話し合った。生徒にとって、学校のきまりを多面的・多角的に考える場となった。



○学校のシンボル「ばら園」の整備

・土日を利用して、P T A が定期的に学校正面に設置されているばら園の整備を行っている。生徒は平日に当番を決めて花がらを摘んだり、水やりをしたりしており、生徒と保護者が協力した活動となっている。



○高陵小学校PTAと連携した「高陵ブロック講演会」

・毎年小学校と連携して「高陵ブロック講演会」を行っている。令和6年度は、脳科学の視点から、子供との接し方について学んだ。

成果

- ・ P T A が積極的に生徒と関わる活動を行うことで、生徒がきまりの意義を深く考えたり、学校の環境整備に積極的に参加したりする様子が見られた。

課題や今後の取り組み

- ・保護者の考えが多様化する中で、P T A 活動が今後も継続できるよう、活動内容をさらに工夫していく必要がある。

その他の取り組み紹介

○負担軽減への取り組み

- ・ P T A の負担軽減と活動の効率化を図るため、地域の意見も参考にしながら、組織の見直しを行い、委員会の精選を図った。
- ・ P T A 総会資料を二次元コードを使って閲覧できるようにし、印刷・製本の負担を軽減した。

基礎情報

所在地

富山県高岡市

全校生徒数

279名

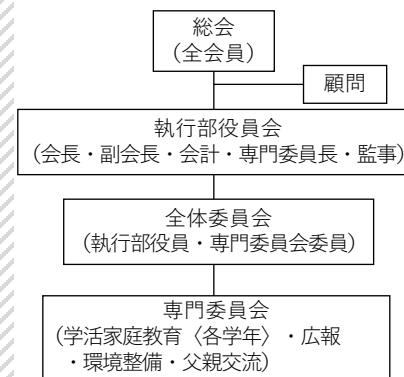
地域の特徴

国の有形・無形民俗文化財である御車山をもつ山曲や商店街等があり、高岡の発展とともに歩んできた地域である。図書館、美術館等、市の施設も多い。地域や保護者の教育への関心は高く、学校の教育活動には協力的である。

学校の特徴

令和8年度に、高岡市初の「施設一体型小中一貫校」となる。校舎の新・改築だけでなく、小・中の教職員の連携の在り方等、よりよい方策を求めて話し合いを進めている。

組織構成



担当課：富山県教育委員会
生涯学習・文化財課

生徒の自由と自律を支え地域や未来へつなぐPTA活動

キーワード 文化祭PTA企画／賠償責任保険加入／ミスズの親ミーティング／PTA活動の見える化

取組概要

本校は、自由と自律の精神に溢れ、生徒自らが定めた「美須々ヶ丘憲法」を持つ。この気風の中で、全ての生徒が学校生活に安心して全力で取り組めるよう支援できる仕組みを整備し、同時にPTA活動の見える化を図っている。

取り組みの詳細

- 文化祭PTA企画
PTAと生徒が合同でフラワーアレンジメントを作製



- 賠償責任保険加入
生徒が校内のどんな活動にも安心して取り組めるように、保険料を負担



- ミスズの親ミーティング
生徒レベルで既存の「ミスズ親子ミーティング」の保護者版の企画（予定）



- 学校連絡メール利用料補助
学校HP更新料補助（写真はHPのトップ画面）



成果

- ・生徒との交流、会員同士の交流が活性化した。
- ・生徒が伸び伸びと学校内外の活動に取り組める条件整備を実現した。
- ・PTAの取り組みの見える化を推進した。

課題や今後の取り組み

- ・さらなる見える化推進。
- ・PTA活動への理解の浸透。
- ・ミスズの親ミーティングの定例化。

その他の取り組み紹介

- ・PTA会報を年2回発行
- ・地区PTAの廃止（令和5年度）
- ・活発な部活動を保証する遠征費用補助

所在地

長野県松本市

全校生徒数

832名

地域の特徴

長野県の中心に位置し、北アルプス、国宝松本城、セイジ・オザワ松本フェスティバルなどで知られる「3カク都（学都 岳都 楽都）」松本の中心市街地に位置し、都市機能と自然が調和した環境を有する。

学校の特徴

1学年7クラスの全日制普通科。生徒主体の自由でのびやかな校風。生徒会活動や部活動が非常に盛んで、生徒会が主催する卒業式や生徒会が制定した美須々ヶ丘憲法がある。幅広い進路選択が可能で、多くの生徒が大学進学を目指す。

組織構成

- 本会
会長、副会長4名、評議員若干名、理事若干名、監事2名、幹事若干名、会計2名
- 学年PTA
会長1名、副会長2名
- 会議
総会、評議員会、理事会

担当課：長野県教育委員会
事務局生涯学習課

基本的な生活習慣のために おはよう！歩こう！考えよう！

キーワード あいさつ運動 / 歩こう週間 / メディアコントロール

取組概要

「あいさつ運動」「歩こう週間」「メディアコントロール週間（習慣）」など、あいさつの習慣化や体力向上、メディアとの関わり方など基本的な生活習慣定着に取り組んでいる。

取り組みの詳細

○ 園児の社会性と安全意識の育成

地域住民と連携した「あいさつ運動」や「旗当番」を通じて、子どもたちが自らあいさつをする習慣を育んでいる。

また、登園時に保護者が危険個所に立ち、交通安全教室で学習した約束「とまって、まって、とびださない」「よく、みて、わたる」を実践する機会を設け、親子の交通安全意識の向上に資することができている。



○ 体力向上と自立性

「歩こう週間」では、子どもたちが楽しく歩けるようカードとシールのごほうびを用意し、体力向上とともに、自ら進んで行動する意欲を育んでいる。さらに、メディアコントロール週間（習慣）の取り組みでは、メディアとの適切な関わり方を考えるきっかけを提供し、園児のメディアへの意識が昨年度より10ポイント向上するなど、大きな成果を上げている。

成果

- 歩こう週間を通して、園児自身の歩く意欲の向上、また、体力向上にも寄与できた。
- 自らあいさつをすることや、メディアとの関わり方について考える園児の割合が大きく向上した。

課題や今後の取り組み

- 園児数の減少に伴う、役員、部員の負担軽減のための工夫。
- 保護者同士や地域とのつながりを深め、互いにやりがいを感じることでできる活動の実施。

その他の取り組み紹介

- 園の実態に合わせ、組織のスリム化を図ったり、活動の精選等を行ったりして、持続的・効果的なP T A活動に取り組んでいる。
- P T A 人権研修会や親睦会を通して子育ての悩み等を共有し、互いに助け合える関係づくりに努めている。

所在地

岡山県岡山市

全校生徒数

10名

岡山市の南西に位置し、近くにJR瀬戸大橋線、国道30号線、国道2号線が縦横に走る。江戸時代には干拓による新田開発が行われ、穀物地帯として発展してきた。近年は交通網の発達とともに、住宅、コーポ、マンションが立ち並び、地域の教育に対する関心は高く、協力的である。

学校の特徴

令和5年度に創立90周年を迎えた、自然豊かな幼稚園である。教育目標の「心豊かにたくましく生きる子ども」に向け、具体的な姿「げんきな子ども・やさしい子ども・がんばる子ども」を挙げ、地域・保護者と一体となり取り組んでいる。

組織構成

●総務部
(会長1名・副会長1名・会計監査1名)
※書記は、会長が兼務
会計は、副会長が兼務

●事業部

●学級・教養部

●交通安全・文化部

休部

※園児数の減少に伴い、組織を改編し、総務部を中心にP T A活動を行っている。

生徒、保護者中心の校則改定で、「生徒が主役」学校づくり

キーワード 校則改定/登校指導

取組概要

生徒、保護者、学校が協議し、毎年度校則の見直しを行い、「生徒が主役」の学校づくりを行っている。

取り組みの詳細

○ 校則改定

一般的に「ブラック校則」と言われている校則を、合理的な説明が可能な校則とするために、令和3年度から、PTAと生徒会、学校の三者が互いにそれぞれの立場から意見交換を行いながら、生徒が主体的な学校生活を送れることを目的に、毎年度、校則を改善、見直しを行っている。「生徒が主役」の学校づくりに、PTAが大きく参画している。



○ 登校指導

生徒の通学時の安全を確保するために、市内の他の公立高校3校のPTAと連携し、保護者と教員がペアとなり、毎年春、夏、秋に学校周辺6か所で、登校指導を行っている。特に、自転車通学者を中心に、自転車事故を防いだりヘルメットの着用を勧めたりしている。市内の高校のPTAと連携することで、地域で生徒の安全を守る取り組みを行うことができている。



成果

- ・生徒の自己肯定感が高まった。
- ・学校運営に保護者や生徒が積極的に参画するようになった。

課題や今後の取り組み

- ・生徒、保護者参画による校則改定手法の他の学校への普及活動。
- ・同一地域の学校間連携による登校指導等、PTA活動の活性化。

その他の取り組み紹介

- ・文化祭のPTAバザー出店
- ・PTA会員の研修旅行
- ・大学、専門学校視察
- ・職場体験等インターンシップ先探し

所在地

香川県坂出市

全校生徒数

439名

地域の特徴

香川県のほぼ中央にあり瀬戸内海に面し、本州と結ぶ瀬戸大橋の四国側玄関口に当たり、交通の要衝となっている。海岸線は古くは塩田が広がり、現在は工業地帯となっている。

学校の特徴

明治40年(1907年)に創立された歴史ある伝統校で、建学の精神は師弟親睦と実修。普通科と調理師養成施設でもある食物科を設置。「生徒が主役」の学校づくりを行い、生徒が学校運営に深く関わっている。DXハイスクール採択校。

組織構成

本役員
 会長 1名
 副会長 3名
 書記 2名
 会計 2名
 監査 2名

評議員
 各学級 2名

会議
 総会、本役員会、評議員会

担当課：香川県教育委員会
 生涯学習・文化財課

子供たちの未来を守るために～多様なライフスタイルで取り組む登下校見守り活動～

キーワード 見守運動 / 巡回活動 / 登下校指導 / できる人ができることを

取組概要

多様化するライフスタイルの中、従来のPTA活動の形を見直しながらも、児童の登下校時の安全見守りを継続。創意工夫により、誰もが無理なく参加できる仕組みを実現した。

取り組みの詳細

■「できる人ができるときに」登下校の見守り活動

クラス別に旗持ちして欲しい期間と場所を年間スケジュールとして予めご案内。全家庭に1本ずつ安全旗を配布し、家庭の都合に合わせて、自由に参加いただけるように工夫した。また、年度当初に下校時見守りのボランティア募集を実施し、応募いただいた方々に名札の配布と、児童の見守りをお願いしている。

■お家で確認！「こども110番のいえ」MAP

商店街のある立地から、商店や塾、医療機関を中心に「こども110番のいえ」のご協力を依頼。WEB掲載の許可をいただき、Google MAPの機能を利用して、MAP公開をしている。ご家庭の中で通学路の安全な場所を確認していただくことに役立ててもらっている。



■児童のミカタ、電柱幕設置プロジェクト

PTAメンバーで協力して、校区内に電柱幕を設置。ドライバーに注意を促す「歩行者に注意」や、かわいいイラスト付きの「いかのおすし」の電柱幕など、保護者の代わりに見守りをする「児童のミカタ」を、休日を利用して設置している。



成果

・いずれの活動も自由参加にも関わらず、たくさんの家庭が協力してくださっており、児童の安全な通学に大きく貢献できている。おかげさまで近年、校区内で登下校中の交通事故は一切起こっていない。

・こども110番のいえでは、児童にも浸透しており、通学中のトイレ利用やこけて擦りむいたケガの手当などをしていただき、非常に助かっている。

課題や今後の取り組み

・共働き世帯が増え、活動時間を確保することが難しいなかでも、安心安全な通学路の確保ができるよう、これからも活動を工夫していきたい。

その他の取り組み紹介

- ・防災備蓄品のローリングストック
- ・広報誌作成ボランティア
- ・ベルマークサークル活動

所在地

福岡県北九州市門司区

全校生徒数

553名

地域の特徴

歴史と自然が調和する街で、長崎街道の宿場町として栄え、門司赤煉瓦ブレイスなどの産業遺産が今も残ります。関門海峡を望む絶景スポットや、戸ノ上山麓の大里公園、柳町商店街などがあります。

学校の特徴


北九州市門司区にある明治6年創立の歴史ある公立小学校です。戸ノ上山や関門海峡を望む丘陵地にあり、「やさしく・かしこく・たくましく」を教育目標に、地域と連携した教育を行っています。

組織構成

本部役員		※令和6年度実績
会長	1名	
副会長	2名	
庶務	9名	
会計	2名	
監査		
会計監査	2名	
その他		
理事	9名	
顧問	必要に応じて委嘱	

人数は規定せず、毎年ボランティアを募り、集まった人数でできることを考えて活動しています。

担当課：(福岡県教育庁
教育振興部社会教育課)



テーマカテゴリー

その他

保護者・学校・地域とつながる きずなの会活動

キーワード 保護者間で学び合える環境／地域との連携／手話劇

取組概要

本PTAでは、隣接する視覚支援学校及び聴覚支援学校福島校の二校の保護者が共に活動に取り組んでいる。うち聴覚支援学校福島校保護者の会を、通称「きずなの会」としている。視覚支援学校と協働した資源回収や奉仕活動等の他、保護者主体の手話学習会を週に1回実施し、保護者同士の学び合いの機会を創出している。また、毎年度末には、保護者企画の手話劇を開催している。近年では、福島校の幼児児童だけではなく、視覚支援学校の児童生徒も鑑賞し楽しんでいる。

取り組みの詳細

<週1回の手話学習会や年2回の奉仕活動>

保護者自身で週1回の手話学習会を計画・実施し、保護者同士の学び合いの機会を作っている。参加者は福島校保護者に限らず、隣接している福島県立視覚支援学校の保護者も参加している。手話の学びだけではなく、聴覚障害に関する地域でのイベントや勉強会等の情報交換の場ともなっている。奉仕活動では、校舎内外の清掃を行い、普段なかなか顔を合わせることでできない保護者同士が交流しながら取り組んでいる。



<手話劇>

毎年、年度末に手話劇を保護者が演じている。今年度は「あいさつ」をテーマに、「こぶとりじいさん」を題材にした手話劇を披露した。共働き家庭の負担にならないよう、手話劇への参加は希望者のみとしたり、地域の聴覚障害を有する方々や聴覚障害児の子育てサークルスタッフ（福島県内のきこえないきこえにくいおさんを育てているご家族を応援するサークル）の方の協力を得たりしている。当日は、福島校の幼児児童だけではなく、視覚支援学校の児童生徒も鑑賞し、約30名の幼児児童生徒が「おはよう」「こんにちは」「こんばんは」等の挨拶の大切さを、劇を通して楽しみながら知ることができた。



成果

・手話学習会や奉仕活動等の対面での活動や、メッセージアプリの活用等で、多様な生活スタイルをもつ保護者同士が無理のない範囲で参加できるようにした。年間を通して、全保護者が「きずなの会」の活動に1回は参加し、保護者同士でやりとりをする機会を作ることができた。

・手話劇や親子レクリエーション等、保護者と幼児児童が共に活動できる場を作ることによって、保護者と幼児児童が楽しく活動できる場になるとともに、保護者同士の情報交換の場とすることもできた。

課題や今後の取り組み

・福島校に在籍している保護者の多くが共働きである。それに伴い、保護者同士が顔を合わせて活動できる機会が少なくなっている。保護者の負担を軽減できるよう、授業参観等の保護者の来校時に「きずなの会」行事を併せて実施する等の工夫を行った。今後は、保護者同士が顔を合わせる貴重な機会が、より有意義な時間になるよう、活動計画などの話し合いのもち方に工夫が必要である。

その他の取り組み紹介

- ・職場見学
- ・資源回収
- ・PTA広報活動
- ・親子レクリエーション

基礎情報

所在地

福島県福島市

全校生徒数

視覚支援学校 23名
聴覚支援福島校 20名

地域の特徴

本地域は、温泉と果物に恵まれた自然豊かな地域である。吾妻山、阿武隈高原に囲まれた福島盆地は桃やりんご等の果物の生産が盛んで、フルーツ王国としても知られている。また、夏には日本一の大わらじを担いで練り歩く「福島わらじまつり」が開催されている。

学校の特徴

（視覚支援学校）福島県内唯一の視覚支援学校として、幼稚園から高等部専攻科までを設置している。

（聴覚支援学校福島校）聴覚に障害のある幼児児童を対象に、幼稚園と小学部を設置している。

両校ともに、個々の実態に応じた丁寧な学習指導と学部・学年の枠を超えた協働的な学習を設定するなど、在籍者数は少ないながらもそれを強みとした教育活動を展開し、幼児児童生徒一人一人の成長を支えている。

組織構成

幹事	きずなの会会長 ※視・聴父母と教師の会副会長と兼務	1名
	会計監査	1名
教養委員会	厚生環境委員会	総務広報委員会
幼稚園・小学部の保護者 全員		

担当課：
福島県教育庁社会教育課

子どもたちの想いをカタチに！修学旅行でのスマホ利用を許可

キーワード 生徒会等とPTAの協同／考える力／責任感と堅持力の向上

取組概要

子どもたちから要望としてあがった修学旅行でのスマホ使用。アンケートや意見交換、マニュアル作りを生徒・保護者・教職員が一体となり進めたことにより、満足度と質の高い修学旅行が実現。なお、令和6年度のPTAスローガンは「想いをカタチに」。

取り組みの詳細

子どもたちから、修学旅行でのスマホ所持を許可してほしい旨の要望がPTAに届き、下記により実現化に向けたサポートを行いました。

- PTA拡大執行委員会メンバーより保護者への聞き取り調査を実施
⇒賛成意見多数
- 3年生の生徒及び保護者に対し、PTA会長名でアンケートを実施
⇒【生徒】賛成80.6%、反対19.4% 【保護者】賛成79.2%、反対20.8%
- PTA拡大執行委員会メンバーと関係教職員による意見交換
- PTAと生徒会役員・代議員会（級長代表）との意見交換
▶リスクの洗い出しと回避策について協議
- アンケート結果、意見交換の結果を踏まえ、『修学旅行に係るスマートフォン等の使用／管理マニュアル』を生徒会役員、代議員会（級長代表）、教職員、PTA拡大執行委員会メンバーで作成
▶ルール作りは生徒会を中心に決定（責任感・堅持力の向上）
▶保護者の協力により、アプリの利用制限の設定も実施
- 旅行後にも3年生の生徒に対し、スマホの必要性をアンケート
⇒【生徒】賛成94.4%、反対5.6%

★スマホの使用許可を望む生徒が旅行前と旅行後では14ポイント向上
生徒が自分たちでルールを設定したことにより、自分事として責任感が生まれたほか、生徒同士での注意喚起や保護者によるセキュリティの徹底により、トラブルもなく、満足度と質の高い修学旅行が実現出来ました。スマホを持っていない友達とも共有して使っていたようです。

【写真左】生徒会等とPTAとの意見交換会

【写真右】修学旅行中、スマホカメラで撮影する生徒たち



成果

- 自ら考えカタチにする力の醸成
- 生徒、保護者、教職員が一体となって作り上げたことによる達成感と信頼関係
- 自分たちで決定したことによる責任感と堅持力の向上
- 便利機能を活用した質の高い修学旅行

課題や今後の取り組み

- 初めての取り組みであったため、利用時間等はルール化するだけでなく、保護者による設定で強制的に使えない時間を作るなど、マニュアルは相当厳しく作りこんだ。
- ルールは十分守れているようなので、少しずつ制限を緩和し、将来的には制限ゼロでも節度ある使い方ができるようにしたい。

その他の取り組み紹介

- 思春期教室をPTA主催で年3回程度実施
▶学年ごとでテーマを変更
1年：生理 2年：性病 3年LGBTQ など
▶男女と一緒に受講し、異性の大変さも実感
- 文化祭や体育祭では、PTAによる動画作成や生徒からの希望により模擬店を出店
▶動画は広報紙のQRコードや公式HPから保護者のみ閲覧できる
- 生徒が毎年参加する古城まつりにPTAも参加
▶まつり衣装の着付け補助をはじめ、総踊りには生徒と保護者、教職員と一緒に参加
▶R6年度総踊りでは最優秀賞を受賞
- 毎年、校区内の小学校PTAを交えたブロック交流会を実施

所在地

福井県坂井市

全校生徒数

502名（R6年度）

地域の特徴

坂井市丸岡町は福井県の北部に位置し、県都福井市に隣接するまちです。本校の近くには現存12天守のひとつ「丸岡城」がまちのシンボルとして古くから住民に親しまれています。コシヒカリの開発者が丸岡町出身であったことから、コシヒカリの発祥の地とも呼ばれています。

学校の特徴

地域交流活動に力を入れており、FANS（1年生）、LIKERS（2年生）、LOVER S（3年生）と3年間でより強い丸岡愛を育むとともに、地域に貢献できる人材の育成に力を入れています。また、全学年が交流する縦割り活動を早くから取り入れており、全国から視察も訪れています。

組織構成

■拡大執行委員会

■執行委員会		校長 1名
会長 1名	副会長 4名	教頭 1名
会幹(P)1名	監事 3名	書記(教)1名
顧問 若干名	総務委員長 1名	副書記(教)1名
文化福祉委員長 1名	広報委員長 1名	地域委員長 1名
各委員会副委員長 4名		教務主任 1名
		生徒指導主事 1名
		1年担当 2名
		2年担当 2名
		3年担当 1名
		会幹(教)1名

■各委員会

総務委員会
文化福祉委員会
広報委員会
地域委員会

■特別委員会

学年委員会(1年2年3年)

■選考委員会

選考委員会

担当課：(県教育庁義務教育課)

PTA活動のど真ん中に子供たちを!子供たちのためのPTAを

キーワード 子供のため / 子供中心で / 子供の笑顔 / 子供の幸せ / 親の願い

取組概要

卒業前に3年生の生徒たちは、これまで生活してきた思い出深い校舎内外で、奉仕活動を行います。その日に向けてPTA有志が集まり、前日から具材を仕込み、当日は豚汁のふるまいをして、寒い中で活動した生徒たちを労います。

取り組みの詳細

卒業式を控えた数日前、3年生の生徒たちは3年間の感謝の気持ちをこめて、慣れ親しんだ校舎や運動場で奉仕活動を行います。それを応援しようと、保護者を中心としたPTA有志が集まり、前日から準備をして当日、生徒たちに豚汁のふるまいをします。生徒たちは、活動を終えた成就感と、寒い中での豚汁の温かさとおいしさに笑顔が絶えないひと時となります。そして、そんな生徒たちの笑顔を見て、PTA有志もほっこりとした気持ちにさせられます。



生徒たちに、PTA有志が豚汁をふるまおうと一生懸命活動します。

奉仕活動を終えた生徒たちが楽しみにしていた豚汁をいただきます。



成果

寒い中で奉仕作業をする生徒たちを応援するために行ったPTA活動が、生徒たちを笑顔にすることにつながりました。自分たちの活動が、「生徒たちのため」につながることを実感し、やりがいを感じる事ができました。

課題や今後の取り組み

- ・より多くの保護者の参加
- ・学校の思いや負担の共通認識
- ・子供たちとの双方向の活動の実現

その他の取り組み紹介

- ・あいさつ運動
- ・家庭教育セミナー
- ・行事受付補助

所在地

愛知県名古屋市

全校生徒数

248名

地域の特徴

西側を天白川、東側を相生山緑地に挟まれた自然に恵まれた学区であり、西の野並地区は、商店や畑工場が多いのに対し、東の相生地区は人家も少なく、多くの自然が残っている。また、瑞穂区、南区、緑区と隣接し、野並駅周辺は人々が賑わっている。

学校の特徴

天白中より分かれて建てられた本校の学区は、野並小学校と南天白中学校の一小一中の環状にある。そのため、生徒たちは、小さいころから顔見知りで、お互いに切磋琢磨をしながら、成長をしてきている。

組織構成

	会長	1名	
事務局	2名	副会長	4名
	会計	3名	
	顧問	2名	

基礎情報

所在地

和歌山県新宮市

全校生徒数

234名

地域の特徴

熊野川河口に位置し、熊野速玉大社を始めとする世界遺産「紀伊半島の霊場と参詣道」を有する自然豊かな地域。熊野信仰の中心地として栄え、神倉神社のお祭りなど、伝統文化も息づいている。温暖多湿な気候と新鮮な魚介類にも恵まれた神話と現代が交錯する魅力的な街。

学校の特徴

前身である新宮商業高校から平成19年に総合学科に学科改編し現在の校名に改めた。創立以来、地域と共に歩み続け卒業生は地元を中心に各方面で活躍している。来年度には隣の新宮高校と統合し、新たな学校に生まれ変わる予定である。

組織構成

新翔高校育友会

会長	1名
副会長	3名
監査委員	2名
書記	1名
会計	1名
顧問	1名

チーム新翔高校の一員として ～学校との協働による育友会活動～

キーワード

生徒の安心・安全の確保 / 学校・地域の活性化

取組概要

学校の安心・安全、活性化のためチーム新翔高校として育友会と教職員が連携して活動する。

取り組みの詳細

文化祭での育友会バザー

秋に行われる文化祭では役員を中心に多くの会員が協力して食物バザーを行っている。毎年保護者だけでなく地元住民も多数来場され大変な賑わいを見せている。買い出しから調理、販売まで保護者が協力して行い、お互いの親睦を深めると共に生徒や地域の方々との交流を通して、学校の活性化に寄与している。

コロナ禍においては中断していたが、再開を機に販売したオリジナルの豚丼が今ではすぐに売り切れるなど名物メニューとなりつつある。



交通マナー指導

定期的実施している校門街頭指導において、学校や警察と連携しながら駅や校門周辺の通学路に立ち生徒への声掛けを行っている。生徒の交通安全はもちろん、身だしなみやマナーの向上にも一役買っている。入学式後の保護者会では毎年会長が県高等学校PTA連合会がバイクによる交通事故の抑止策の1つとして推奨している「3+1ない運動」の精神を紹介し、免許取得や交通安全への呼びかけも行っている。



成果

・保護者が学校行事に直接関わることにより、学校の教育方針への理解が深まり協働して生徒を育てていこうという気運が高まった。また、保護者と学校との信頼関係の構築にもつながっている。

課題や今後の取り組み

・活動に参加してくれる保護者は協力的であるが、役員が中心でまだまだ保護者全体には広がっていない。誰でも参加しやすい活動の工夫を行っていく。

その他の取り組み紹介

・来年度の新宮高校との統合に向けて保護者の視点から通学路の変更に伴う危険箇所の点検等を行い、学校・地域・関係機関との連携を深めている。

・メール配信システムによる学校状況の迅速な情報発信とオンラインフォームによる欠席連絡体制を構築している。

担当課：(生涯学習課)